

令和5年度

テクノアカデミー浜 コミュニティホール外防水工事

設計図

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
	<建 築>	
A-00	図面リスト	—
A-01	建築関係工事特記仕様書	—
A-02	建築改修工事特記仕様書 (1)	—
A-03	建築改修工事特記仕様書 (2)	—
A-04	建築改修工事特記仕様書 (3)	—
A-05	建築改修工事特記仕様書 (4)	—
A-06	建築改修工事特記仕様書 (5)	—
A-07	建築改修工事特記仕様書 (6)	—
A-08	工事概要、付近見取図、配電図、仕上表	1/1000
A-09	改修 1・2階平面図、部分詳細図	1/10、1/20、1/150
A-10	現況・改修後 屋根伏図、屋根平面詳細図	1/50、1/150
A-11	現況 平面詳細図	1/50
A-12	改修後 平面詳細図	1/50
A-13	現況 立面図	1/100
A-14	改修後 立面図	1/100
A-15	現況 A-A' 矩計図	1/30
A-16	改修後 A-A' 矩計図、屋根下地詳細図	1/30
A-17	改修後 天井下地詳細図、部分詳細図	1/10、1/30
A-18	現況・改修後 部分詳細図	1/5
A-19	仮設足場計画 平面図 (参考)、全体仮設計画図 (参考)	1/60、1/1000
A-20	仮設足場計画 立面図 (参考)	1/100
A-21	仮設足場計画 断面図 (参考)	1/40
A-22	改修 渡り廊下 1、2階平面図、屋根伏図	1/150
A-23	改修 渡り廊下 展開図	1/50
A-24	改修 渡り廊下 2/AW建具改修詳細図	1/5、/50
A-25	改修 渡り廊下 3/AW建具改修詳細図	1/5、1/50
A-26	改修 渡り廊下 仮設計画図 (参考)	1/150、1/1000

	<電 気 設 備>	
E-01	電気設備工事特記仕様書 (1)	—
E-02	現況 電灯コンセント設備1・2階平面図	1/150
E-03	改修後 電灯コンセント設備1・2階平面図、照明器具姿図	1/150

[illegible]

3

建具改修工事

13 オーバーヘッドドア

セクション材料	耐風圧性能	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 ・ ()	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	・ ステンレス鋼板 (SUS304) ※ 溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合は、障害物感知装置を設けるものとする

16 ガラス

・ フロート板ガラス 厚さは、図示による [5.13.2]
・ 型板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 網入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 線入板ガラス 厚さ及び品種は、図示による
・ 合わせガラス 材料、厚さの組合せ、合計厚さ及び特性による種類は、図示による
・ 強化ガラス 材料による名称、呼び厚及び特性による種類は、図示による
・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類は、図示による

熱線吸収ガラス	厚さ(mm)	性能	色調
※ 熱線吸収フロート板ガラス ・ ()	・ ()	・ 1種 ・ 2種	・ ブルー ・ グリーン ・ ()

・ 複層ガラス [5.13.2]

種類	断熱性、日射熱遮へい性
・ 断熱複層ガラス	・ 1種、U1 ・ 2種、U2
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 3種、U3-1 ・ 3種、U3-2 ・ 4種、E4 ・ 5種、E5

・ 熱線反射ガラス [5.13.2~4]

種類	厚さ(mm)	日射熱遮へい性、耐久性	反射皮膜面	色調
・ フロート板ガラス ※ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 平面強化ガラス (映像調整 行う)	・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12	・ 1種、A類 ・ 2種、A類 ・ 2種、B類 ・ 3種、B類	※ 内面 ・ 外面	・ ブルー・ブロンズ ・ グレー・シルバー ・ ()

ガラス溝の寸法等 図示による 改修標仕 図5.13.1による [5.13.3]

17 ガラス留め材

建具の種類	材種
アルミニウム製	※ シーリング材 (SR-1) ・ ガスケット (グレイジングチャンネル形)
鋼製、ステンレス製	※ シーリング材 (SR-1)

18 ガラスブロック積み

JIS A 5212 による [5.13.5]

表面形状	寸法	厚さ	色調	防火認定	備考
			・ クリア ・ カラー () ・ 熱線反射	・ 乳白 ・ なし ・ 防火設備	表中に記載のない事項は、図示による

4

内装改修工事

1 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修 ※ 図示による [6.1.3]

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 図示による [6.1.3]

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 図示による [6.1.3]

2 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 [6.2.2]
※ 仕上材のみ (接着剤と併用) ・ 下地モルタルとも (図示による 除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 [6.2.2]
・ 機械的除去工法 目荒し工法
改修後の床の清掃範囲 図示による () [6.2.2]

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
・ 改修標仕 4.4.9 によるモルタル塗り () [6.3.2]

4 接着剤

ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (帯電防止ビニル床タイル(置敷タイプ)の接着剤は、粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする) ()

5 木下地等

表面仕上げの程度 [6.5.1] [表6.5.1]
・ A種
・ B種
・ C種
防蟻処理 行う (適用範囲) () 行わない [6.5.5]

4

内装改修工事

6 パーティクルボード

・ パーティクルボード [6.5.2]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ	備考

7 木材保存剤

木材保護剤 (木材の防蟻・防蟻処理)は、非有機リン系とする [6.5.5]
・ 種類 ()
・ 品質 ()

8 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2]
屋内 (※ 19形 ・ 25形) 屋外 (・ 19形 ※ 25形)
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 (屋外) [6.6.3]
・ 図示による
野縁の間隔 図示による () [6.6.3]
既存の埋込マインサート 使用する 使用しない [6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験 行う 行わない [6.6.4]
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法は、図示による [6.6.4]
吊りボルトの水平補強、斜め補強 [6.6.4]
天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 ※ 改修標仕 6.6.4 による 図示による
天井のふところ高が3.0mを超える場合 ※ 図示による
耐震性を考慮した補強 行う (図示による) 行わない [6.6.4]
屋外の軒天井、ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う (図示による) 行わない [6.6.4]

9 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 [6.7.2~3]
・ 改修標仕表6.7.1のスタッドの高さによる区分に応じた種類 ()

10 ビニル床シート

種類 JIS記号 色柄 特殊機能 厚さ 工法 [6.8.2~3]

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
・ 発泡層のないもの ・ 発泡層のあるもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 耐動過重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	※ 2.0	※ 熱溶接 ・ 突付け

11 ビニル床タイル

JIS記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ [6.8.2~3]

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	※ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0
○ KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 無地 ○ 柄物	○ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	○ 2.0 ○ 3.0
・ FOA (置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300角 ・ 450角	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ ()

12 ビニル幅木

厚さ 高さ [6.8.2]
※ 2.0 () ※ 60 ○ 75 ・ 100

13 カーペット敷き

・ タイルカーペット [6.9.2~3] [表6.9.2]

寸法	総厚さ	色柄	備考
・ 500角	・ 6.5	※ 無地 ・ 柄物	帯電防止及び防汚加工品

敷き方 平場 ※ 市松敷き 模様流し ()
階段部分 市松敷き 模様流し ()
取付け用付属品は、監督員との協議による

14 合成樹脂塗床

[6.10.2~3] [表6.10.1~2] [表6.10.4~7]

施工箇所	種別	工法	仕上の種類
	・ 弾性ウレタン塗床	/	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
	・ エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流し延べ ・ 厚膜流し延べ ・ 樹脂モルタル ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ

15 フローリング張り

単層フローリング [6.11.2~6] [表6.11.1] [表6.11.3] [6.11.6]

種類	工法	樹種	厚さ	大きさ	仕上塗装
・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ 桧 ・ なら	・ 15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品
			・ 12以上	板幅75 板長さ300以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品
	・ 釘留め工法 (直張り)	・ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品
			・ フローリングブロック	・ モルタル埋込み工法	・ なら
・ モザイクパーケット	・ 接着工法	・ ()	・ ()	・ 塗装品 ・ 無塗装品	

接着工法の場合の緩衝材 合成樹脂発泡シート ()

4

内装改修工事

16 タイル張り

伸縮調整目地の寸法 [6.16.2]
※ 改修標仕 3.7.3 による 図示による

タイルの種類 [6.16.3]

施工箇所	形状・寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再資源化	備考
		I類 II類 III類	施釉 無釉	有 標準	特注	化タイル	

試験張り 行う 行わない 見本焼き 行う 行わない

壁タイル張りの工法 [6.16.3] [表6.16.4]
※ 改修標仕 表6.16.4 による ()

内装壁タイル接着剤張り [6.16.4] [表6.16.5]
・ 有機質接着剤 (タイプⅠ) 施工箇所 (浴室)
・ 有機質接着剤 (タイプⅡ) 施工箇所 (便所、湯沸室)

種類 せつこう系 セメント系 [6.17.2]
塗厚 () [6.17.3]

・ 薄付け仕上げ塗材 (標仕15.6.2) (標仕表15.6.1)

呼び名	仕上の形状	工法	備考
・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状じゅらく	吹付け	
・ 内装薄塗材W	・ 京壁状じゅらく		

・ 軽量骨材仕上げ塗材 (標仕15.6.2) (標仕表15.6.1)

呼び名	仕上の形状	工法	備考
・ 吹付用軽量塗材E	・ 砂壁状	吹付け	
・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状		

17 セルフレベリング材塗り

19 フリーアクセスフロア

20 可動間仕切

21 移動間仕切

22 トイレブース

23 視覚障がい者用床タイル

24 階段滑り止め

25 床目地棒

26 階段手すり

27 ブラインド

715

建築関係工事特記仕様書

構 造 部 位	材 質	規格・仕様
床	フローリング	単層フローリング
壁	珪藻土	珪藻土
天井	石膏ボード	石膏ボード
床下	断熱材	断熱材
窓	複層ガラス	複層ガラス
扉	木製	木製
階段	木製	木製
手すり	ステンレス	ステンレス
ブラインド	アルミ	アルミ

福島県建築関係工事特記仕様書

福島県相双建設事務所建築住宅課
電話0244-26-1224 FAX0244-26-1334
住所 南相馬市原町区錦町一丁目30

建築士事務所名

株式会社 香設計

設計者氏名

一級建築士 登録第78766号 今泉 義明

工事名称

テクノアカデミー浜 コミュニティホール外防水工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書(2)

図面番号

A-03

4 内装改修工事	28 カーテン	・再使用する ・新設する [2.3.1][5.1.6] (20.2.14)(表20.2.1) <table><tr><th>形式</th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>きれ地の種別 品質、特殊加工</th></tr><tr><td>・シングル ・ダブル</td><td>・片引き ・引分け ※ 手引き ・ひも引き ・電動</td><td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td><td></td></tr></table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別 品質、特殊加工	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ※ 手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		7 環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 石綿含有吹付け材の処理	※ 福島県吹き付けアスベスト改修工事共通仕様書による。																								
	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別 品質、特殊加工																																	
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ※ 手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ																																		
29 カーテンレール	・再使用する ・新設する [5.1.6] (20.2.14) 材質 ※ アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成形板 (アルマイト仕上げ) ・ステンレス製 形状 ・ 角形 ()	とりこわし工事に先立ち、石綿含有吹付け材の除去工事をを行う。 [9.1.1] 処理工法 ※ 除去処理 ・ 封じ込め処理 建築物などの保全技術 ・ 技術審査証明事業により証明された業者及び工法とする。 分析による石綿含有調査 ※ 行う ・ 行わない ※ 測定点 (図示による) ・ 監督員との協議による ※ プラスチック2重袋による密封処理 [9.1.3(2)(4)] ・ () 石綿含有建材の取り扱いについては、石綿障害予防規則 (平成17年2月24日厚生労働省令21号)を遵守すること。																																			
30 カーテンボックス	・再使用する ・新設する [5.1.6] 材質 ・ アルミニウム製既製品 (・ シルバー ・ 着色) ・ 鋼製 ・ 木製	2 石綿含有成形板の処理等	石綿含有成形板の種類等 [9.1.5] <table><tr><th>種 類</th><th>厚 さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・化粧せつこうボード</td><td>・9.5</td><td></td></tr><tr><td>・ビニル床タイル</td><td>・2.0</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	厚 さ(mm)	備 考	・化粧せつこうボード	・9.5		・ビニル床タイル	・2.0																										
種 類	厚 さ(mm)	備 考																																			
・化粧せつこうボード	・9.5																																				
・ビニル床タイル	・2.0																																				
31 コーナービート (壁ボード出隅 保護金物)	材質 ※ アルミニウム押出型材差込型 () ※ シルバー ・ 焼付 () ・ コーナー保護金物付きジョイントテープ	3 特別管理産業 廃棄物管理責任者	石綿含有建材の除去工事にあたっては、元請けとして特別管理産業廃棄物管理責任者を配置するとともに石綿予防規則関係法令に従い、適切に施工すること。ただし、石綿含有成形板の処理工事を除く。 特別管理産業廃棄物責任者 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第8項に基づく配置技術者 なお、主任技術者・監理技術者であることを要しない。																																		
32 天井見切縁	材質 ・ アルミニウム押出型材 ※ 塩化ビニル製 () 施工箇所 ※ 図示による	4 断熱材	外断熱及び断熱材打込み工法 [9.3.2][9.5.2] <table><tr><th>種 類</th><th>種 別</th><th>厚さ(mm)</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">・押出法ポリスチレンフォーム</td><td>・保温板 (2種b)</td><td>・25</td><td rowspan="3">・接地板部分</td></tr><tr><td>・保温板 (3種b)</td><td>・25</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>・硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 既存外壁の処置 [9.3.3] 下地面の清掃 ・ 行う 下地面欠損部の改修工法 () 通気層 ・ 有 (厚さ) ・ 無 断熱材現場発泡工法 [9.5.3] <table><tr><th>難燃性</th><th>厚さ(mm)</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・A種1</td><td>・25</td><td>※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td></tr><tr><td>・A種2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・A種3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・B種1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・B種2</td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	種 別	厚さ(mm)	施 工 箇 所	・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板 (2種b)	・25	・接地板部分	・保温板 (3種b)	・25			・硬質ウレタンフォーム				難燃性	厚さ(mm)	施 工 箇 所	・A種1	・25	※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・A種2			・A種3			・B種1			・B種2		
種 類	種 別	厚さ(mm)	施 工 箇 所																																		
・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板 (2種b)	・25	・接地板部分																																		
	・保温板 (3種b)	・25																																			
・硬質ウレタンフォーム																																					
難燃性	厚さ(mm)	施 工 箇 所																																			
・A種1	・25	※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																			
・A種2																																					
・A種3																																					
・B種1																																					
・B種2																																					
5 塗装改修工事	○ 1 材料	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ () [7.1.3] 防火材料 ※ 屋内の壁、天井の塗装仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく基材間等の認定表示のあるものとする ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)	6 耐震改修工事 共通事項	1 (一般事項) 適用範囲	工事内容 [8.1.1] ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工法 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事																																
	○ 2 下地調整	図示による			工事種別 [8.1.1][8.1.2] ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造体のはつり) ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事																																
	○ 3 錆止め塗料塗り	図示による			施工数量調査 (1.2.2)(1.2.4)(1.3.1) [1.2.2][1.2.4][1.3.1][1.5.2] <table><tr><th>項 目</th><th>内 容</th><th>記録事項等</th></tr><tr><td>・ 図示による</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	項 目	内 容	記録事項等	・ 図示による																												
項 目	内 容	記録事項等																																			
・ 図示による																																					
○ 4 塗装	図示による	各工事については、別紙による。	3 施工数量調査	4 各工事	5 圧縮強度試験	6 コンクリート貫通 ・ はつり・穿孔																															
6 耐震改修工事 共通事項	1 (一般事項) 適用範囲	工事内容 [8.1.1] ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工法 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事	7 環境配慮 (グリーン) 改修工事	1 石綿含有吹付け材の処理	2 石綿含有成形板の処理等	3 特別管理産業 廃棄物管理責任者	4 断熱材																														
	3 施工数量調査	工事種別 [8.1.1][8.1.2] ・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去 (下地の一部又は全てを含む)、構造体のはつり) ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修 ・ 制震改修工事																																			
	4 各工事	各工事については、別紙による。																																			
5 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位 ※ 躯体 ()	6 コンクリート貫通 ・ はつり・穿孔	(1) 貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物(電線類・配管類)の調査を行うこと。 (2) 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査(撮影)等による調査について監督員と協議すること。 (3) 金属探知機及びX線内部探査(撮影)等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。																																		

8
鉄筋工事

7 各部配筋
8 圧接完了後の試験
9 帯筋
10 最上階柱頭補強
11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋を含む)
12 壁開口部の補強
13 梁貫通孔の補強
14 基礎梁主筋の継手
15 機械吊上げ用フック

各部配筋
※ 図示による
(5.3.7)
外観試験
※ 行う (全数)
抜き試験
※ 超音波探傷試験
引張試験
組立の形の種別 ※ 図示による
補強方法 ※ 図示による
配筋方法 ※ 図示による
出隅部分及び出隅受け部の補強筋
※ 図示による
一般壁 ※ 図示による
耐震壁 ※ 図示による
補強形式 ※ 図示による
配筋種別 ※ 図示による
梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト
※ 図示による
※ 図示による
種別 ※ 図示による

9
コンクリート工事

1 コンクリートの種類及び強度
2 レディーミクストコンクリートの種類
3 セメント
4 骨材
5 軽量コンクリート
6 無筋コンクリート
7 ひび割れ誘発目地打設目地
8 コンクリート仕上り
9 打増し厚さ(打放し仕上げ部)
10 型枠
11 圧縮強度試験

普通コンクリートの設計基準強度
(6.2.2)
設計基準強度 (Fc) N/mm²
種別 18 21 24 27
普通コンクリート 部位
軽量コンクリート 部位
上記には補正値Sは含まれない
軽量コンクリートの設計基準強度
(6.2.2)
設計基準強度 (N/mm²)
・24
適用箇所
スラブの値(単位:cm)
(6.2.4) (表6.2.2)
打込み箇所 基礎、基礎梁 土間スラブ 柱、梁、スラブ、壁
所要スラブ 15、18 18
類別
※ I 類 II 類
(6.2.1) (表6.2.1)
種類
(6.3.1) (表6.3.1)
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
施工箇所()
・高炉セメントB種 ()
施工箇所()
・フライアッシュセメントB種 ()
施工箇所()
・ ()
アルカリシリカ反応性による区分
・ A B
(6.3.1)
種類
・ 1種 2種
(6.10.1) (表6.10.1)
適用箇所
・ 標仕 6.14.1(4)による箇所
・ 標仕 6.14.1(4)以外の箇所
図示による ()
設計基準強度
※ 18N/mm² ()
スラブ
※ 15cm又は18cm ()
目地寸法
・ 標仕 9.7.3による
・ 図示による (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)
間隔、位置、形状
・ 図示による ()
部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値
・ 標仕 表6.2.3による ()
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による ()
(6.2.5) (6.9.3) (表6.2.4)
・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)
の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・ 20mm ()
・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ
(内部に面する部分に限る)
()
・ 外壁タイル張り、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外壁側に20mmの打増しを行う
()
せき板の材料
・ 合板(国産材) ()
・ ()
せき板の厚さ
・ 12mm ()
断熱材の兼用
・ 行う 適用箇所()
・ 行わない
スリーブの材種
※ 標仕 6.8.2(9)(イ)及び表6.8.1による ()
公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等
建築物名 部位
※ 躯体 ()

10
鉄骨工事

1 鉄骨製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
4 高力ボルト
5 普通ボルト
6 溶融亜鉛めっき高力ボルト
7 アンカーボルト
8 溶接材料
9 ターンバックル
10 デッキプレート
11 レール及びその付属品
12 スタンド
13 柱底均しモルタル
14 工作図

鉄骨製作工場の加工能力
(7.1.3)
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・ S ・ H ・ M O R ・ J グレード
・ 監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)
○ 適用する (7.1.3~4)
・ 適用しない
材質等 (7.2.1) (表7.2.1)
種類の記号 適用箇所 規格
※図示による() ※JISによる 大臣認定による ()
※図示による() ※JISによる 大臣認定による ()
有効細長比(圧縮材に限る) ※図示による ()
ボルトの区分 (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9)
※トルシア形高力ボルト
セットの種類 ・ 2種(S10T) ()
・ JIS形高力ボルト
セットの種類 ・ 2種(F10T) ()
高力ボルトの径
○ 図示による ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○ 図示による ()
すべり係数試験
※ 行わない (7.4.2)
・ 行う 試験方法等 ※ 図示による ()
ボルト及びナットの種類
・ 標仕 表7.2.3による ()
座金
・ 標仕 7.2.3(4)による ()
ボルトの径
○ 図示による ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○ 図示による (7.2.3) (7.3.2)
セットの種類
・ 1種(F8T相当) (7.2.2) (7.12.3~4)
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
・ 図示による ()
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による (7.3.8)
・ ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による ()
・ ()
摩擦面の処理
・ プラスト処理(表面粗度50 μ mRz以上)
・ ()
適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)
○ 構造用アンカーボルト
セットの種類 ○ JSS II 13-2004 ABR400
JSS II 13-2004 ABR490
・ 図示による ()
形状、寸法
・ 図示による ()
・ 建方用アンカーボルト
材質
・ SS400 ()
アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度
○ 標仕 表7.2.3による ()
・ ()
形状、寸法 ○ 図示による ()
溶接材料 (7.2.5)
※ 標仕 7.2.5(1) (2)による。
・ 標仕 7.2.5(1) (2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ※ 図示による ()
種類
建築用ターンバックル胴
・ 割枠式 ()
建築用ターンバックルボルト
・ 羽子板ボルト ()
ねじの呼び
・ 図示による ()
材質、形状及び寸法 (7.2.7)
適用箇所 材質・形状・寸法 備考
・ 構造床
・ 合成スラブ
・ 床型枠用
開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。)
・ 図示による ()
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) (7.7.8)
・ アークスポット溶接又は隅肉溶接
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ)
・ 焼抜き栓溶接 ・ スタッド ()
耐火認定
・ 有り 耐火時間 ※ 図示による ()
・ 無し
形状及び寸法等
・ 図示による ()
材質、形状及び寸法 (7.2.8)
※ 頭付きスタッド JIS B 1198 ()
呼び名等
呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所
・ 16
・ 19
・ 22
モルタルの種類 (7.2.9)
○ 無収縮モルタル ()
無収縮モルタルの材料、調合等
材料、調合等 ※ 標仕 7.2.9(2)による ()
品質及び試験方法 ※ 標仕 表7.2.5による ()
監督員による現寸検査 ○ 行わない (7.3.2)
・ 行う
増築工事等を含め、既存建築物との取り合い箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。

10
鉄骨工事

15 鉄骨の製作精度
16 鉄骨の仮組
17 溶接技能者の技量付加試験
18 溶接接合
19 現場溶接の有無
20 入熱、バス間温度溶接条件
21 溶接部の試験
22 錆止め塗装
23 耐火被覆
24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
25 軽量鋼構造
26 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)
27 梁貫通孔の補強

○ 標仕 7.3.3による
溶接ずれ及び食い違い (7.3.3)
・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること
・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する
ただし書きの計算確認有り。 ()
・ 図示による ()
仮組を行う範囲 ※ 図示による () (7.3.10)
確認方法、確認項目 ※ 図示による ()
試験の要領及び試験を要する溶接箇所
※ 図示による () (7.6.3)
開先の形状 ※ 図示による () (7.6.4)
スカップの形状 ※ 図示による () (7.6.7)
エンドタブの切除する部分
・ 全て ()
・ 見え掛り部となる部分 ()
・ 切除する部分なし ()
溶接部の余盛り高さ () (7.6.7)
・ 無し
○ 有り 適用箇所 ○ 図示による(隅肉溶接)
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
・ 図示による ()
適用箇所
・ 図示による ()
・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) (表7.6.2~4)
※ 行わない
・ 工場溶接の場合
・ 全数検査
・ 抜取検査
AOQL(%)
・ 4.0
・ 2.5
節 全て
検査水準 第6水準
・ 工事現場溶接の場合
・ 全数検査
・ 計数連続生産型抜取検査
AOQL(%)
・ 4.0
・ 2.5
塗料の種類 (7.8.4) (18.3.2)
・ 鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種
・ ()
屋内
○ 標仕 18.3.2 表18.3.1(B)種
・ ()
・ ()
亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料
・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種
・ ()
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種
・ ()
耐火被覆材の接着する面への塗装
・ 行わない
・ 行う
適用箇所
塗料の種類
・ 図示による ()
・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種
・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種
種類 (7.9.2~7)
種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分)
・ 耐火材吹付け
・ 乾式吹付けロックウール
・ 半乾式吹付けロックウール
・ 湿式ロックウール
・ 耐火板張り
・ 繊維混入けい酸カルシウム板
・ 耐火材巻付け
・ 高断熱ロックウール
ラス張りモルタル塗
性能
性能 適用箇所(部位・部分)
・ 30分耐火
・ 1時間耐火
・ 2時間耐火
・ 3時間耐火
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別 ・ 図示による ()
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3) (表7.10.2)
※ 標仕 表7.10.2 (※A種[モルタル厚さ50]・B種[モルタル厚さ30])による
接合部(ボルト接合の場合)
・ 普通ボルト接合 () (7.11.2)
種類等 (7.12.4) (表14.2.2)
亜鉛めっきの種類 材料 備考
A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板
B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板
C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類
最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
素地ごしちえは、JIS H 8641による
適用箇所 ※ 図示による ()
補強方法
・ 補強トラス法 ()
・ ()
適用箇所 ※ 図示による ()

15

その他

1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
1)対象揮発性有機化合物(VOC)
2)測定室
3)測定方法

下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

・ホルムアルデヒド
・トルエン
・キシレン
・パラジクロロベンゼン
・()
・アセトアルデヒド
・スチレン
・エチルベンゼン
・()

※簡易測定法による。
VOCの種類別
※ホルムアルデヒド
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン
・厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種類別	測定方法	採取方法	測定方法
・ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン	・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光度法 ・バクシア型採取	・DNPH誘導体化固相吸着／溶媒抽出 ・固相吸着／溶媒抽出法 ・固相吸着／加熱脱着法 ・容器採取法	・高速液体クロマトグラフ法 ・() ・() ・() ・()

果産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位() 樹種()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位() 樹種()

果産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位() 樹種()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位() 樹種()

果産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)
使用部位() 石材()
地域材を使用する部位及び石材については下記による。
使用部位() 石材()

果産材を使用部位及び材については下記による。(代用材は使用できない)
使用部位() 材()
地域材を使用する部位及び材については下記による。
使用部位() 材()

16

東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

1 資材調達
2 労働者確保

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。))について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。
営繕費(共通仮設費における仮設建物費)・労働者送迎費・宿泊費・借上費
労務管理費:募集及び解散に要する費用・賃金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(営繕費):設計書に積上げ計上された金額
2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合 3.18 %

(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

17

施工条件

1 工程関係
2 施工時期
3 施工順序
4 利用平行改修
5 他機関との協議
6 工事用地
7 公害対策
8 安全対策
9 その他

・調整無し
○別途工事との工程調整が必要有り
調整項目
・資材等の流用
・仮設及び工事用道路等の調整
・建設機械等の調整
・図示による
○その他(施設管理者との調整による)

※制限無し
○制限有り
・制限する工種名()
・施工時期(・土日祝日のみ
・図示による
○その他(施設管理者との調整による)
・施工時間(・夜間のみ
・時～時まで
・図示による)
・施工方法()
・別紙のとおり

・有(・年 月 日
・別紙のとおり)
・無
・有(・: ~
・別紙のとおり)
・無

※施工順序の指定無し
・施工順序の指定有り
※図示による
・() → () → () → ()

・利用平行改修による制限無し
○利用平行改修による制限有り
※対象エリア等は図示による

協議が必要な機関名()
協議完了見込み時期()

○下記以外は図示等による。
(1) 工事車両の駐車場 (※構内・())
(2) 資材置き場 (※構内・())
(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内・())

・仮設ヤード ※無し・有り(※図示による・())

※施工方法の制限無し
・施工方法の制限有り
・騒音・振動・水質・粉じん・排出ガス・その他()
・施工方法等
・指定工法名()
・別途協議による
・図示による

・事業損失防止に関する調査
・騒音測定・振動測定・水質調査
・近隣家屋の事前・事後調査
・地盤沈下測定
・その他()
・調査箇所
・図示による
・別途協議
・調査時期
・図示による
・別途協議

・近接公共施設等に対する制限
・近接公共施設名等(・鉄道・電気・ガス・水道・電話・その他())
・制限を受ける工種()

※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※当該工事現場を使用した技術研修会等の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

17

施工条件

別表-1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」
別表-1 設備工事との工事区分表

工 事 内 容		建築工事	電気設備	機械設備	その他
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	※		
		屋内	※		
		屋外	※		
		屋上	※		
		自家発電機基礎(アンカーボルトを除く)	※		
	機 械 関 係	テレビアンテナ基礎(〃)	※		
		避雷針の基礎(〃)	※		
		屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)	・		※
		屋上設備(〃)	※		
		屋外設備(〃)	・		※
開 口 部	梁台、アンカーボルト	・	※	※	
	待記した基礎	※			
	梁、床、壁	※			
	貫通スリーブ	※			
	梁、床、壁	※			
	貫通部型枠	※			
	軽量鉄骨下地、壁、	※			
	天井ボード類の切込	※			
	埋込形分電盤、	※			
	端子盤等の型枠	※			
点 検 口	上記開口部の補強	※			
	上記開口部の突出し	※			
	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)	※			
	フリーアクセスフロア用配線器具	※			
	床、壁、天井	※			
	外部取付ガラリ	※			
	湯沸室のフード	※			
	換気扇の取付枠	・		※	
	流し台	排水トラップ共	※		
	防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	・	※	
床下水槽のマンホールふた	タンク基礎	・		※	
	雨水	※			
	汚水、雑排水	※			
	雨水立管(たてどい)	※			
	トイレ手すり	※			
	化粧鏡(衛生器具まわり)	・		※	
	はめ込形洗面器用カウナー(前板共)	※			
	ガスボンベ転倒防止用の鎖	・		※	
	電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と	※		
		操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ			
防火扉レリーズ			※		
電極棒			※		
配線ビッド及びふた		※			
機器などへの接続(1次側)			※		
機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共)				※	
機器付属の制御盤への電源供給配管配線			※		
自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線			※		
自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線			※		
ガス漏れ検知器	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)	※			
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線			※	
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)			※	
	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		※		
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線			※	
	電 気 錠	電気錠及び通電金具	※		※
	TENキー及び制御盤	・	※		
	エレベーター出入口三方枠(金属製)	※			
	エレベーター出入口三方枠(石製)	※			
	シャワーユニット、バスユニット、洗濯機パン	※			
システム天井	ボード・Tバー	※			
	照明ライン設備プレート		※		
	空調ライン設備プレート			※	
	消火器ボックス	※			
	自動制御設備関連のインバーター装置及び盤				
	自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)				
	18 特別措置に基づく市場単価の補正	○ 1 内容	※ 本工事は、時間外労働時間を短縮するために必要な費用を単価に反映させるため、市場単価及び補正市場単価の補正をする。		
	○ 2 基準	※ 令和4年度の公共工事設計労務単価における特別措置を踏まえた建築関係工事に適用する市場単価の運用について			
	19 再生資源利用(促進)計画	・ 1 再生資源利用計画書	受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。		
		○ 2 再生資源利用促進計画書	受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。		

福島県建築関係工事特記仕様書

福島県相双建設事務所建築住宅課
電話0244-26-1224 FAX0244-26-1334
住所 南相馬市原町区錦町一丁目30

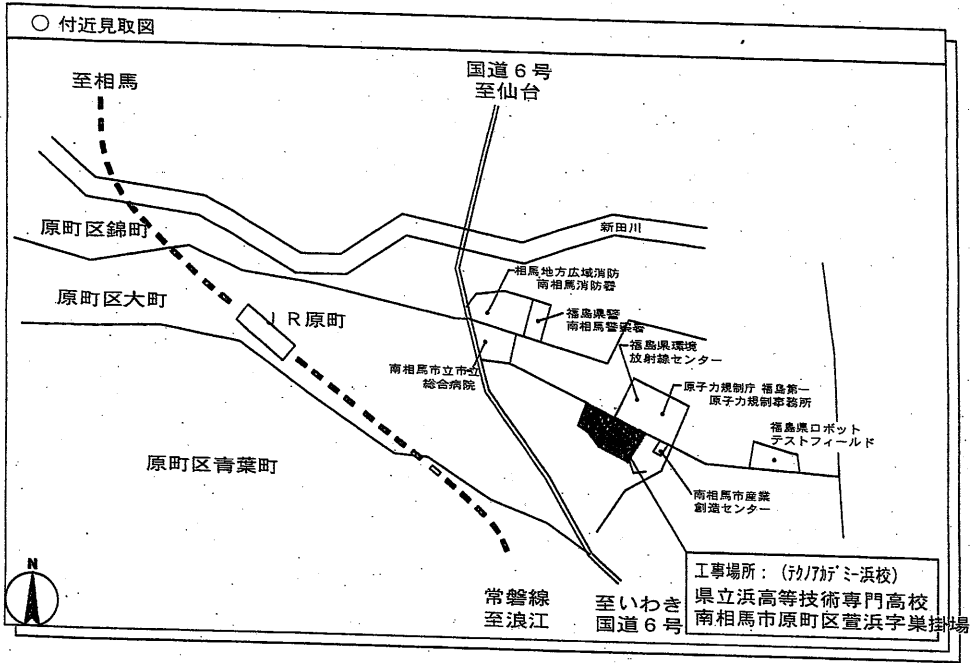
建築士事務所名
株式会社 香設計

設計者氏名
一級建築士 登録第78766号 今泉 義明

工事名称
テクノアカデミー浜 コミュニティホール外防水工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書(6)

図面番号
A-07



○ 改修工事 概要 〈コミュニティホール棟〉

1. 複層ガラス及びジッパー付ガasket、点検口: 8箇所 (オペレーター・操作盤共) 撤去
※ 鉄骨下地: 既存再利用
2. 屋根葺き新設に伴う鉄骨下地の補強工事
3. 屋根葺き: 定尺横葺き ア0.4mm (SGL同等品)、接着ゴムアスルーフing、硬質木毛セメント板 ア18mm 高性能フェノールフォーム ア12mm
4. 陸屋根: 塩ビ製シート防水 ア1.5mm 機械固定工法 S-M2
5. ホール内、照明器具の新設

○ 改修工事 概要 〈渡り廊下〉

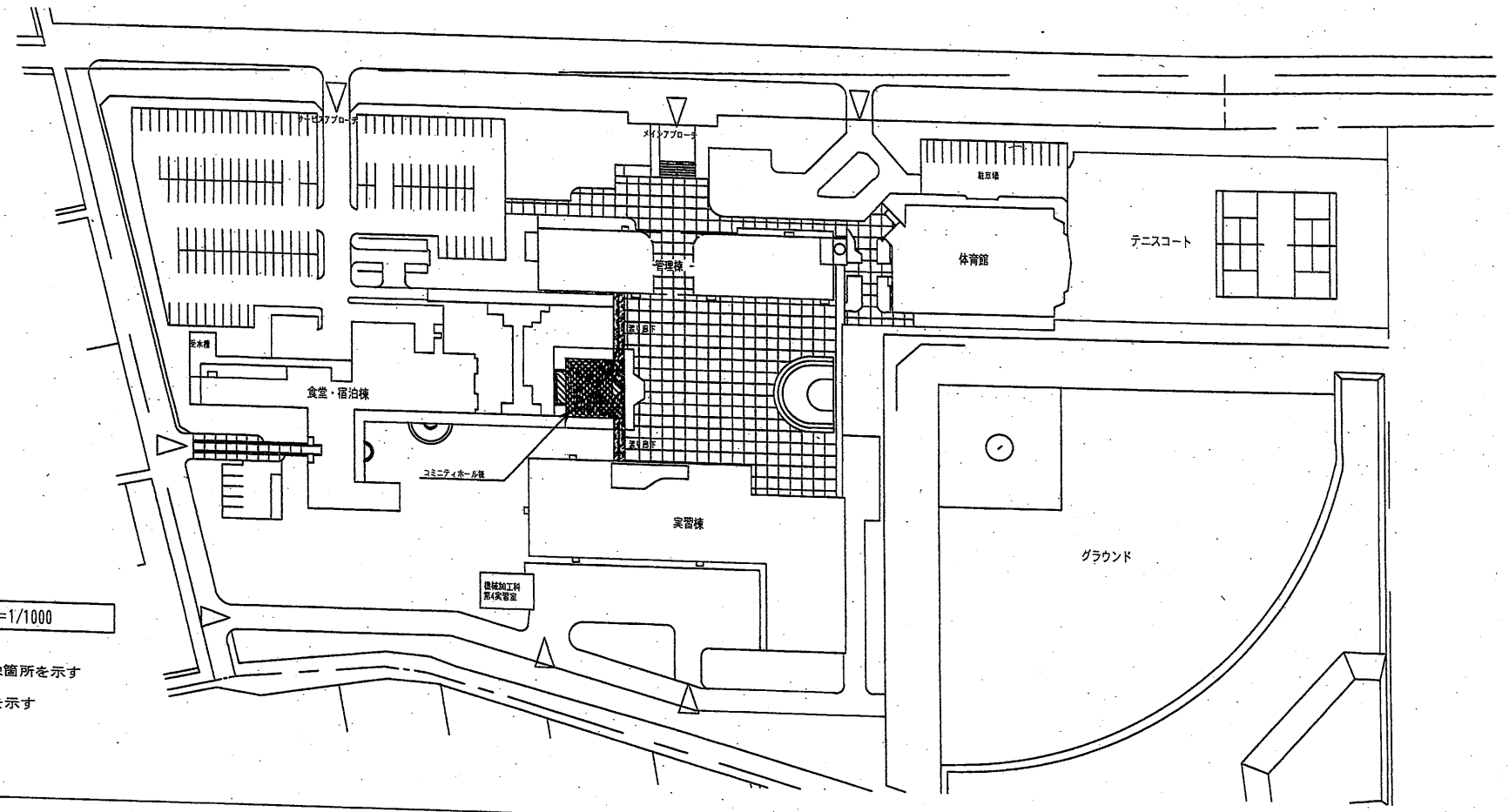
1. 金属製建具 改修工事 (副資材入れ替え)
2. 屋根面・サッシ廻り: 現シーリング部分 打ち替え (水切り、部材取合い部)
3. アルミ製額縁 穴開き部: 部分撤去・新設
4. 雨漏りによる接着不良部: ビニル床タイル300口張り替え
5. ビニル巾木 H=75撤去、新設
6. 壁石膏ボード ア12.0mm撤去、ア12.5mm新設 (GL工法) の上、水溶性特殊アクリル接着塗装塗り

部位	渡り廊下 (1) (2)		階	2階 (屋根・壁)
	現況 (解体撤去)	改修後		
下地	鉄骨下地	アルミ断熱パネル ア75mm アルミ ア2.0mm フッ素樹脂接着塗装仕上 耐火ボード裏打ち仕上 取合い部: シーリング (撤去)	下地	取合い部: シーリング MS-2 (新設)
外壁	---	シーリング (撤去)	既存のまま	シーリング MS-2 (新設)
アルミ建具	---	引き廻り部: ネオプレーンゴム (撤去) 額縁: アルミ製 W175×H25 (損傷部材のみ撤去)	---	引き廻り部: ネオプレーンゴム (新設) 額縁: アルミ製 W175×H25 ア2.0mm (新設)
内部 (床)	コミュニティホール: コンクリート下地 渡り廊下: コンクリート下地	ビニル床タイル ア3.0mm (一部撤去) ビニル床シート ア2.0mm	既存のまま	ビニル床タイル ア3.0mm (一部新設)
内部 (壁)	壁: 石膏ボード ア12mm (撤去)	水溶性特殊アクリル樹脂塗料	壁: 石膏ボード ア12.5mm (新設)	水溶性特殊アクリル樹脂塗料塗り (新設) 巾木: ソフト巾木 H=75 (新設)



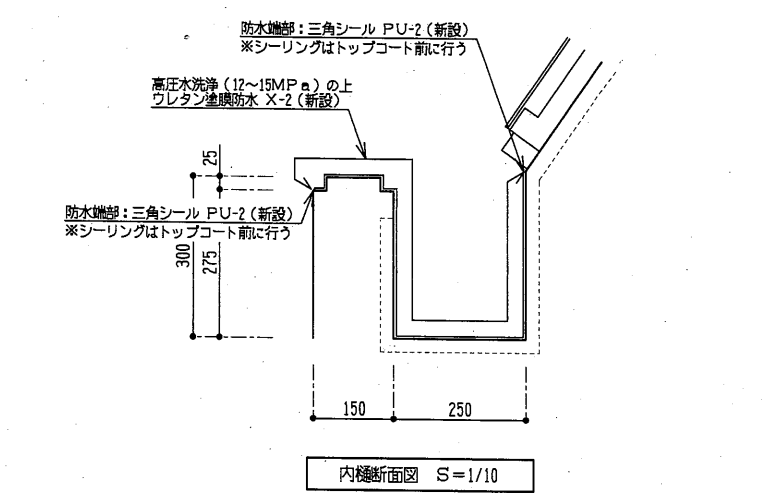
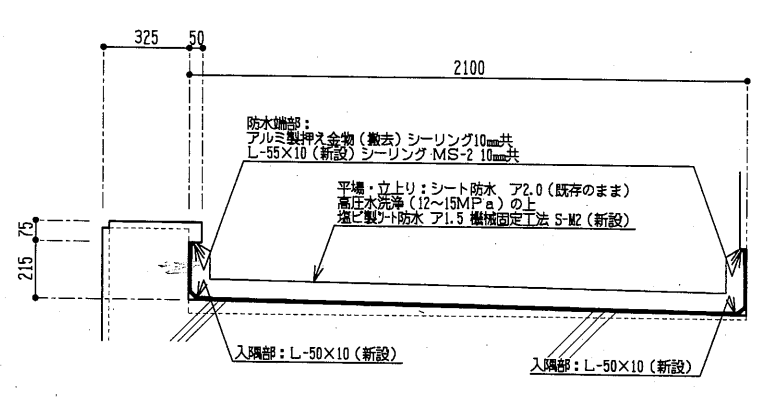
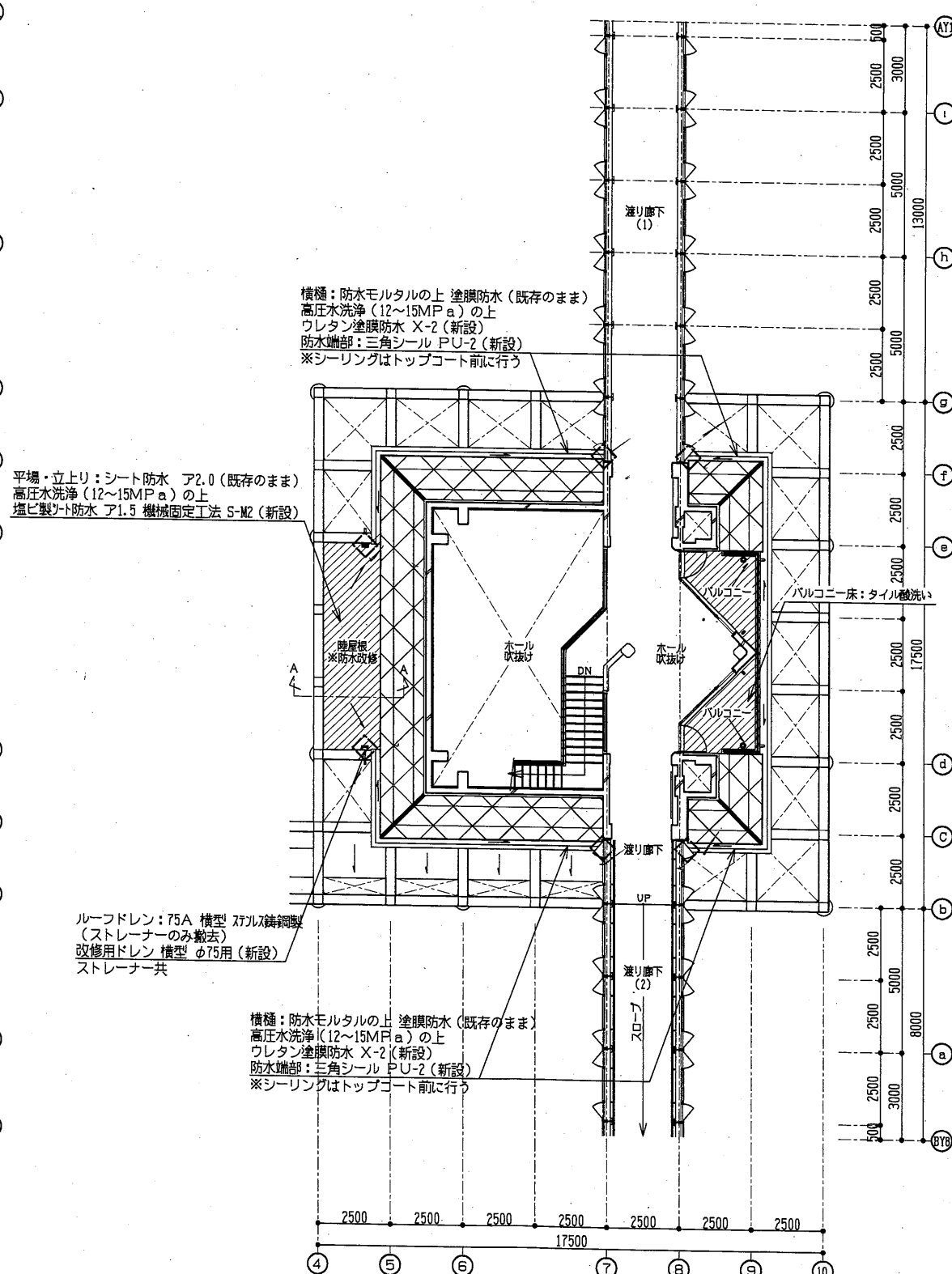
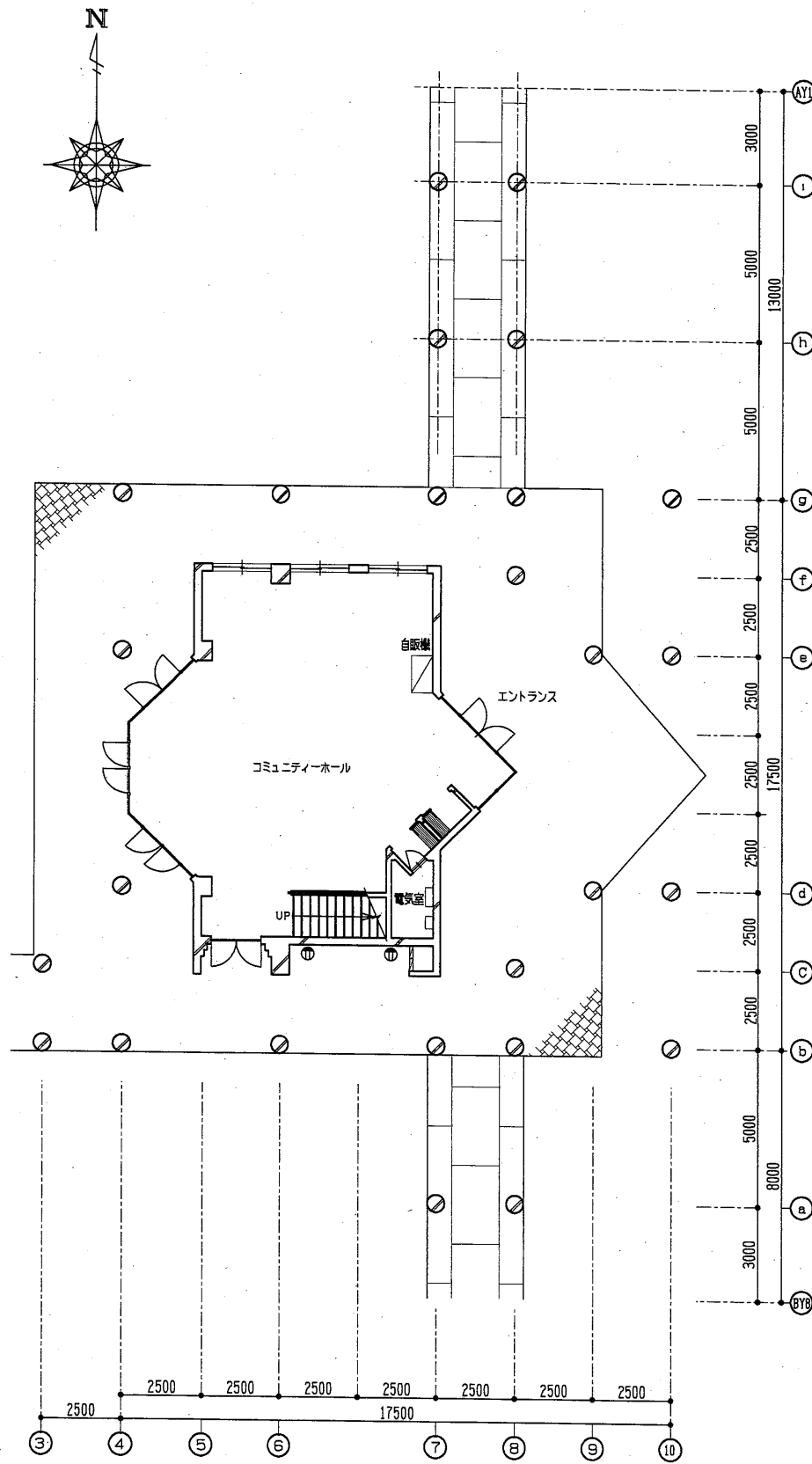
配置図 S=1/1000

■: 工事対象箇所を示す
△: 出入口を示す



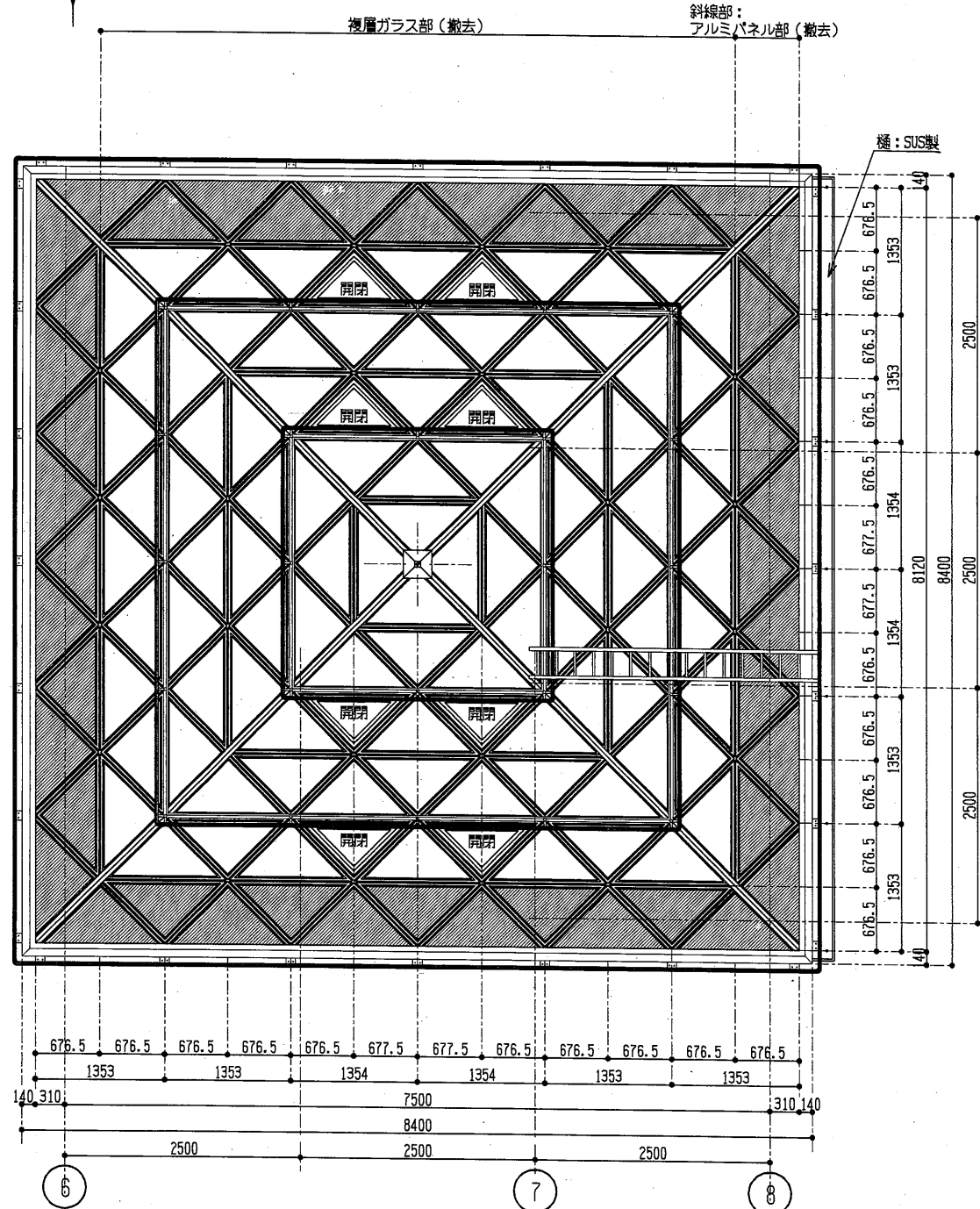
コミュニティホール棟 (トップライト)				階	屋根
現況		改修後		階	屋根
部位	下地	仕上	下地		
屋根	鉄骨下地: CT-175×90×25×5×8 鉄骨下地: CT-100×50×25×5×7 焼付け塗装 三角棒: SUS304L-50×50×6 (HL)	複層ガラス: 網入6.8+A6+FL6 (撤去) ジッパー付ガasket W64mm (撤去) 1段目: アルミ製断熱パネル (撤去) 丸環: SUS304 60φ (撤去) メンテナンス用横パイプ: 38φ ア6.0mm (撤去) 足受けアングルL-50×50×6 SUS製 (撤去)	鉄骨: C-100×50×2.3 (新設) 既存鉄骨下地: 錆止め塗装	下地	定尺横葺き ア0.4mm (SGL同等品) 裏張り断熱材付 (新設) 接着ゴムアスルーフing (新設) 硬質木毛セメント板 ア18mm (新設) 高性能フェノールフォーム ア12mm (新設)
陸屋根	コンクリートスラブ	シート防水 ア2.0mm (熱溶着工法 塩ビ系) (既存のまま) ルーフトレン: 75A 模型 ステンレス鋼製 (ストレーナーのみ撤去) 防水端部: アルミ製防水押え金物 (撤去) シーリング共 笠木: フッ素樹脂防水材吹付	高圧水洗浄 (12~15MPa)	改修後	塩ビ製シート防水 ア1.5mm 機械固定工法 S-M2 (新設) 改修用ドレン 模型 φ75用 (新設) ストレーナー共 防水端部: アルミ製防水押え金物 (新設) シーリング共 笠木: 高圧水洗浄 (12~15MPa) の上 ウレタン塗膜防水 X-2 (新設) 防水端部: 三角シール PU-2 (新設)
外壁	コンクリート打放し仕上げ	塗膜防水仕上の上 アルミパネル ア3.0mm アクリルクリアー	既存のまま	既存のまま	既存のまま
バルコニー	床: モルタル塗り ア30	磁器質タイル 100□ ルーフトレン: 75A 模型 (ステンレス鋼製 打込型) 手摺り: ステンレス製 HL仕上+アルミバンテングメタル AL-2.0	既存のまま	酸洗い清掃	酸洗い清掃
建具	---	突出窓 (撤去)	---	---	新設屋根の仕様による
とい	機種: 防水モルタル ア15mm	塗膜防水 (既存のまま) ルーフトレン: 75A 模型 ステンレス鋼製 (ストレーナーのみ撤去) 軒棒: SUS-PL加工 ア1.5mm W200mm、D100mm (撤去)	機種: 高圧水洗浄 (12~15MPa)	---	ウレタン塗膜防水 X-2 (新設) 防水端部: 三角シール PU-2 (新設) 改修用ドレン 模型 φ75用 (新設) ストレーナー共

※ 横葺・笠木: クラック補修 Uカットシール材充填工法 (可とう性エポキシ樹脂): 31.1m

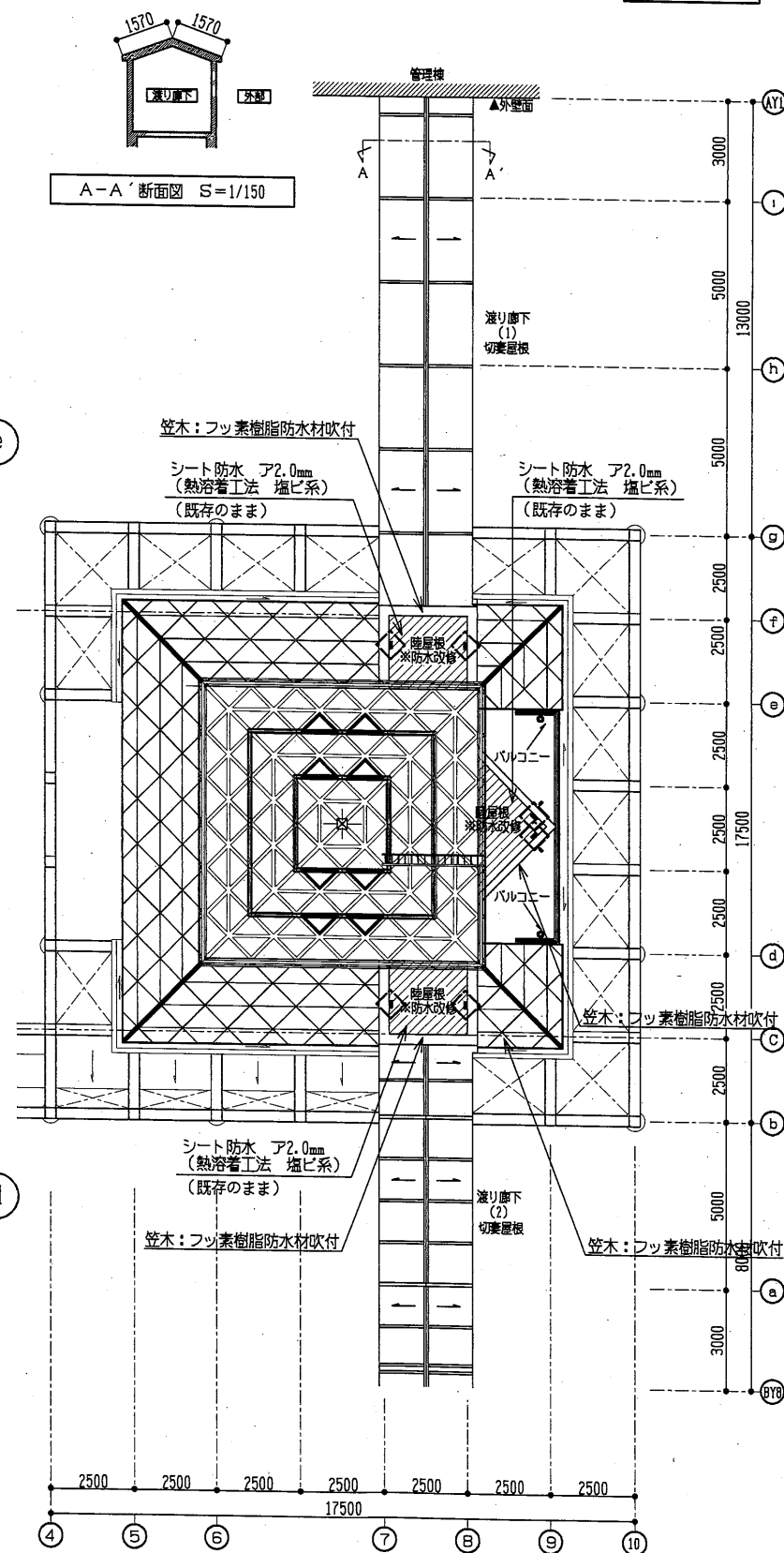


① : ドレン改修を示す
 ルーフドレン: 75A 横型 ステンレス鋼製 (ストレーナーのみ撤去)
 改修用ドレン 横型 φ75用 (新設) ストレーナー共

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事													
KAGA 株式会社 設計 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1 TEL 024-924-0005(代)			1級建築士 第78766号		1級建築士 事務所登録		担当	改修	S				
			今泉 義明		12(904)0163		1・2階平面図		S 1/150		NO.		
							部分詳細図		S1/10, 1/20		A-09		

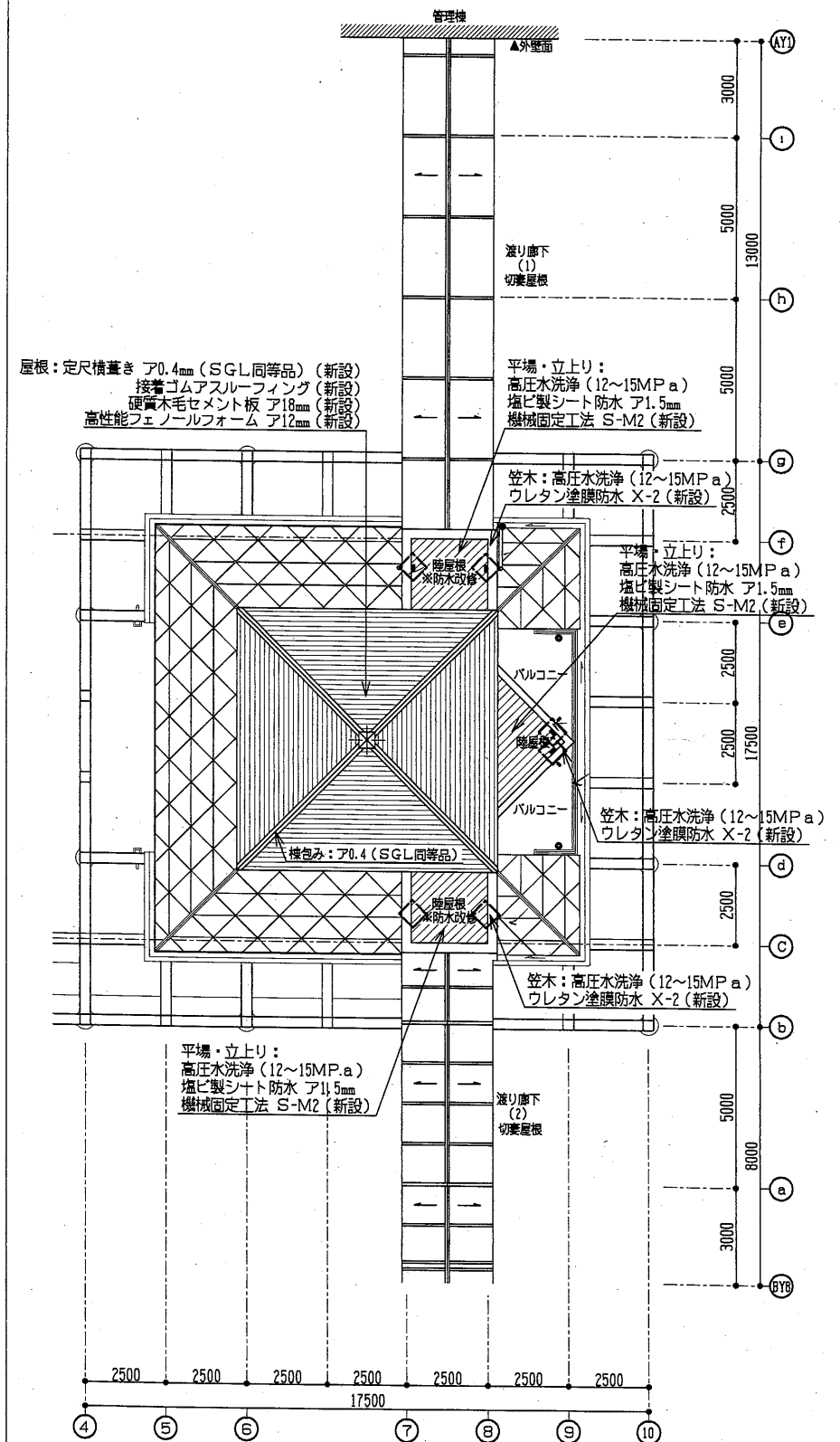


現況 平面詳細図 S=1/50



現況 屋根伏図 $S=1/150$

◆ : ドレン改修を示す
ルーフドレン: 75A 横型 ステンレス鋳鋼製 (ストレーナーのみ撤去)

改修後 屋根伏図 $S=1/150$

◆ : ドレン改修を示す
改修用ドレン 横型 φ75用(新設)ストレーナー共

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事

KAGA 株式会社 **香 設 計**

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1
TEL 024-924-0005(代)

1級建築士 第 78766 号

1	級	建	築	士
事	監	師	技	師

担当

現況・改修後	
--------	--

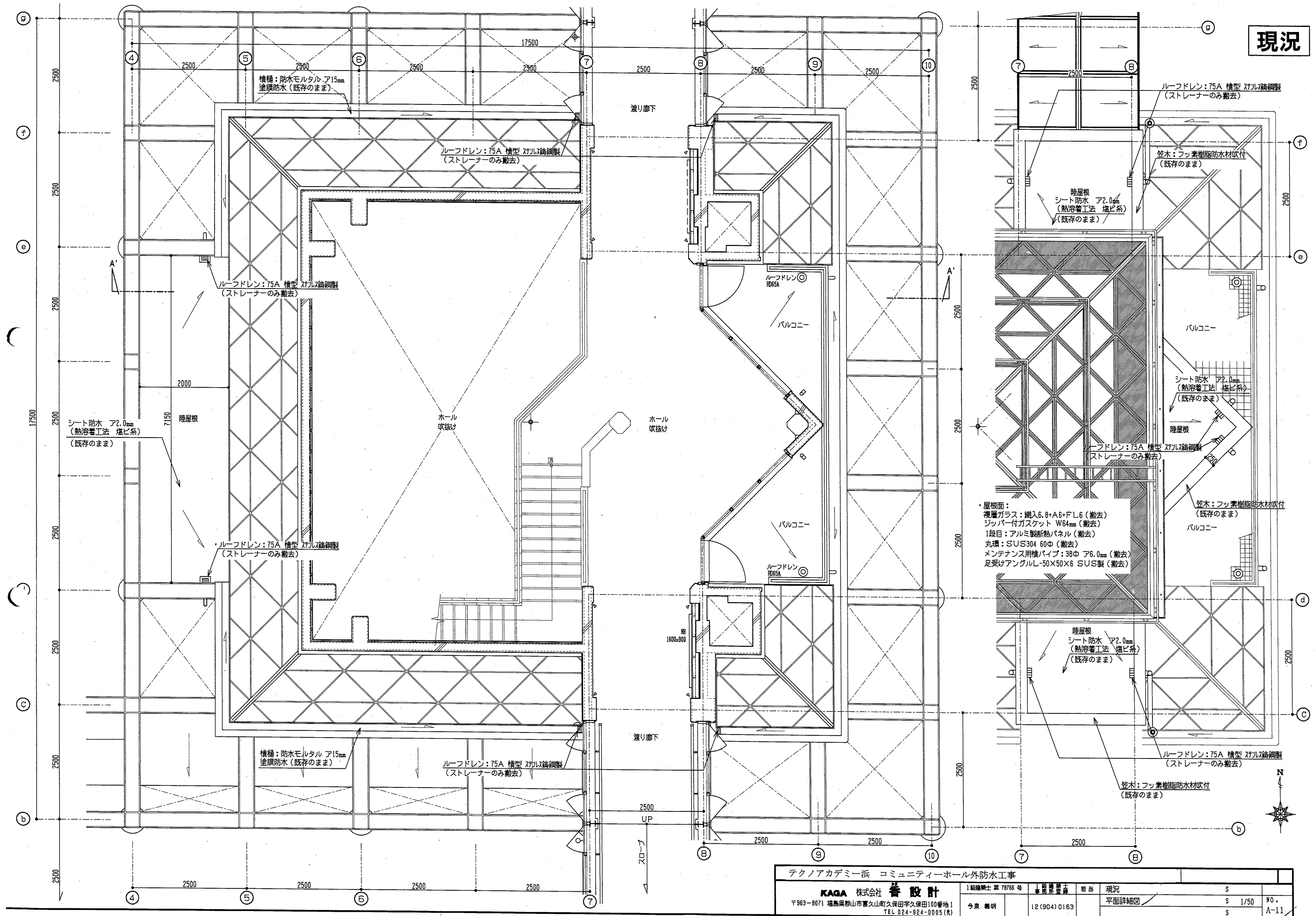
现状	收修竣
层相伏四	

屋根平面詳細図

改修後

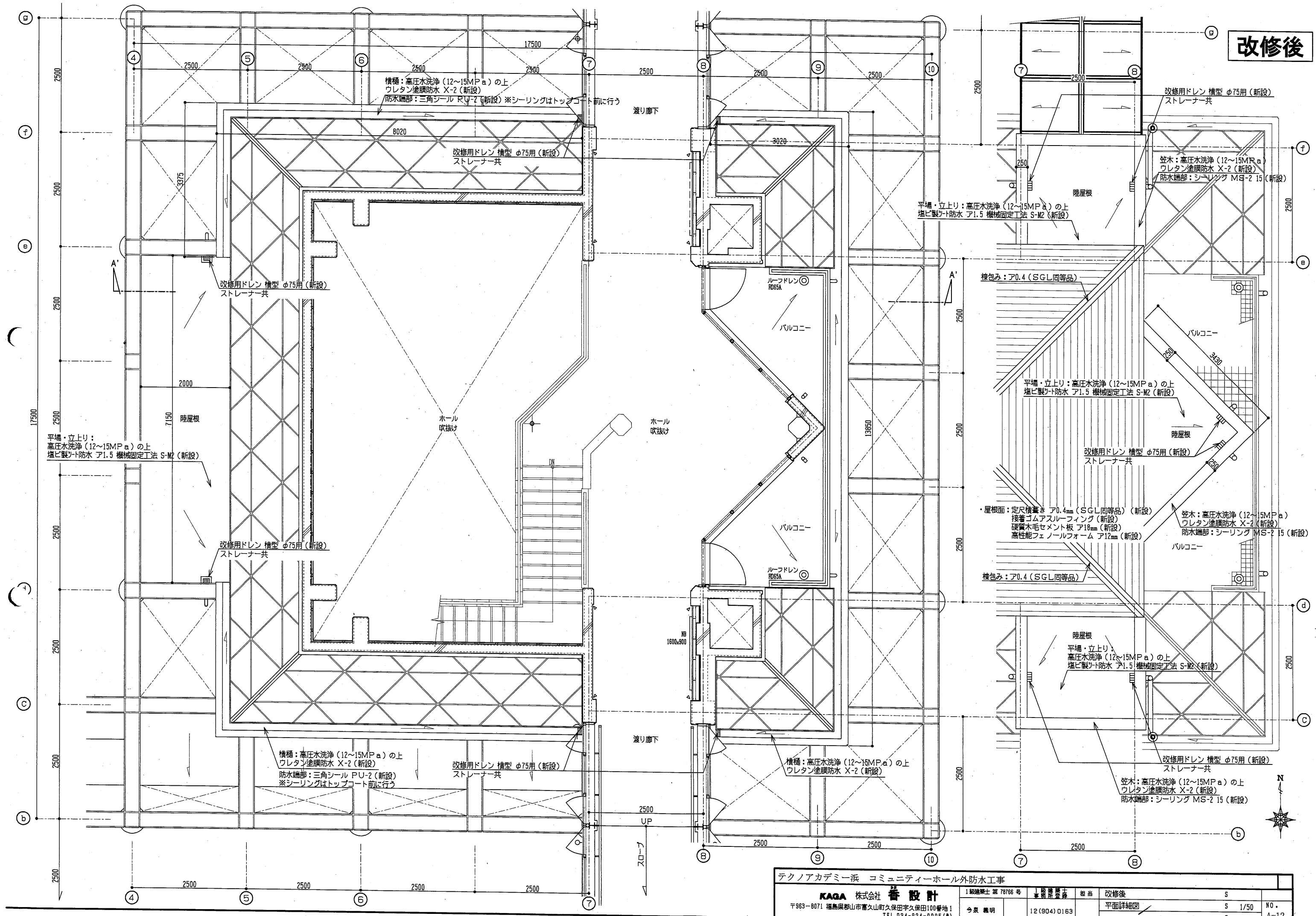
NO.

A-10 ✓



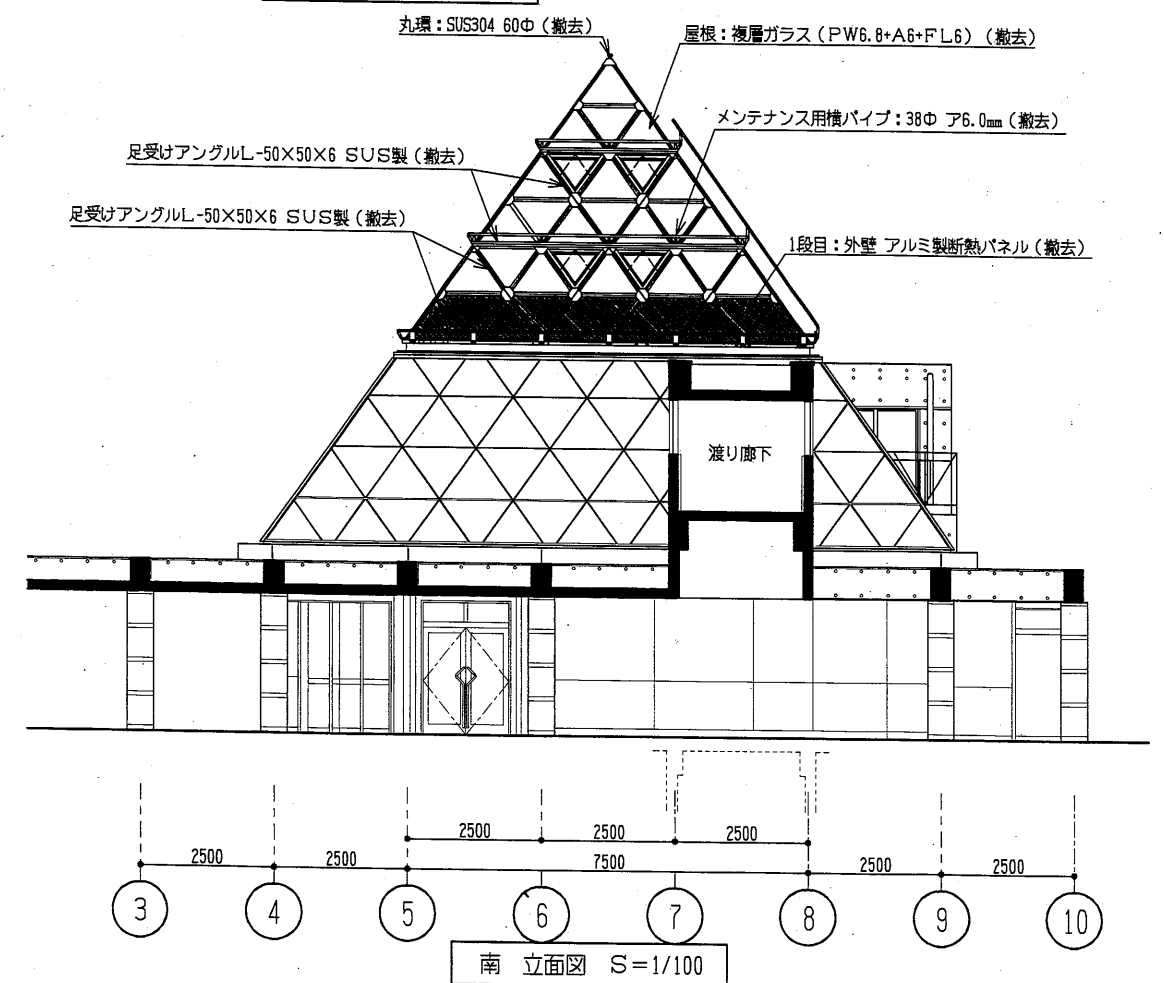
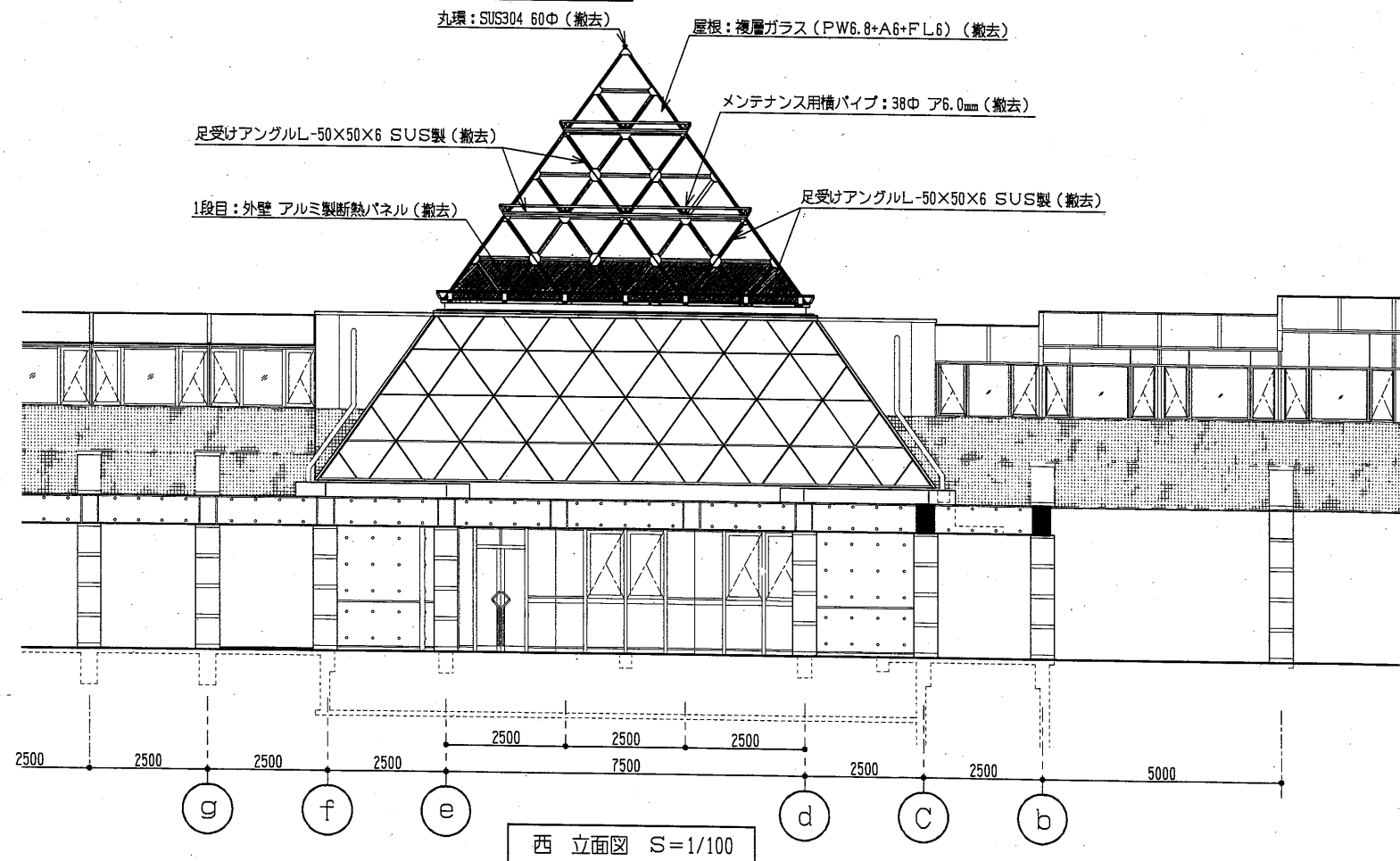
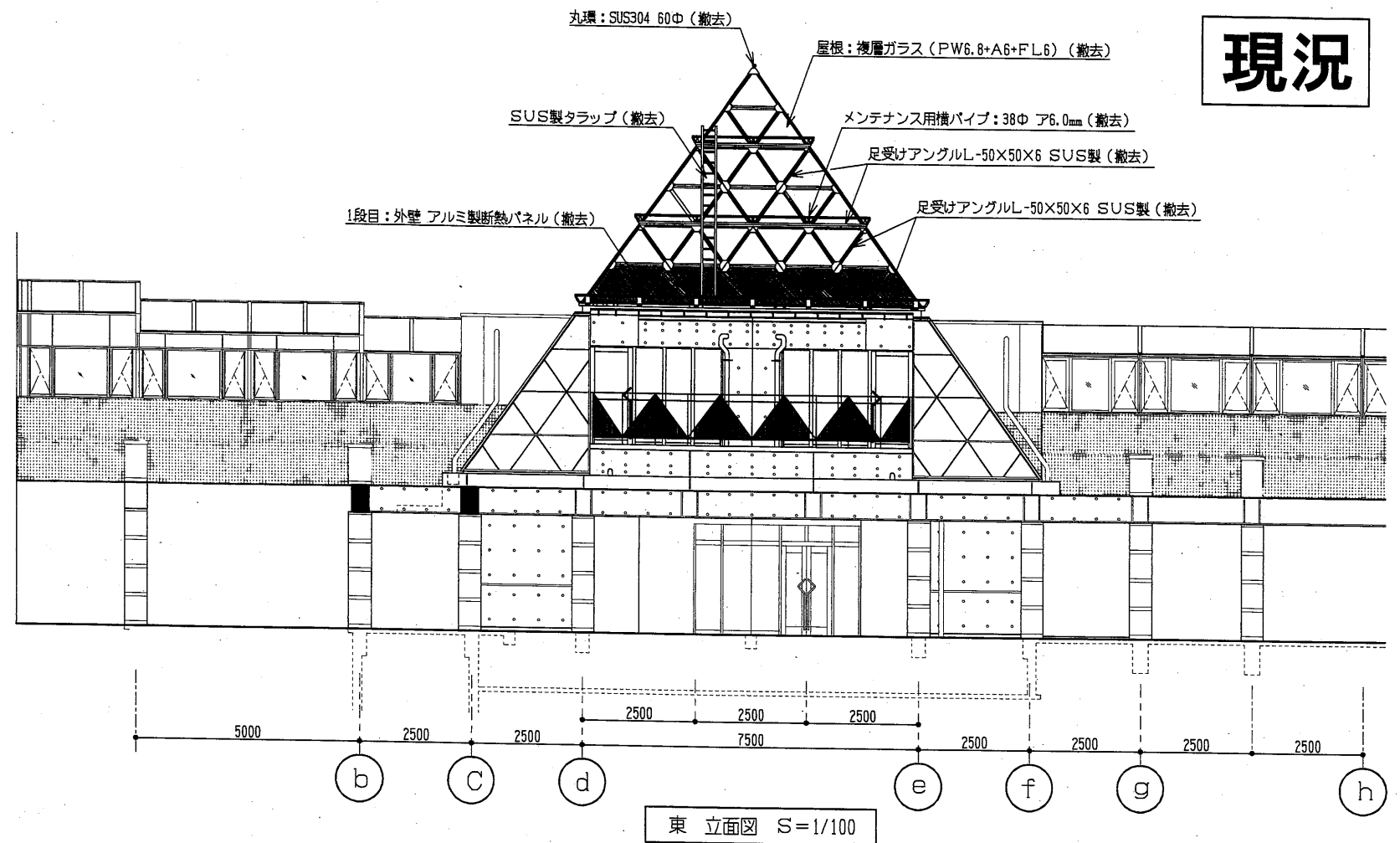
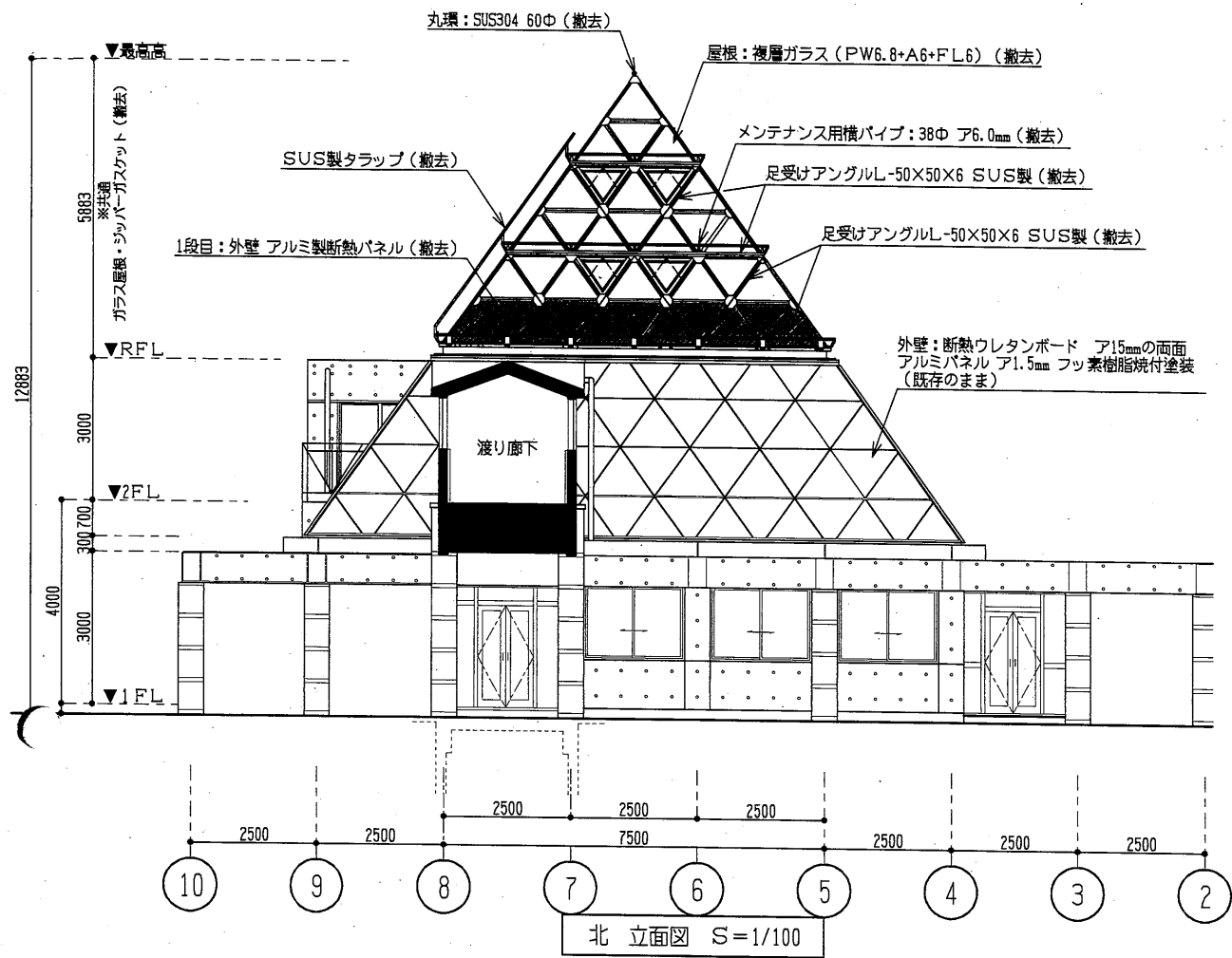
テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事				S	
KAGA 株式会社 設計				S	
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1				S 1/50	
TEL 024-924-0005 (R)				S	
1級建築士 第78766号				NO.	
今泉 義明				A-11	
12 (904) 0163					
平面詳細図					

改修後



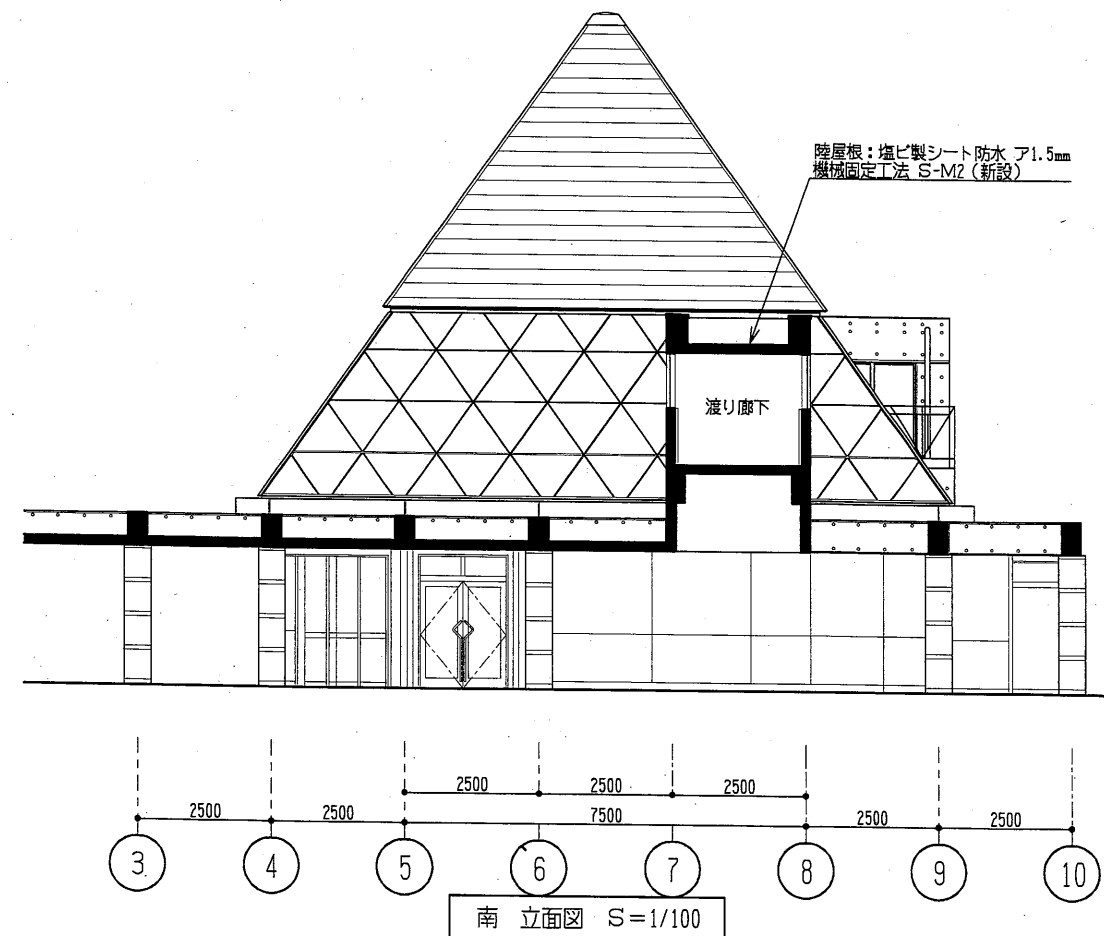
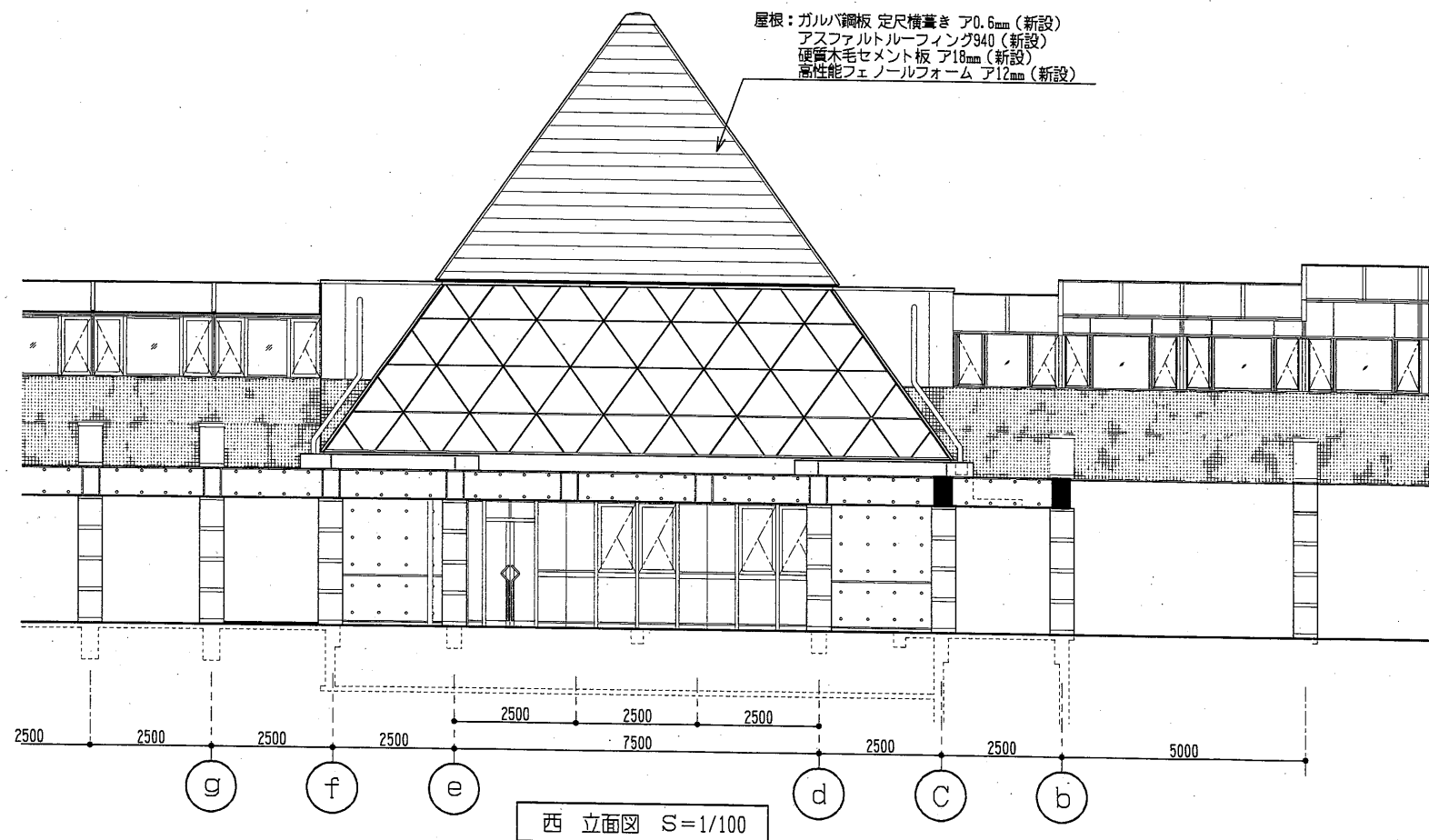
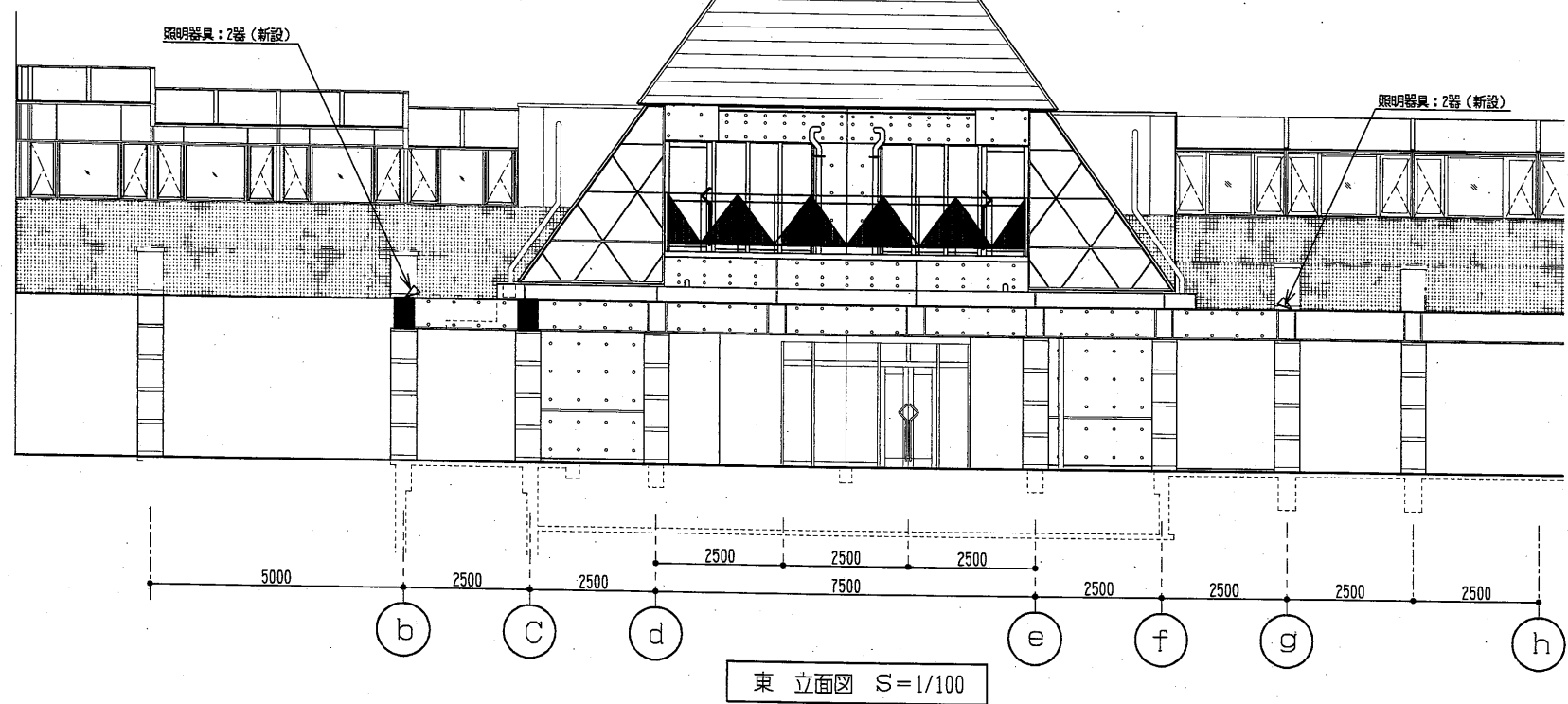
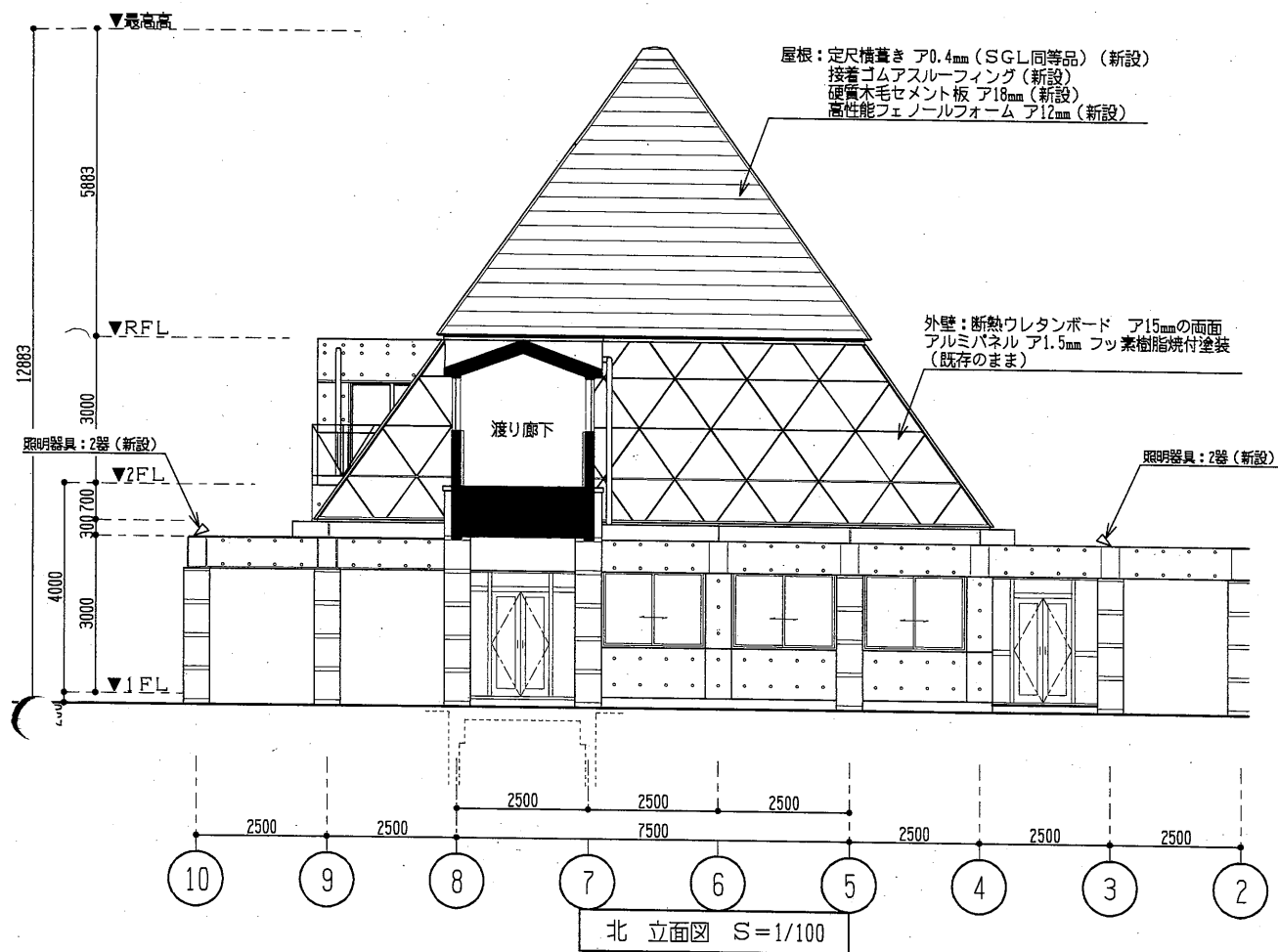
テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事				改修後		NO. A-12
KAGA 株式会社 設計		1級建築士 第 78766 号	1級建築士 事務所 登録	担当	S	
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1		今泉 義明	12(904) 0163	平面詳細図	S 1/50	
TEL 024-924-0005 (R)					S	

現況



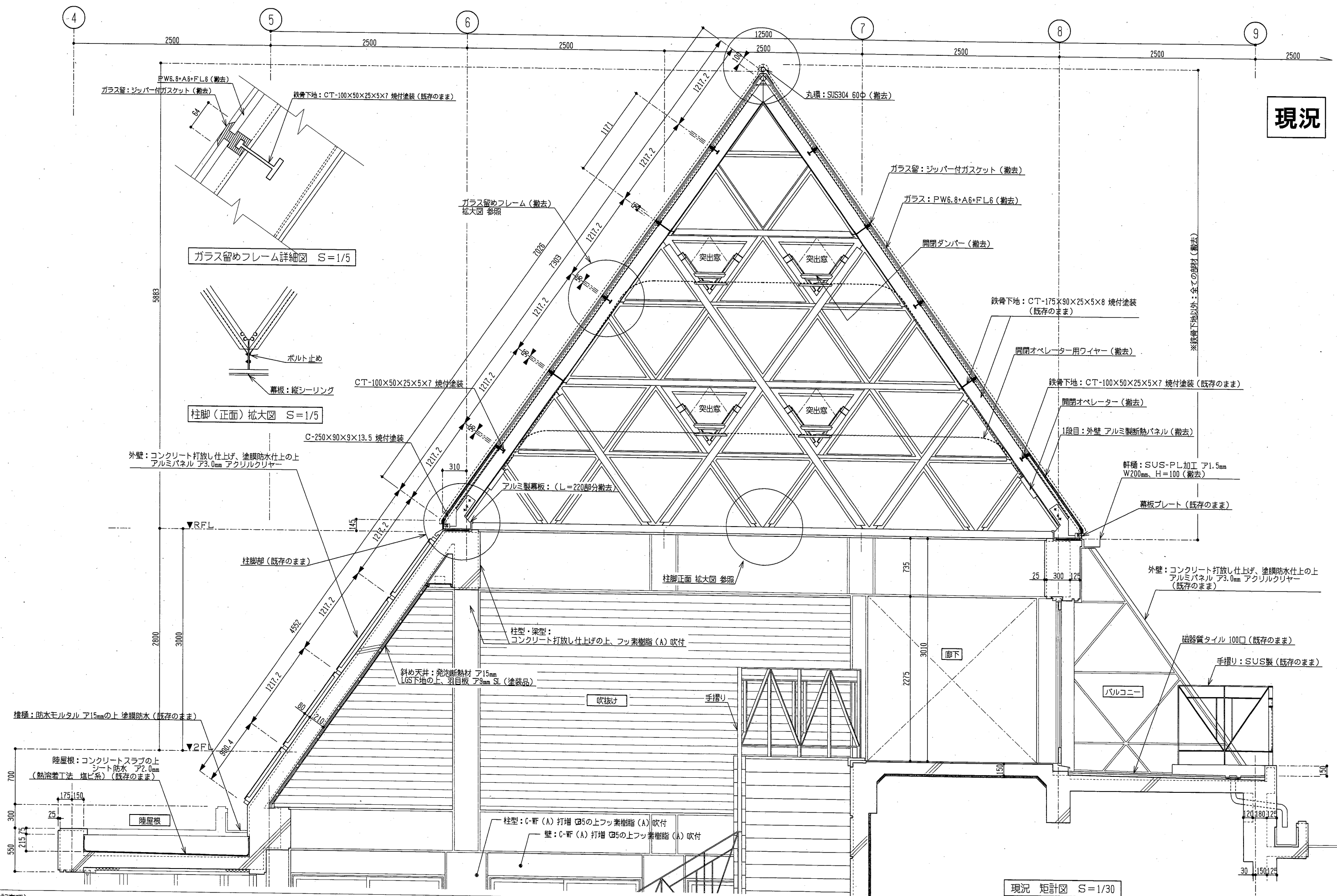
テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事					
KAGA 株式会社 設計		1級建築士 第 78766 号	1級建築士 事務所登録	担当	現況
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1		今泉 義明	12(904)0163	立面図	S 1/100
TEL 024-924-0005 (R)					S A-13

改修後



テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事					
KAGA 株式会社 設計 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1 TEL 024-924-0005 (R)	1級建築士 第7876号 今泉 義明	1級建築士 第7876号 12(904)0163	担当 改修後	S	NO. A-14
				S 1/100	
				S	

現況



<特記事項>

1. 撤去部材の標記は四方全ての面で共通

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事				現況	
KAGA 株式会社 設計		1級建築士 第 78766 号	1級建築士 事務所登録	担当	S
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1		今泉 義明	12(904)0163	A-A' 矩計図	S 1/30
TEL 024-924-0005 (R)					S
					N0. A-15

改修後

屋根：定尺横書き ア0.4mm (SGL同等品) (新設)
接着ゴムアスルーフィング (新設)
硬質木毛セメント板 ア18mm (新設)
高性能フェノールフォーム ア12mm (新設)

アングルピース：130×125×ア4.5mm

2-M12 (新設)

垂木：C-100×50×20×2.3@600 (新設)

GPL-4.5mm 隅肉溶接

垂木：C-100×50×2.3@600 (新設)

既存鉄骨下地：CT-175×90×25×5×8 (塗装改修)

既存鉄骨下地：CT-100×50×25×5×7 (塗装改修)

改修後 垂木納まり B部 詳細図 S=1/5

屋根：定尺横書き ア0.4mm (SGL同等品) (新設)
接着ゴムアスルーフィング (新設)
硬質木毛セメント板 ア18mm (新設)
高性能フェノールフォーム ア12mm (新設)

垂木：C-100×50×20×2.3@600 (新設)

木下地：120×18 (新設)

破風包み (新設)

軒先唐草 (新設)
※つかみ込み

外壁：アルミ製パネル (既存のまま)

木下地：60×60 (新設)

改修後 水下納まり C部 詳細図 S=1/10

ウレタン塗膜防水 W300mm (新設)
(底面、側面共)

陸屋根：コンクリートスラブの上
シート防水 ア2.0mm (平場・立上共)
(熱溶着工法 塩ビ系) (新設)

陸屋根

磁器質タイル 100口：(酸洗い清掃)

改修後 屋根下地詳細図 S=1/30

<凡例>

●：垂木用アングルピースの位置を示す

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事

KAGA 株式会社 設計

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1
TEL 024-924-0005 (R)

1級建築士 第78766号

1級建築士 第78766号

担当

改修後

A-A' 矩計図、屋根下地詳細図

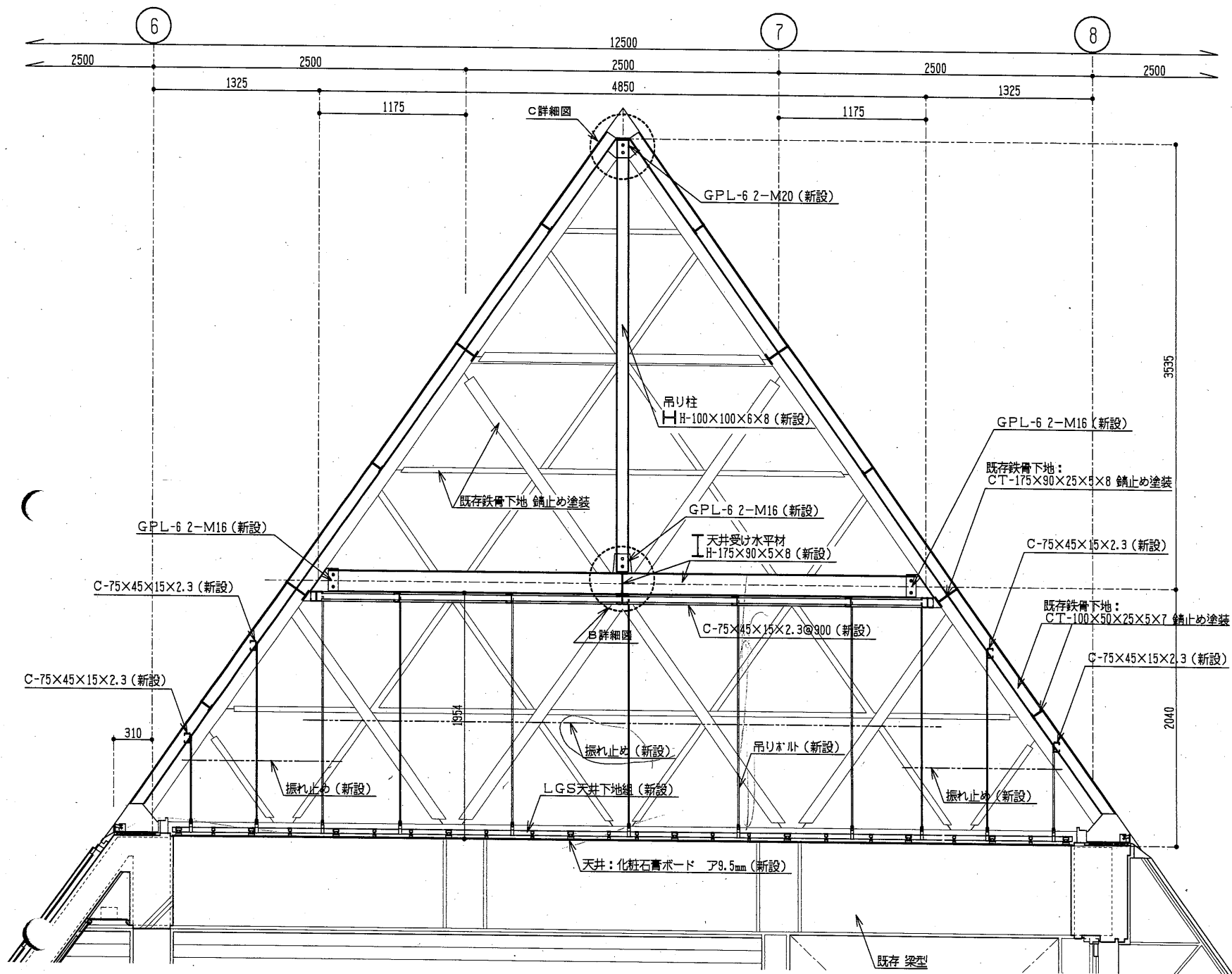
S

S

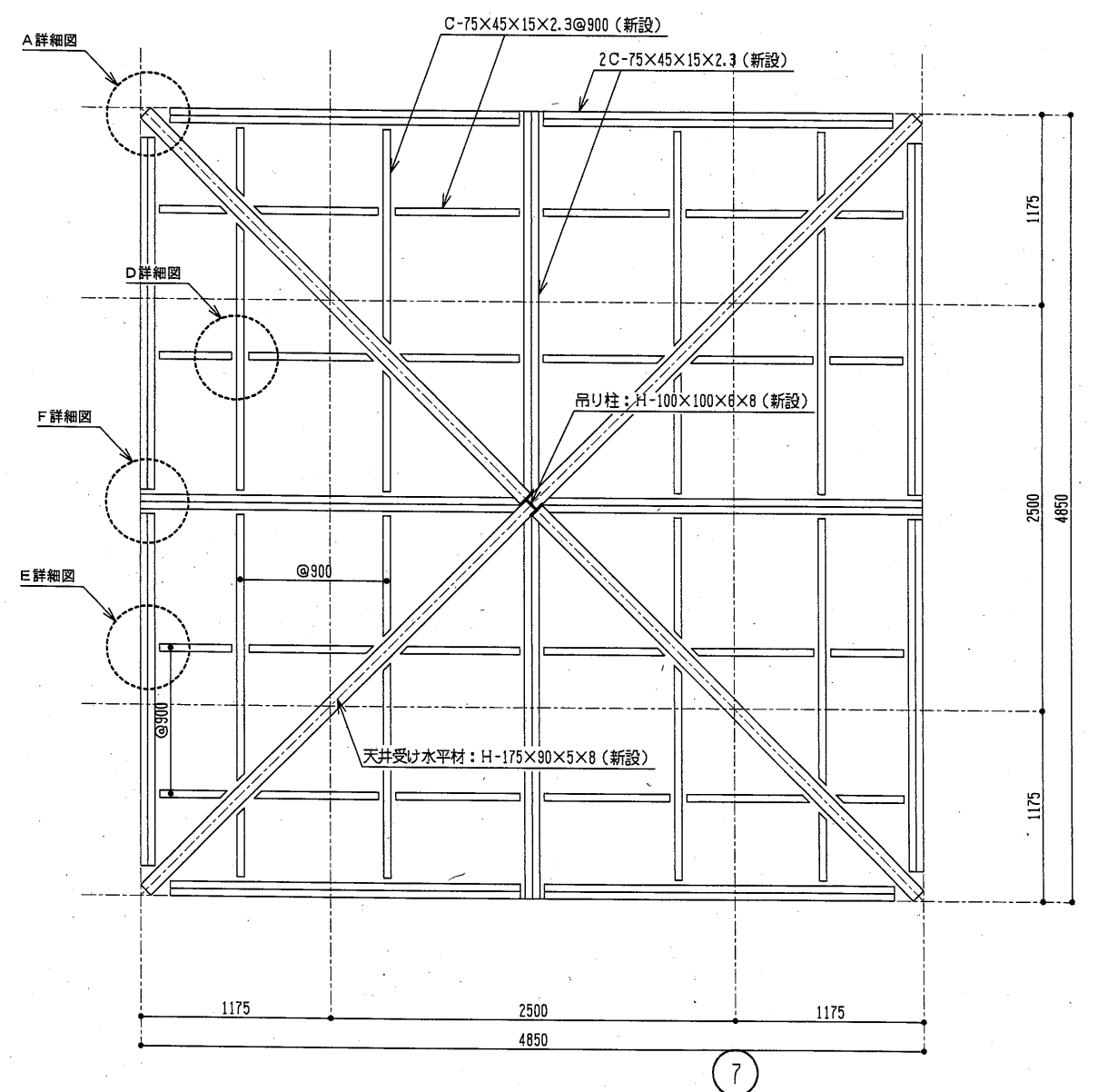
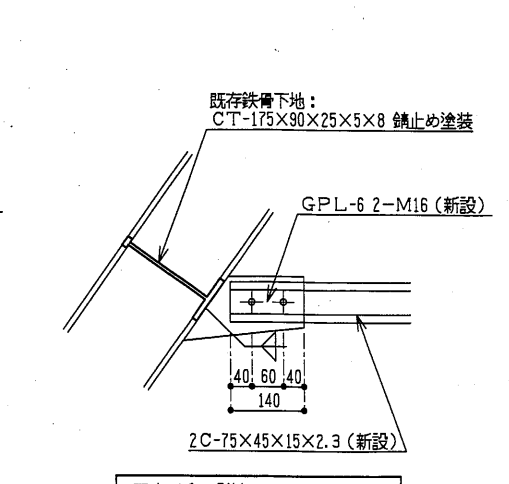
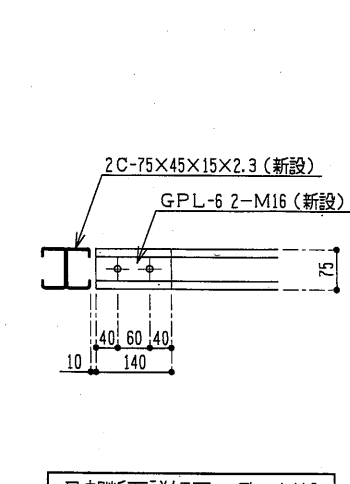
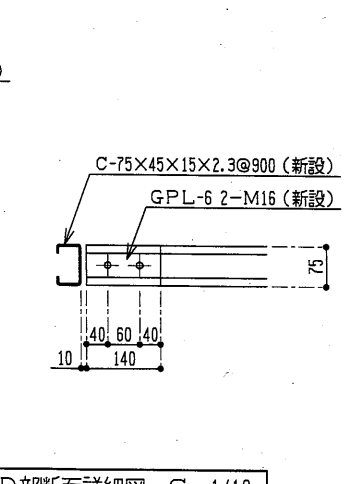
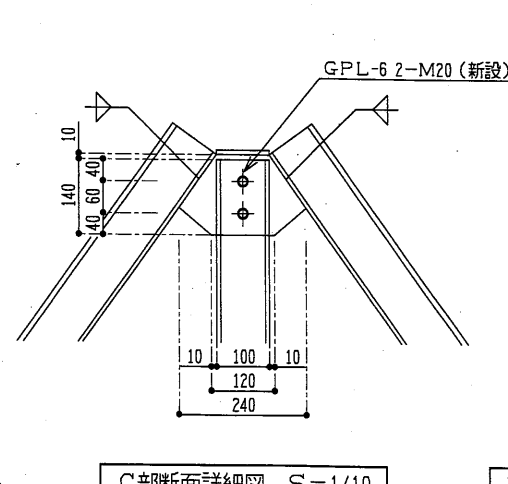
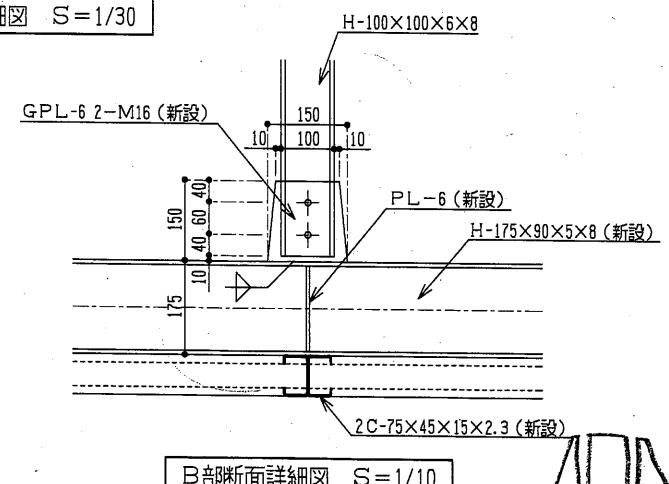
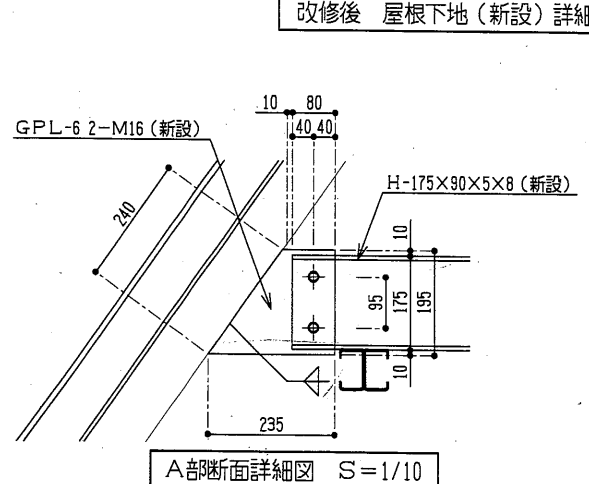
S

NO.

A-16



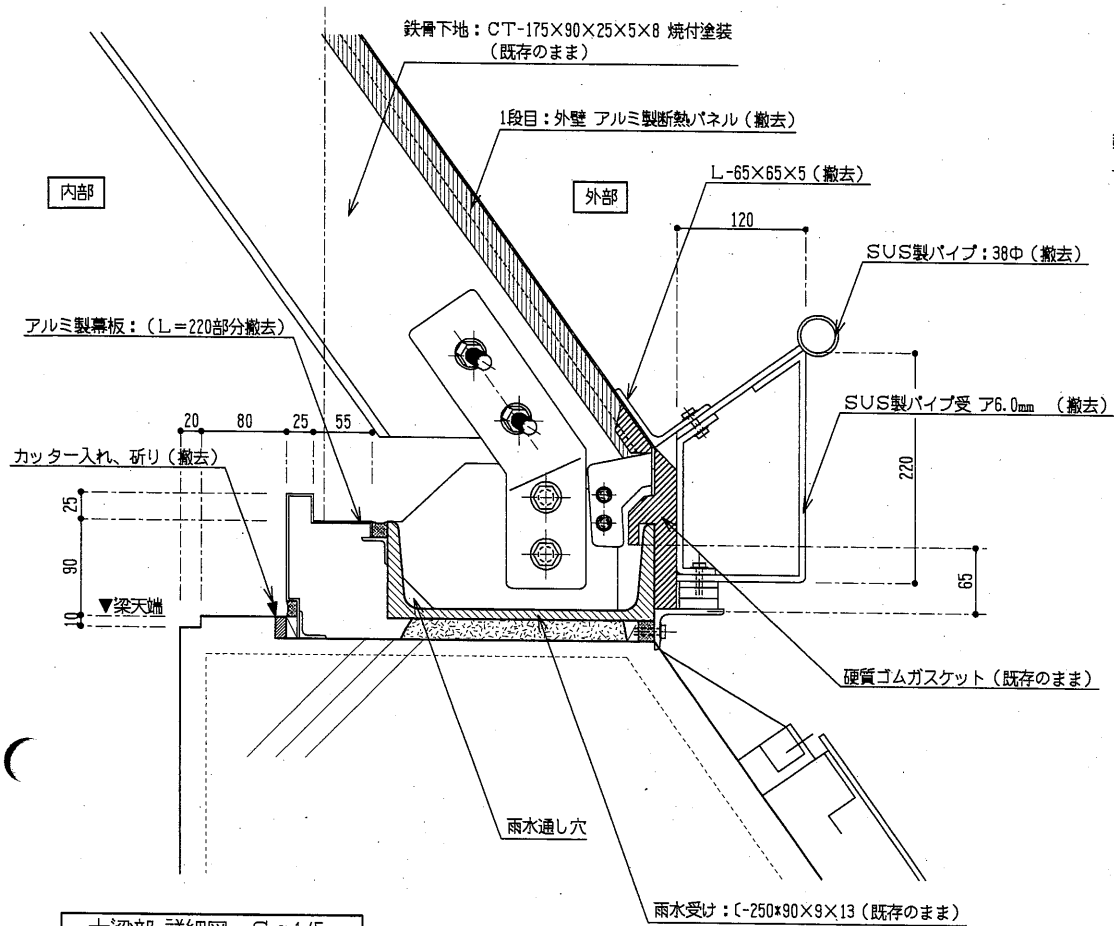
※特定天井には該当しない(6Mの高さにある200mm超の吊り天井)
改修後 屋根下地(新設)詳細図 S=1/30



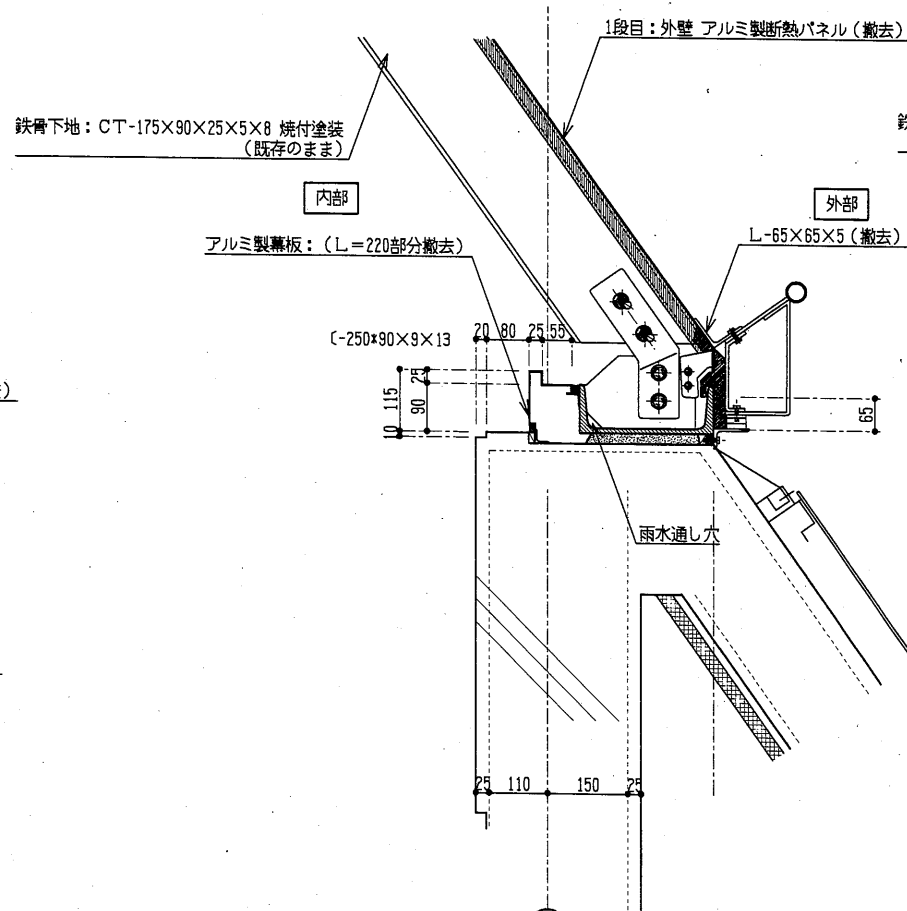
改修後 屋根下地(新設)平面図 S=1/30

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事				改修後		S	
KAGA 株式会社 設計				1級建築士 第78766号		担当	
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1				今泉 義明		12(904)0163	
TEL 024-924-0005 (R)				天井下地詳細図、部分詳細図		S1/10, 1/30	
						S	
						NO. A-17	

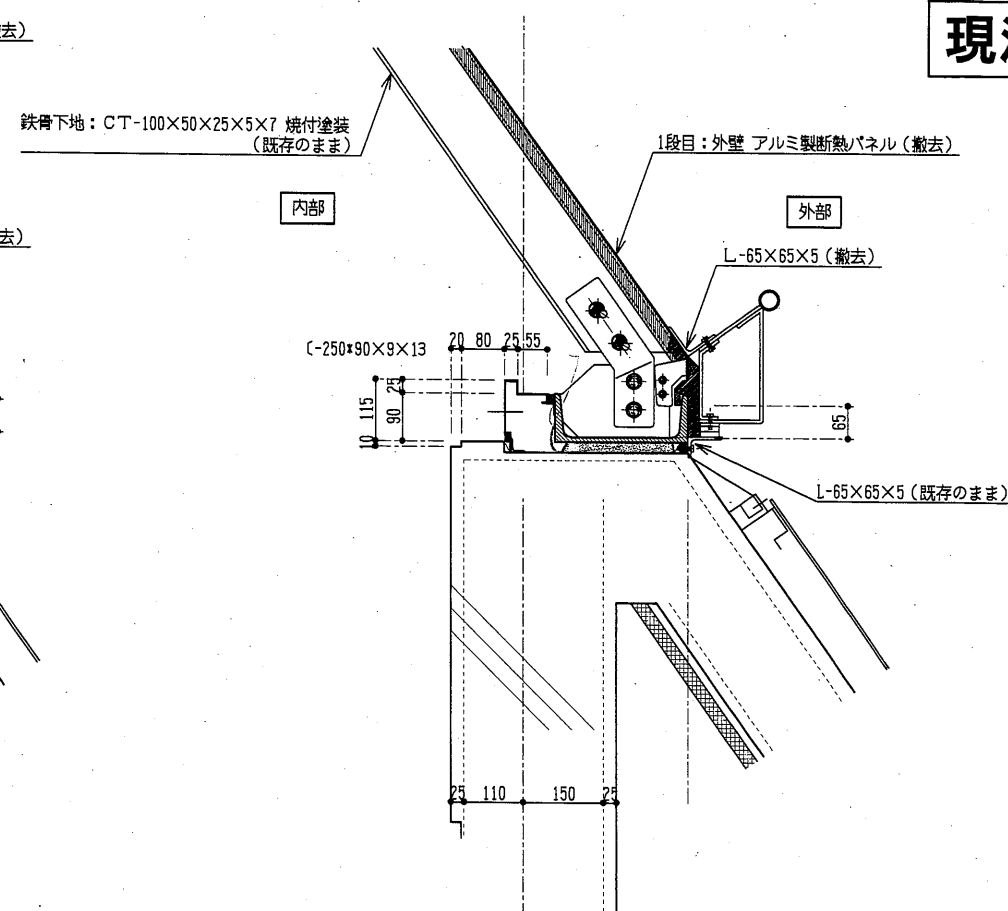
現況



大梁部 詳細図 S: 1/5

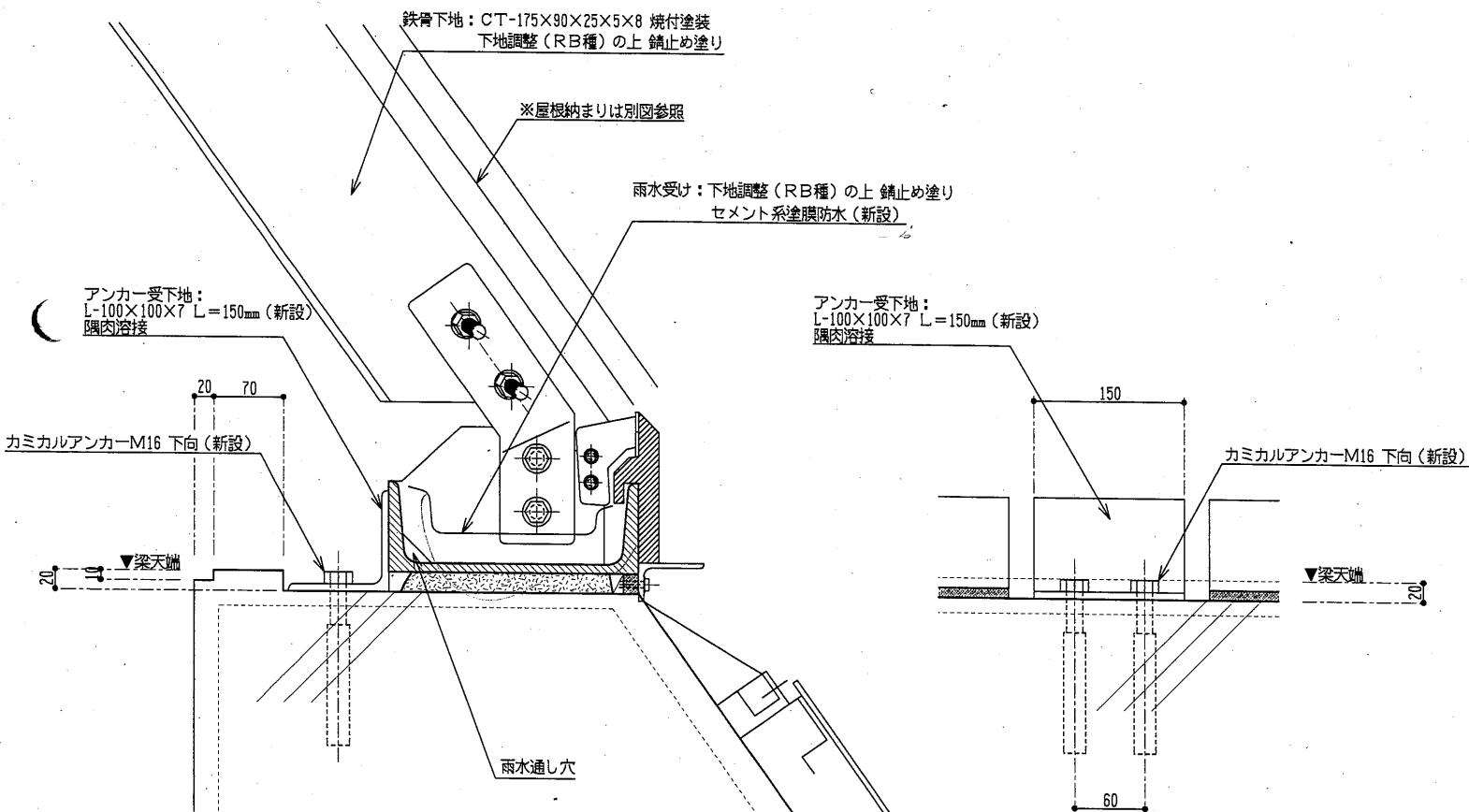


大梁部 詳細図 S: 1/10

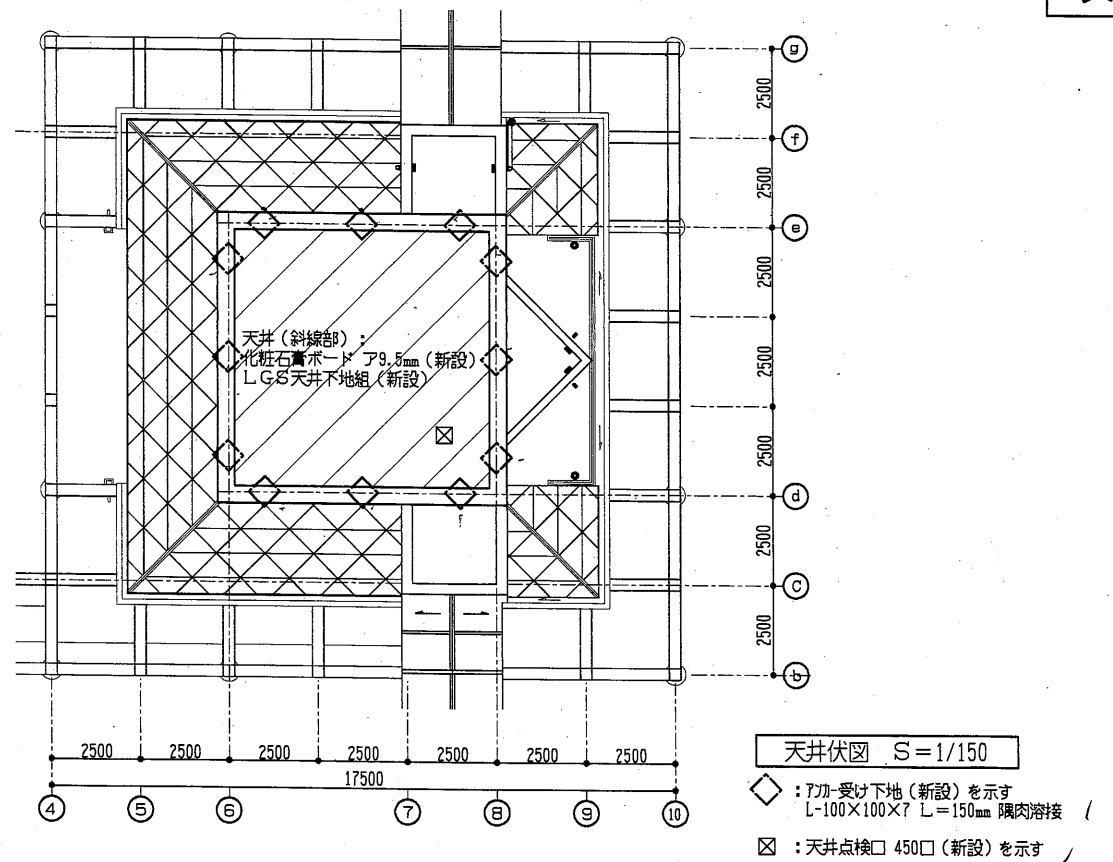


小梁部 詳細図 S: 1/10

改修後

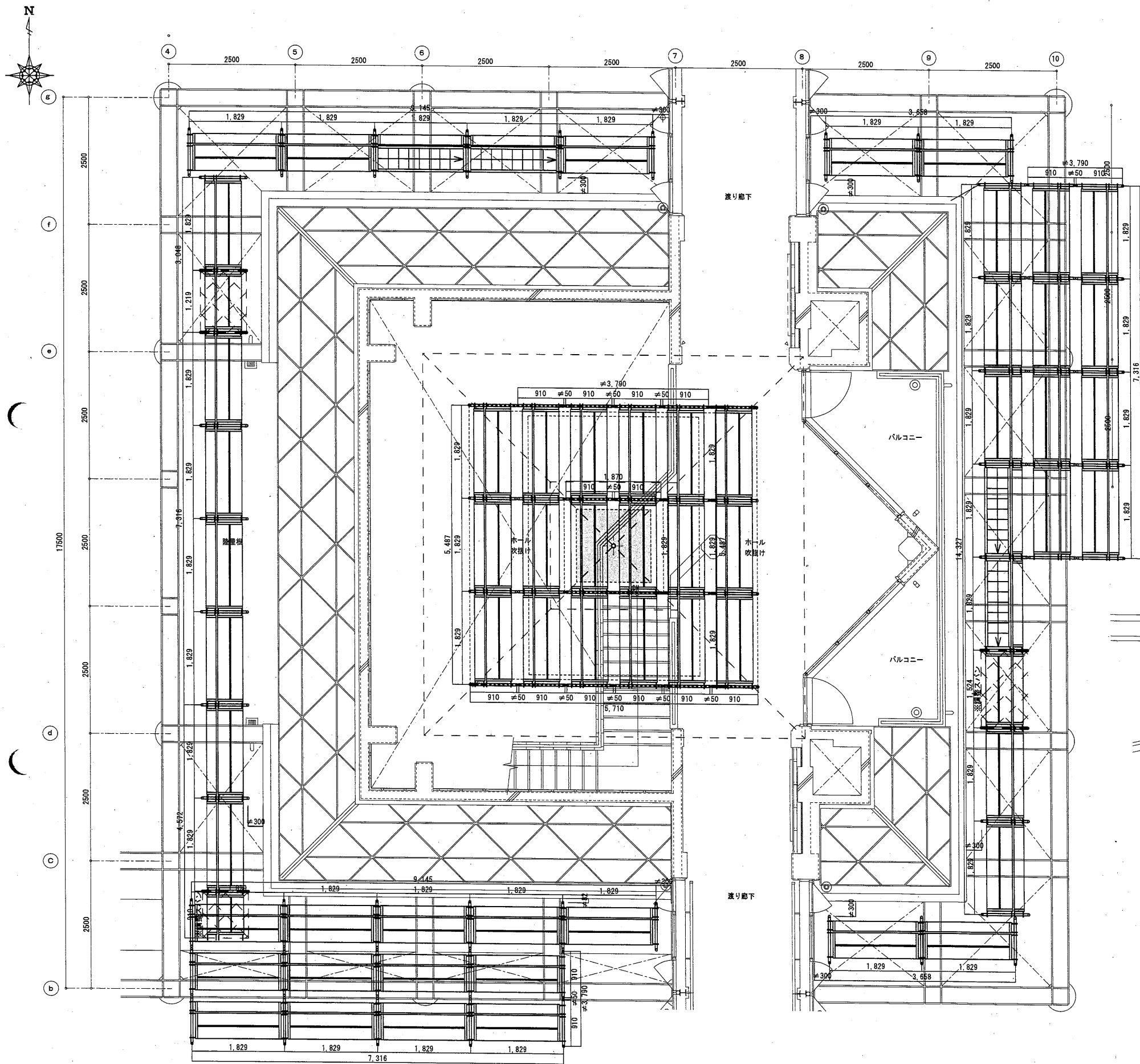


大梁部 詳細図 S: 1/5

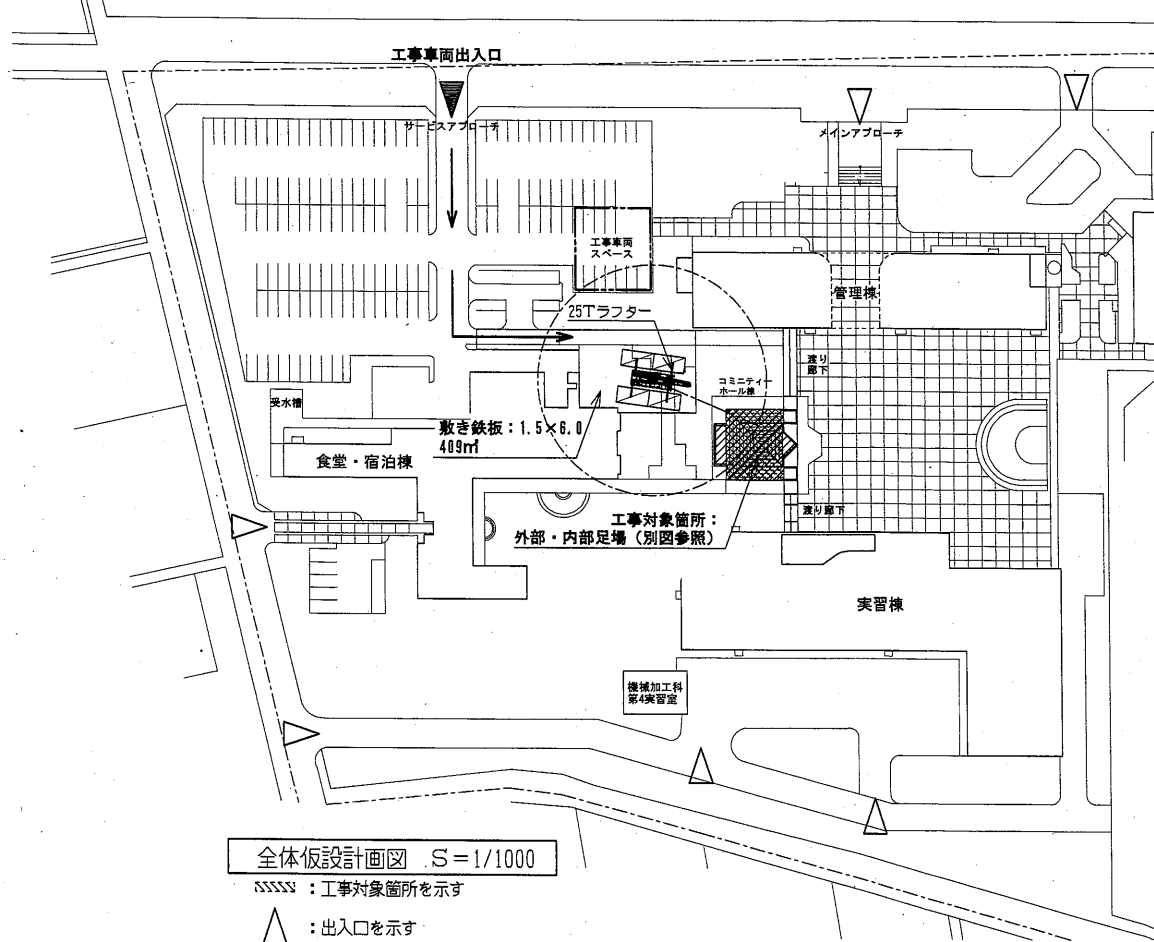


天井伏図 S=1/150

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事						
KAGA 株式会社 設計 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1 TEL 024-924-0005 (R)	1級建築士 第78766号	1級建築士 事務所登録	担当	現況・改修後	S	
	今泉 義明	12 (904) 0163		部分詳細図	S 1/5	NO.
					S	A-18



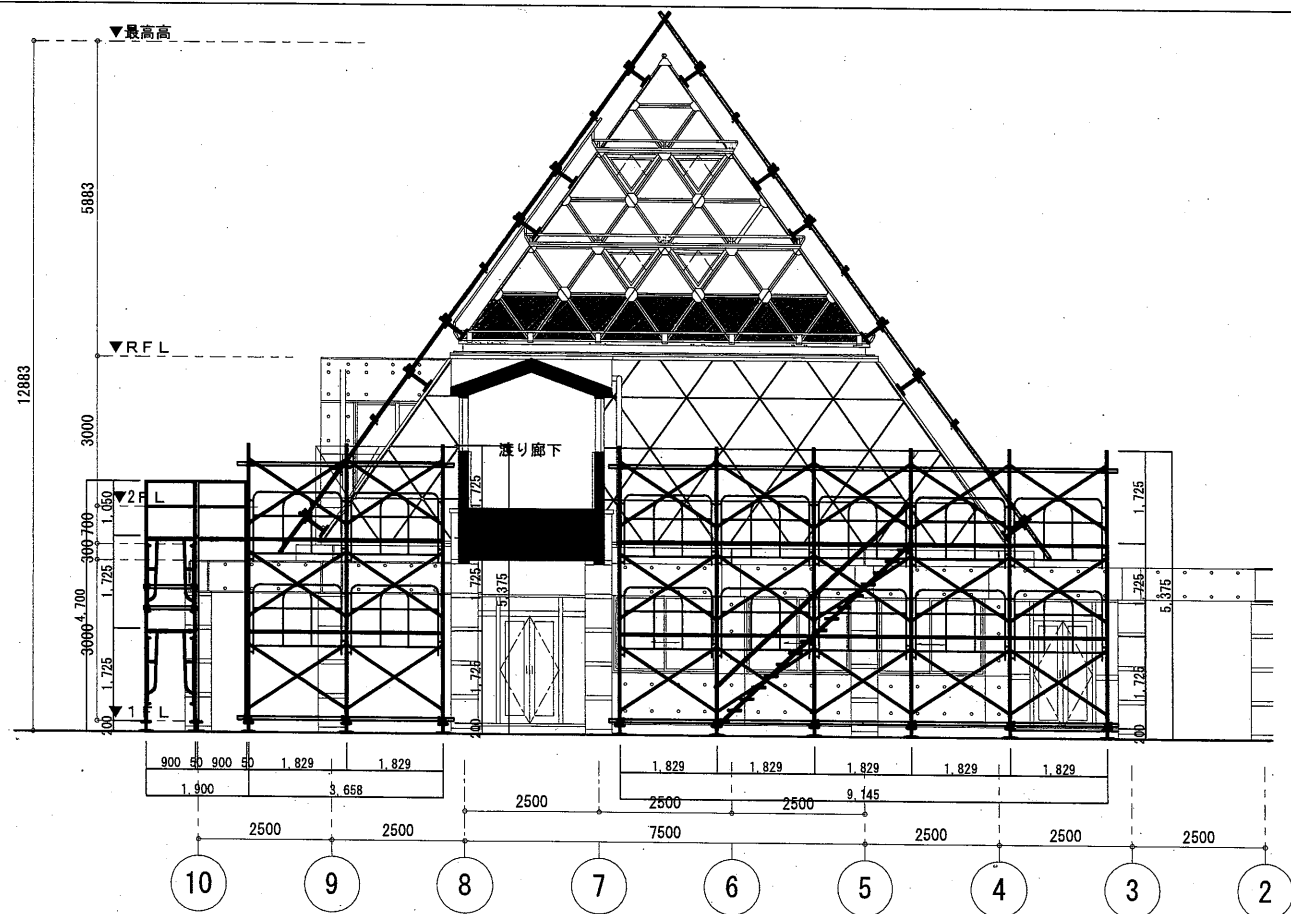
外部・内部 仮設足場計画図 S=1/60



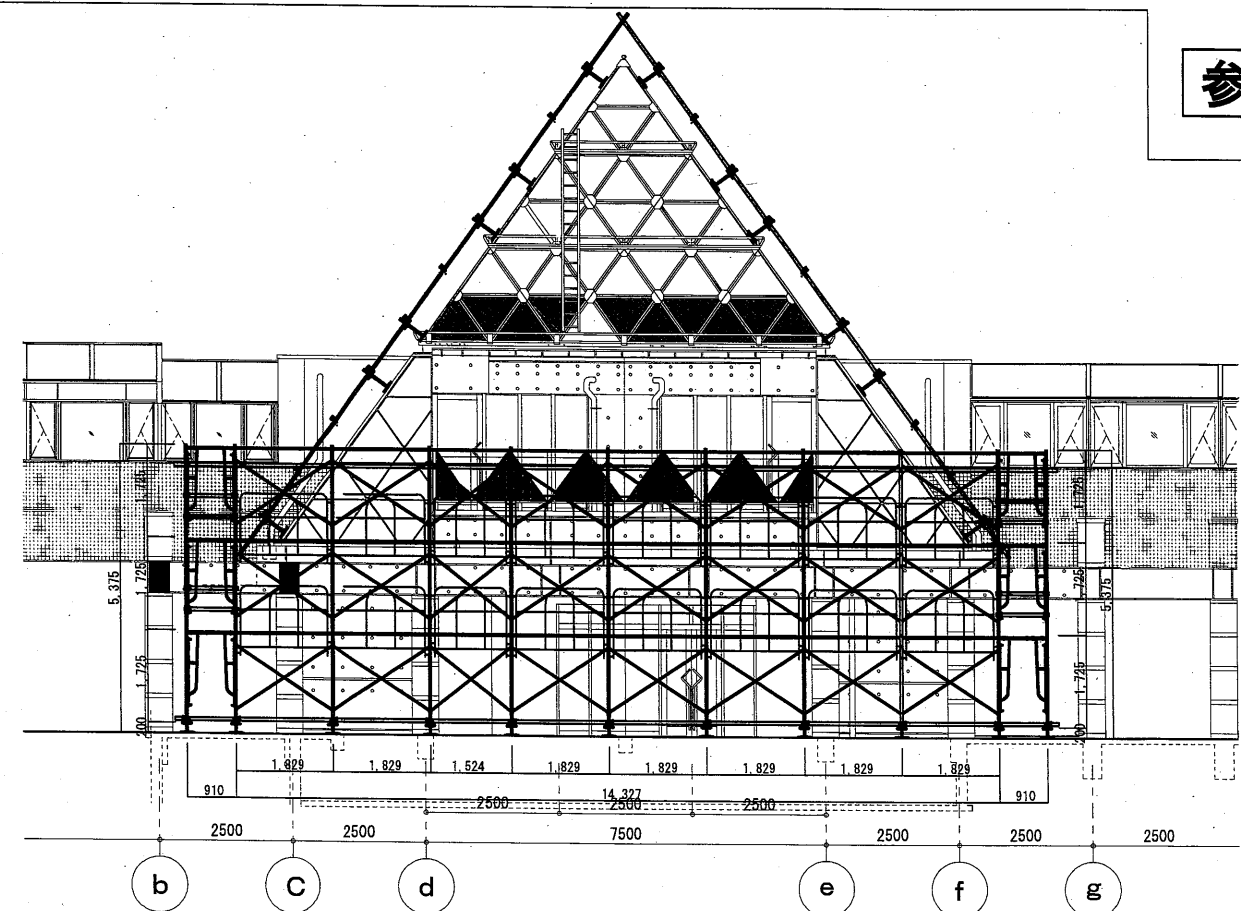
全体仮設計画図 S=1/1000
~~~~~ : 工事対象箇所を示す  
△ : 出入口を示す

|                                                                        |                        |                               |    |             |          |             |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------|----|-------------|----------|-------------|
| テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事                                              |                        |                               |    |             |          |             |
| KAGA 株式会社<br>〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1<br>TEL 024-924-0005 (R) | 1級建築士 第78766号<br>今泉 義明 | 1級建築士<br>事務所登録<br>12(904)0163 | 担当 | 仮設足場計画      | S        |             |
|                                                                        |                        |                               |    | 平面図(参考)     | S 1/60   | No.<br>A-19 |
|                                                                        |                        |                               |    | 全体仮設計画図(参考) | S 1/1000 |             |

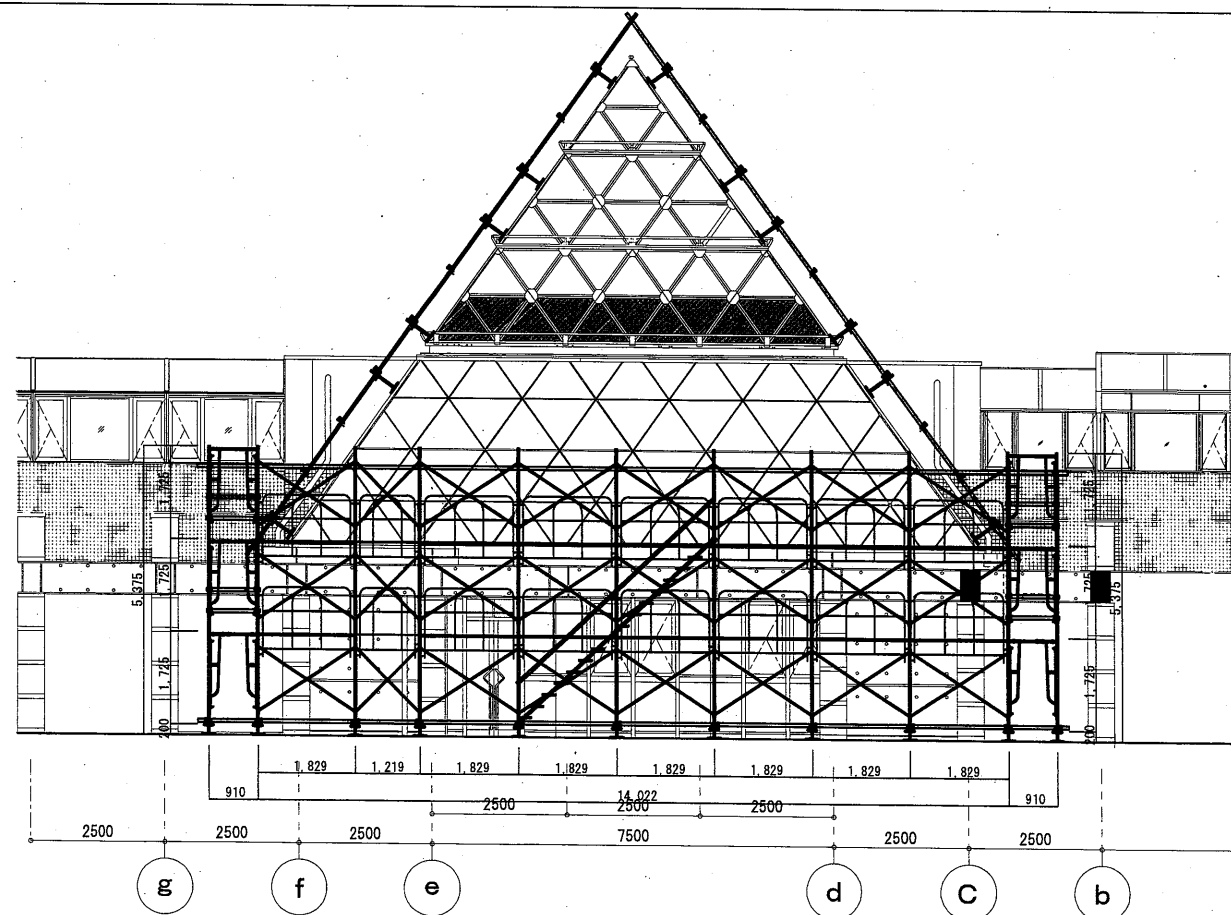
参考



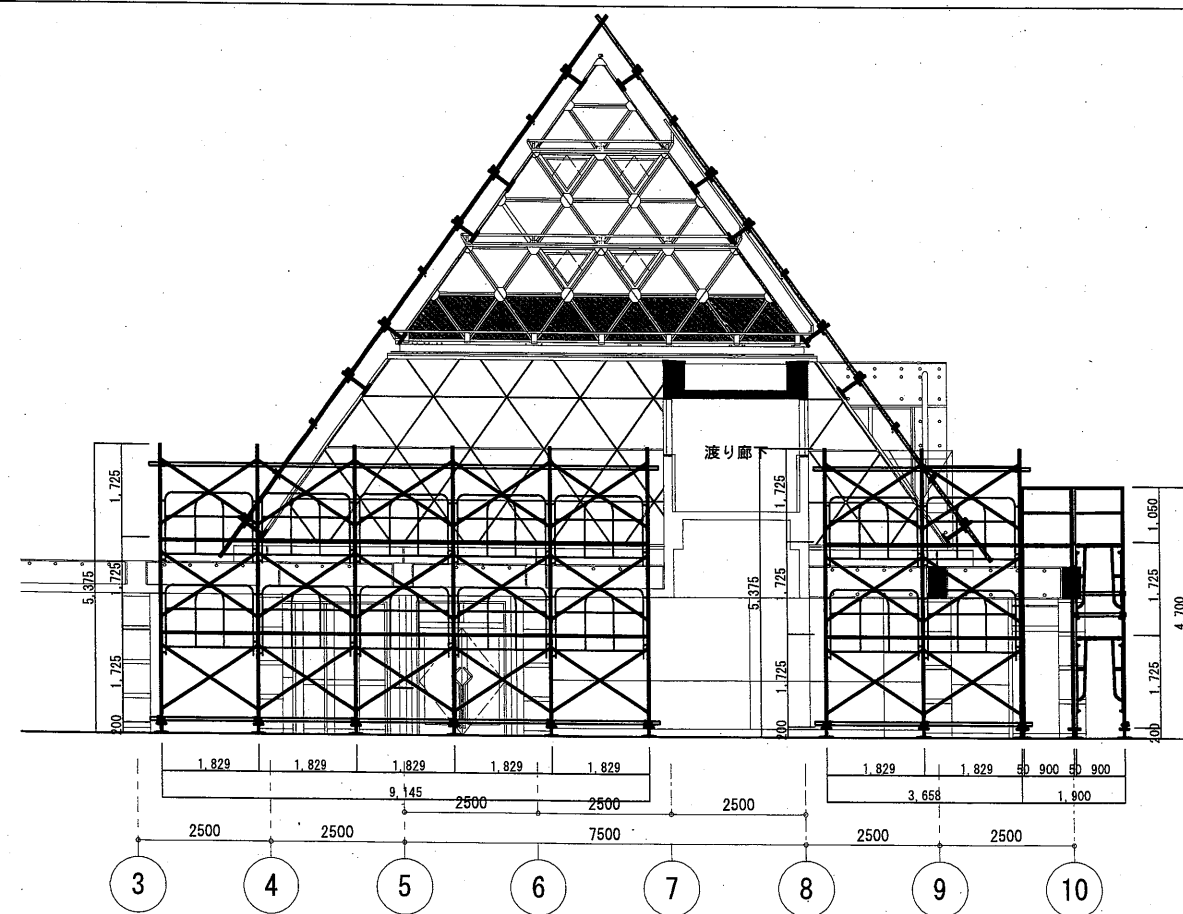
北 立面図 S=1/100



東 立面図 S=1/100



西 立面図 S=1/100



南 立面図 S=1/100

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事

KAGA 株式会社 設計

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1  
TEL 024-924-0005 (F)

1級建築士 第7876号

1級建築士 事務所登録

担当

仮設足場計画

S

今泉 義明

12(904)0163

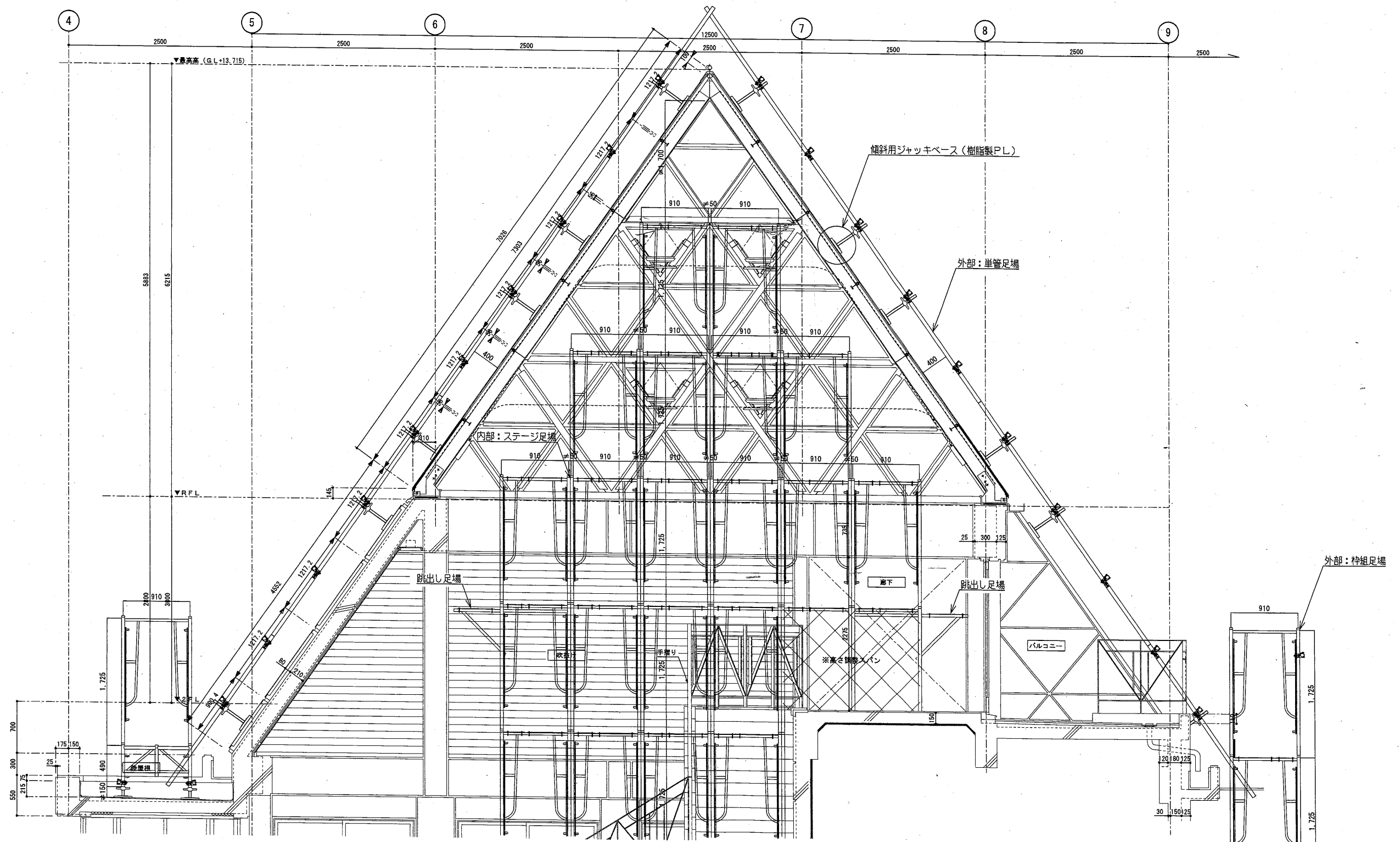
立面図 (参考)

S

1/100

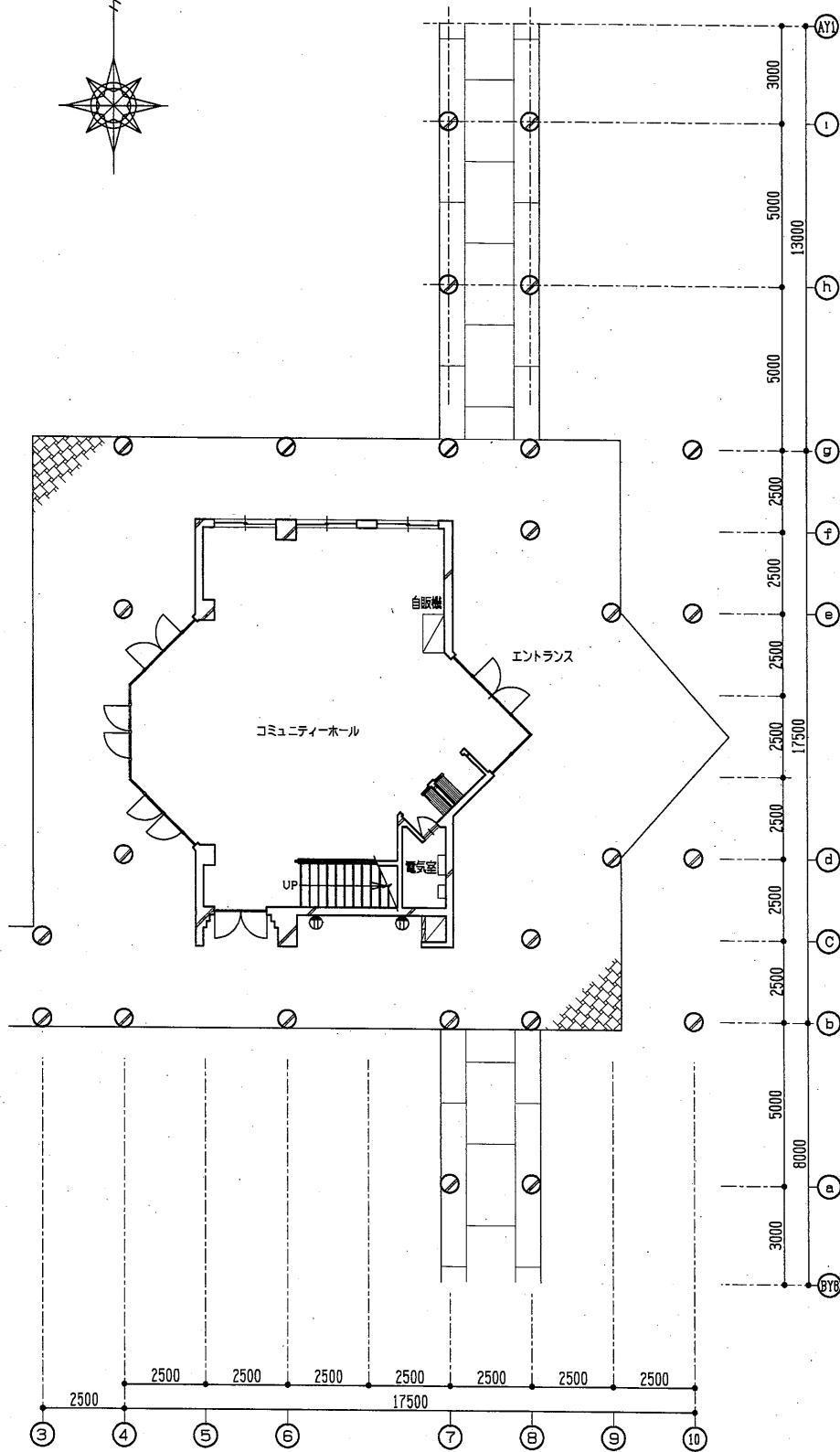
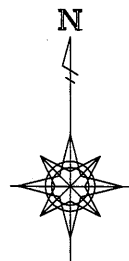
NO.

A-20

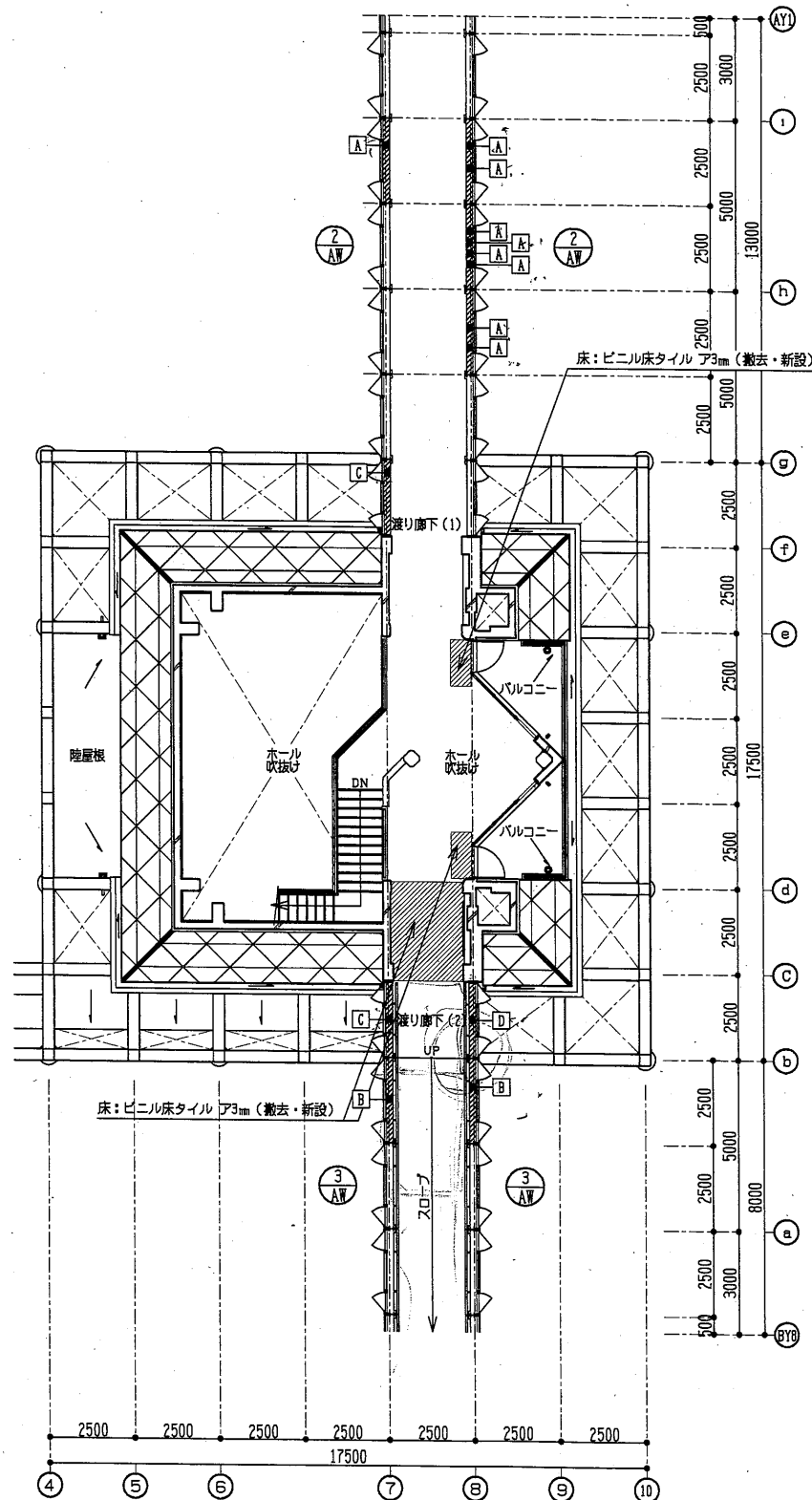


外部・内部 仮設足場計画図 S=1/40

|                                                                             |               |  |             |  |    |         |   |      |      |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------|--|-------------|--|----|---------|---|------|------|--|--|
| テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事                                                   |               |  |             |  |    |         |   |      |      |  |  |
| KAGA 株式会社 香 設計<br>〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1<br>TEL 024-924-0005 (R) | 1級建築士 第78786号 |  | 1級建築士 事務所登録 |  | 担当 | 仮設足場計画  | S |      |      |  |  |
|                                                                             | 今泉 義明         |  | 12(904)0163 |  |    | 断面図(参考) | S | 1/40 | NO.  |  |  |
|                                                                             |               |  |             |  |    |         | S |      |      |  |  |
|                                                                             |               |  |             |  |    |         | S |      | A-21 |  |  |

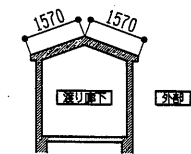


1階 平面図 S=1/150

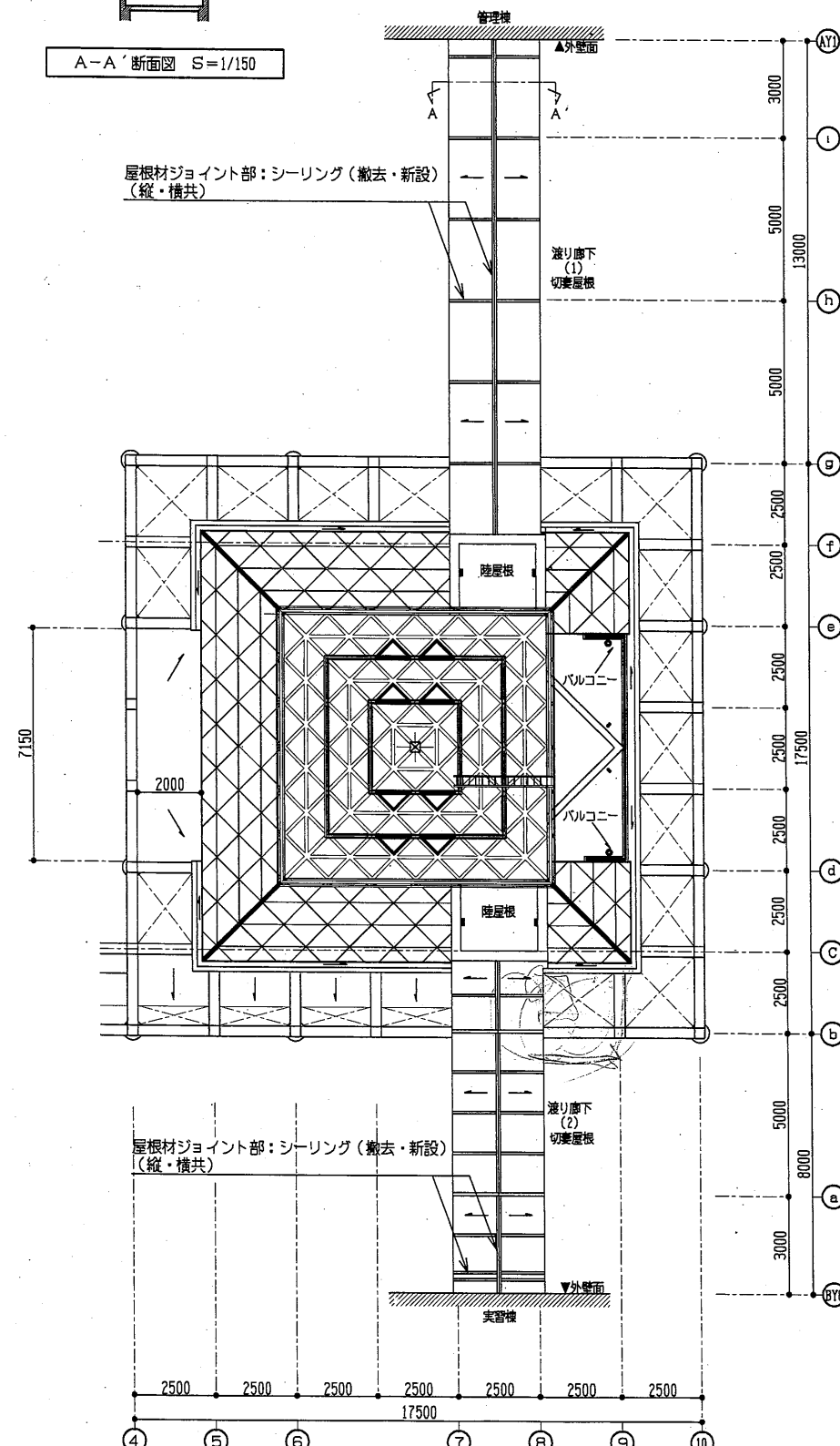


2階 平面図 S=1/150

- A: もり上がりを示す。
  - B: キズ、へこみを示す。
  - C: ふくれ、割れを示す。
  - D: 穴あきを示す。
- 斜線部 額縁: アルミ製 W175×H25 L2500 (撤去・新設)



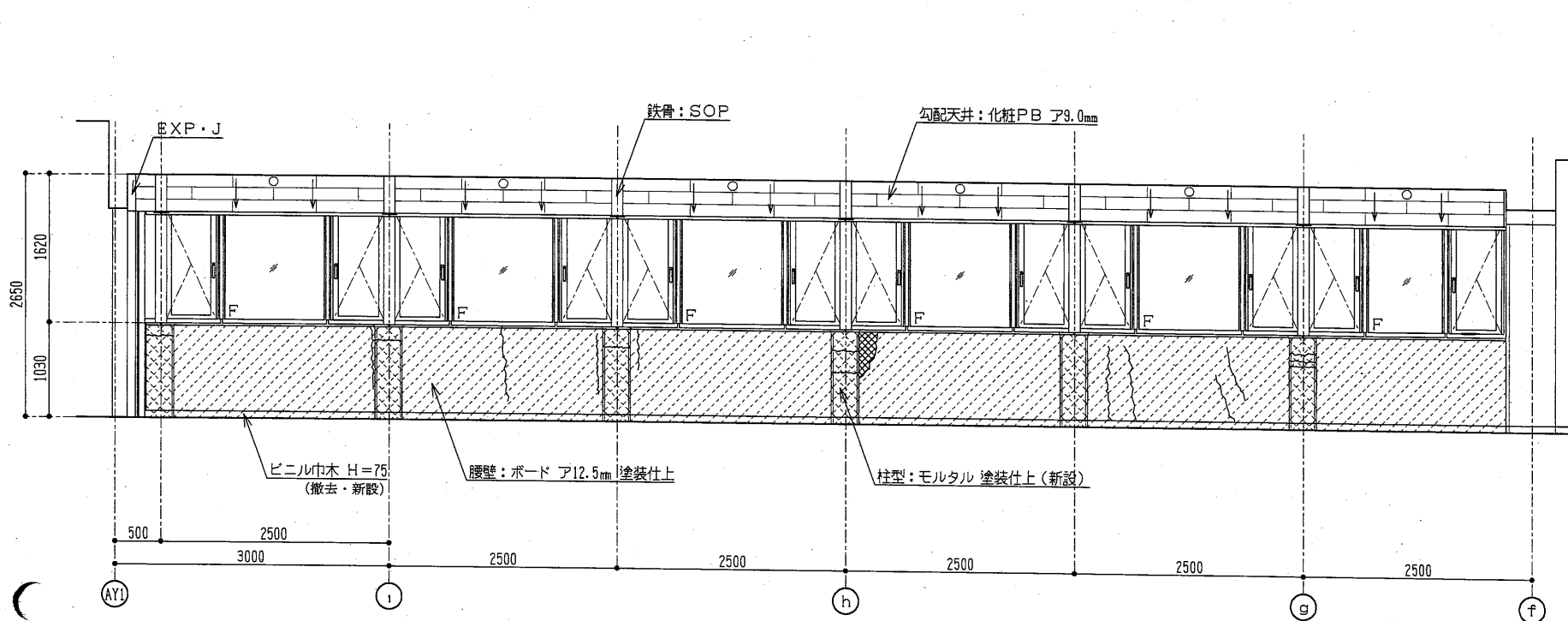
A-A' 断面図 S=1/150



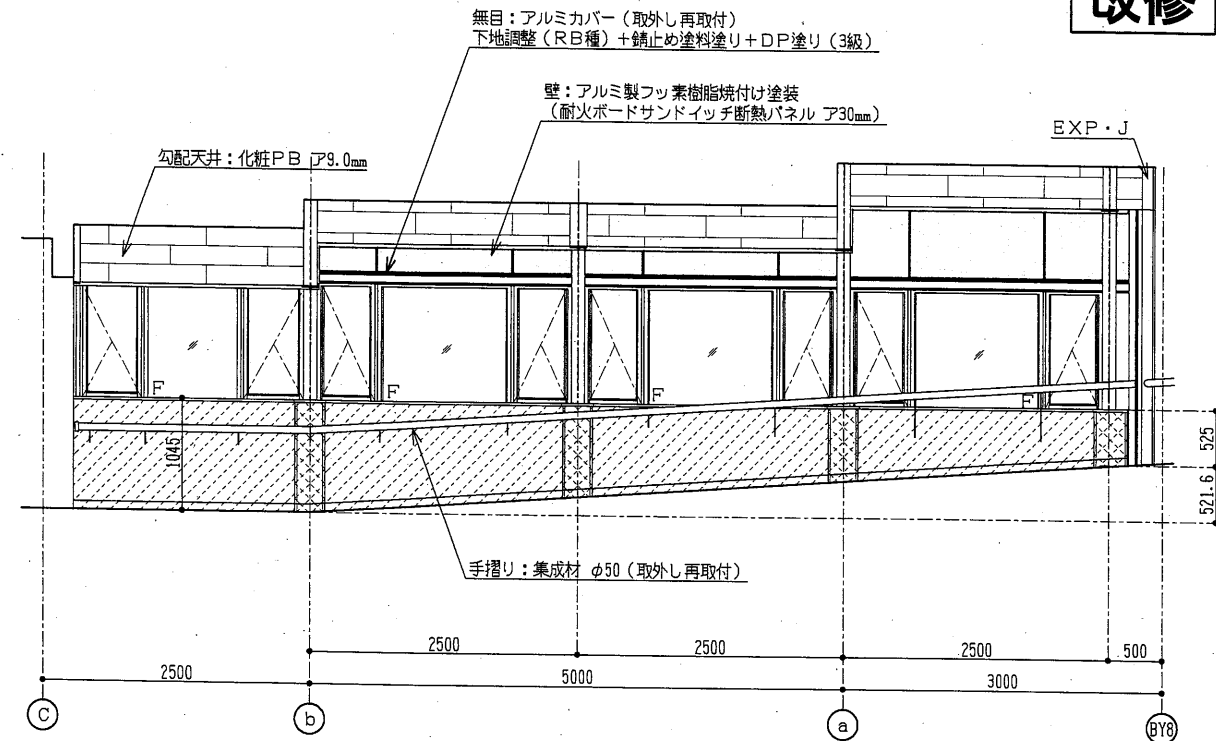
屋根伏図 S=1/150

|                                                                             |               |  |             |              |    |         |      |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------|--|-------------|--------------|----|---------|------|
| テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事                                                   |               |  |             |              |    |         |      |
| KAGA 株式会社 香 設計<br>〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1<br>TEL 024-924-0005 (R) | 1級建築士 第78766号 |  | 1級建築士事務所登録  | 担当           | 改修 | S       |      |
|                                                                             | 今泉 義明         |  | 12(904)0163 | 渡り廊下         |    | S       | NO.  |
|                                                                             |               |  |             | 1、2階平面図、屋根伏図 |    | S 1/150 | A-22 |

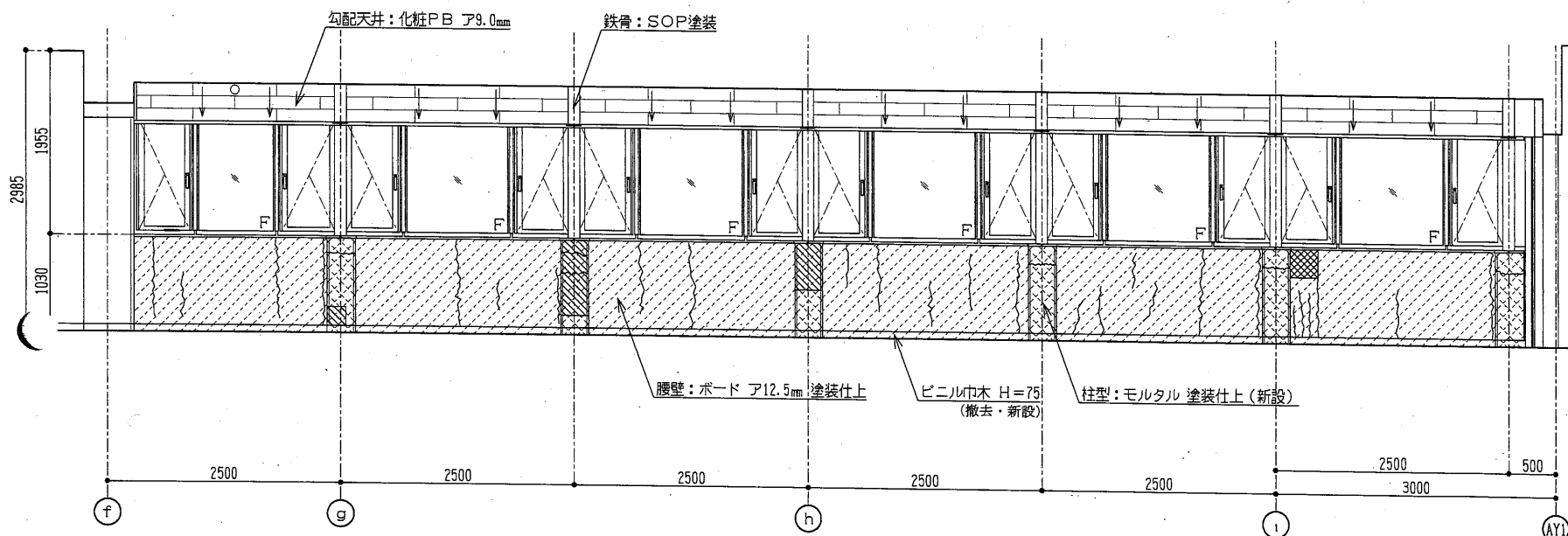




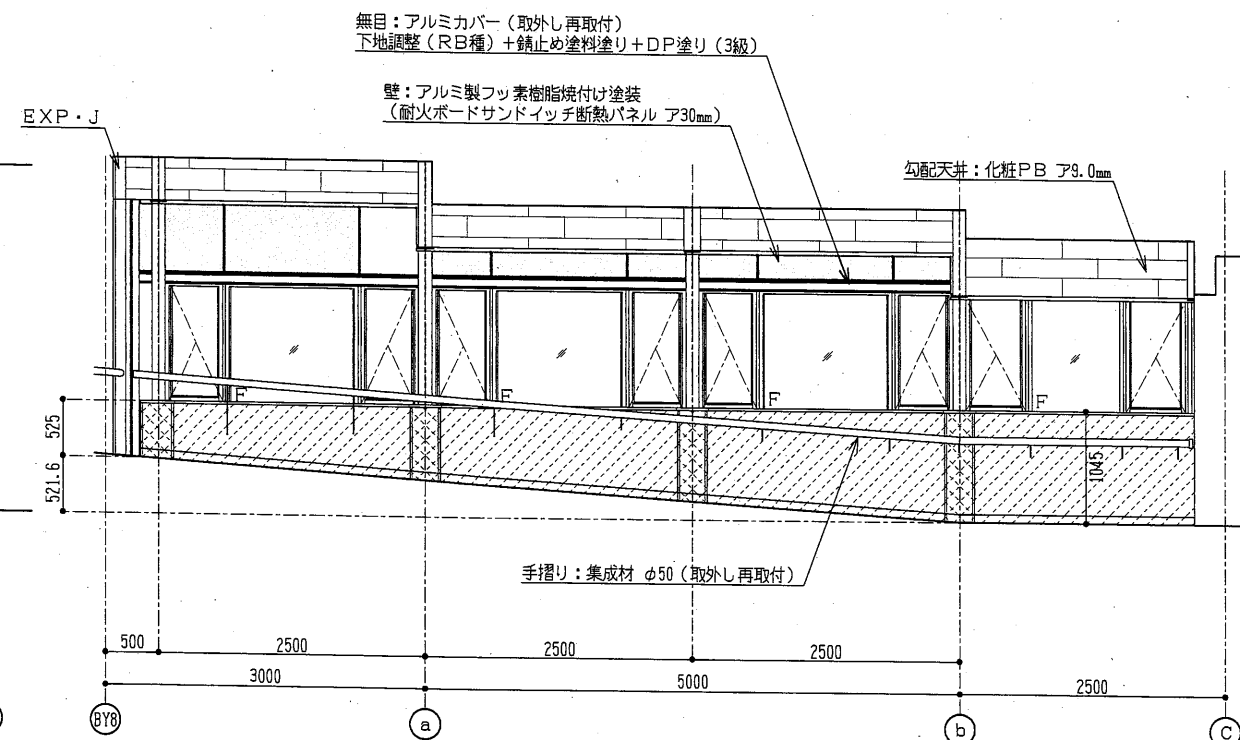
渡り廊下(1) 東面



渡り廊下(2) 東面



渡り廊下(1) 西面



渡り廊下(2) 西面

北側渡り廊下 展開図 S=1/50

- 柱型塗装剥がれを示す。
- 腰壁塗装剥がれを示す。
- 腰壁 石膏ボード ア12.5mm 撤去・新設の上 水性特殊アクリル樹脂塗料塗り
- ソフト巾木 H=75 撤去・新設
- 下地調整 (RB) の上 水性特殊アクリル樹脂塗料塗り
- ソフト巾木 H=75 撤去・新設

※柱型: クラック補修 Uカットシール材充填工法 (可とう性エポキシ樹脂) 4.2m

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事

KAGA 株式会社 香 設計

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1  
TEL 024-924-0005 (R)

1級建築士 第78766号

監理者登録

担当

改修

S

渡り廊下

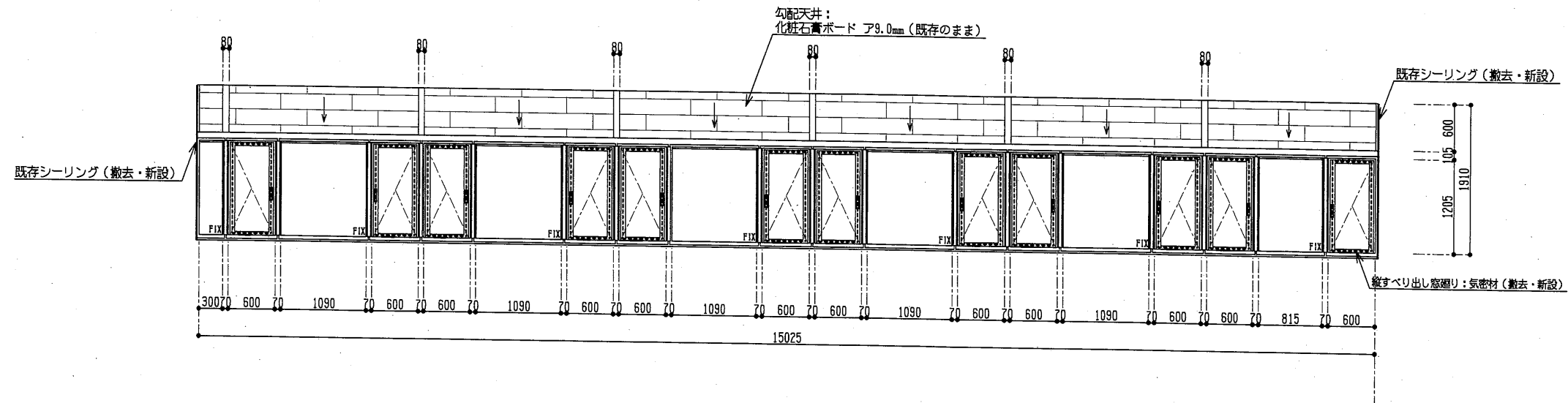
S

展開図

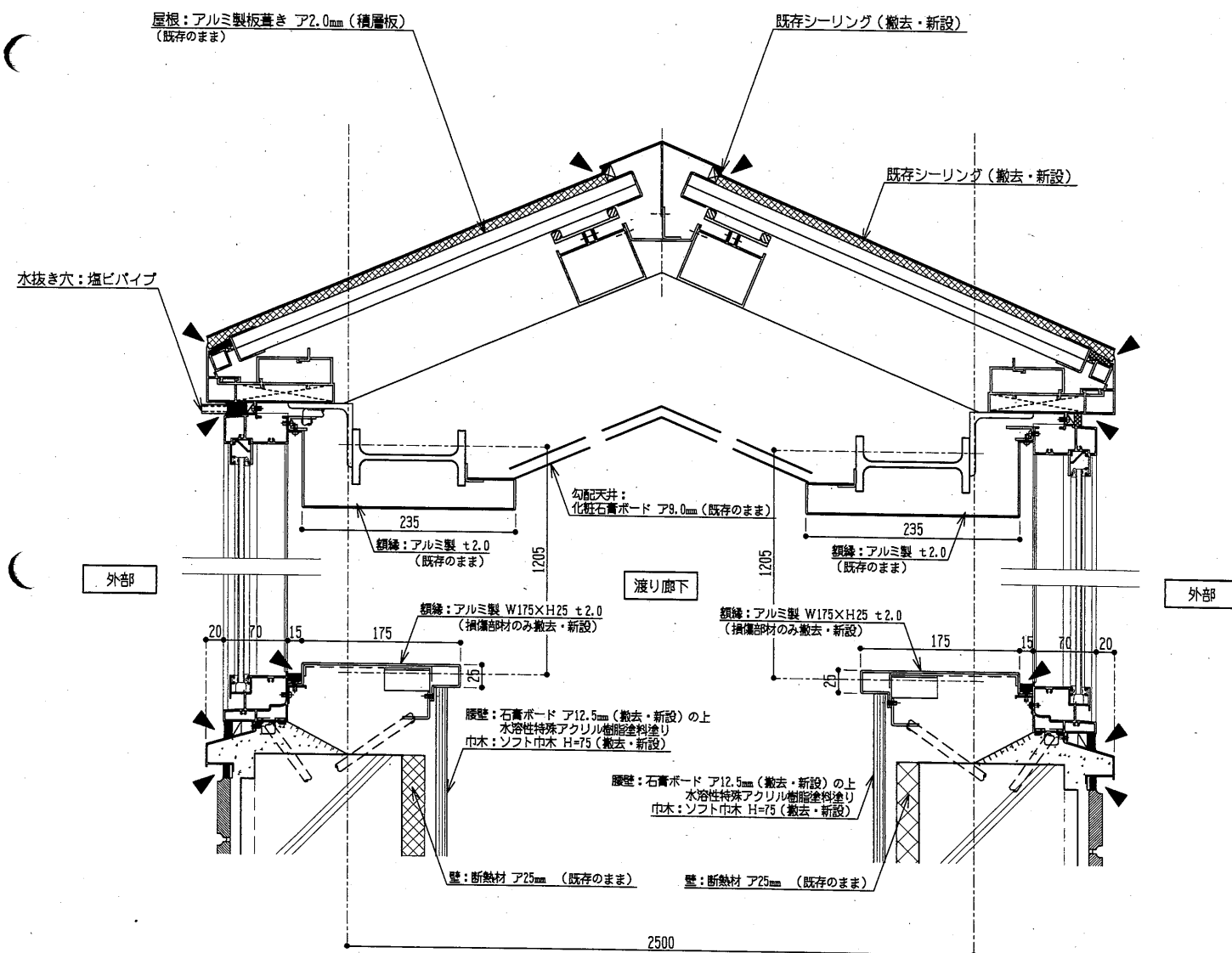
S 1/50

NO.

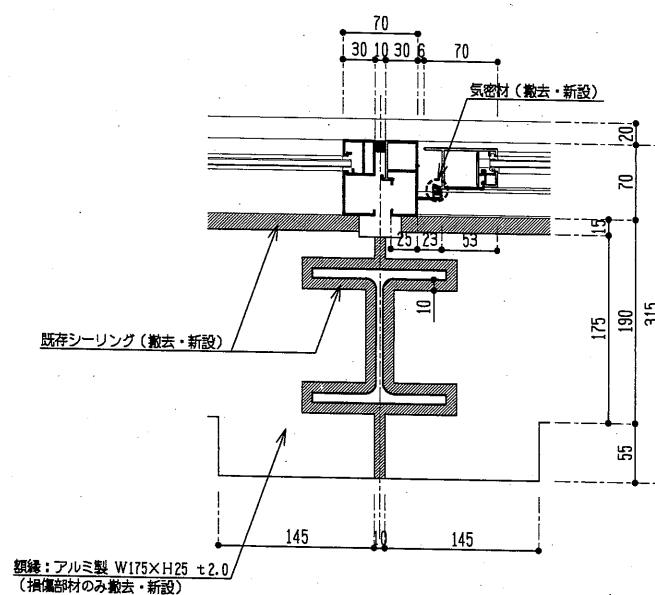
A-23



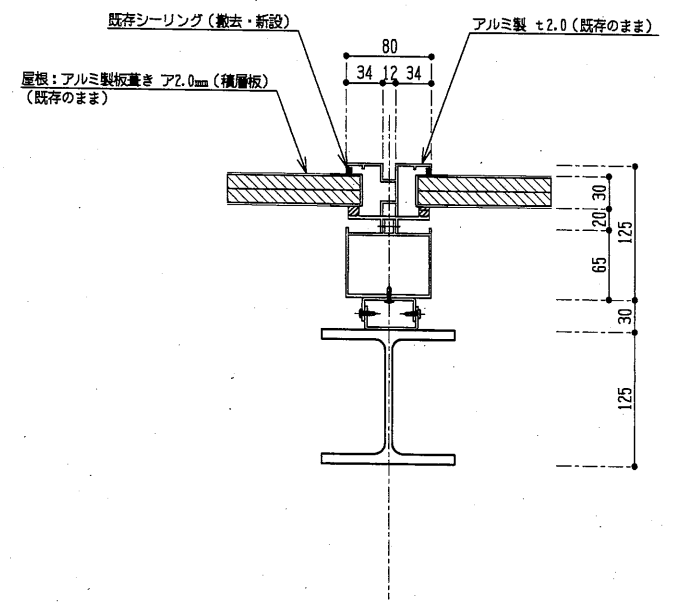
2/AW 姿図 (内観) S=1/50



2/AW 断面詳細図 S=1/5



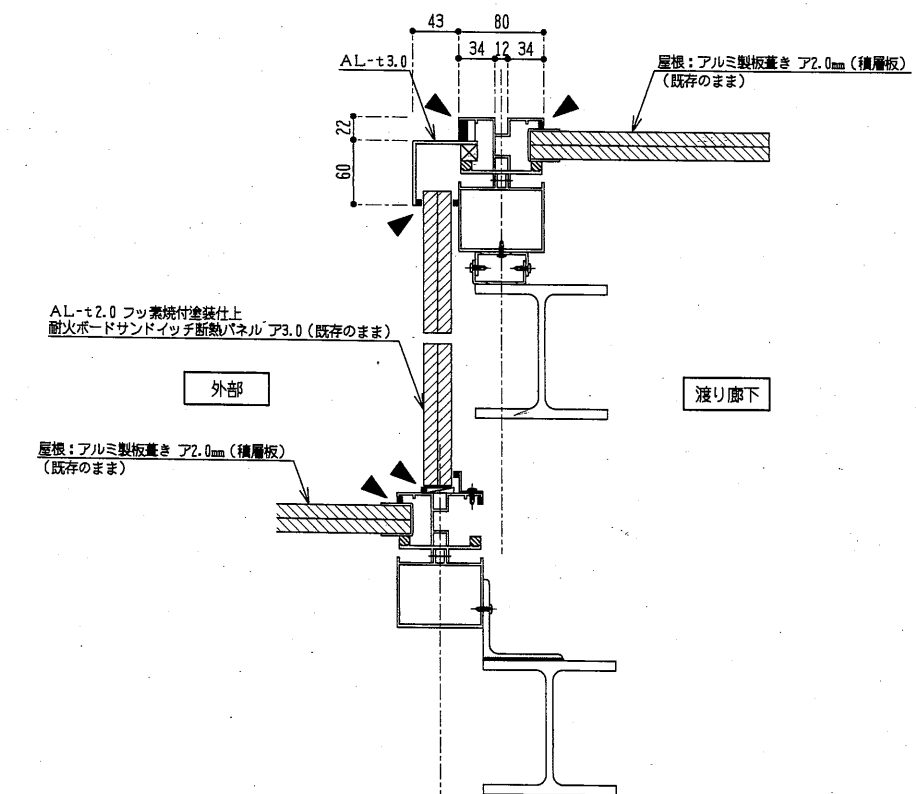
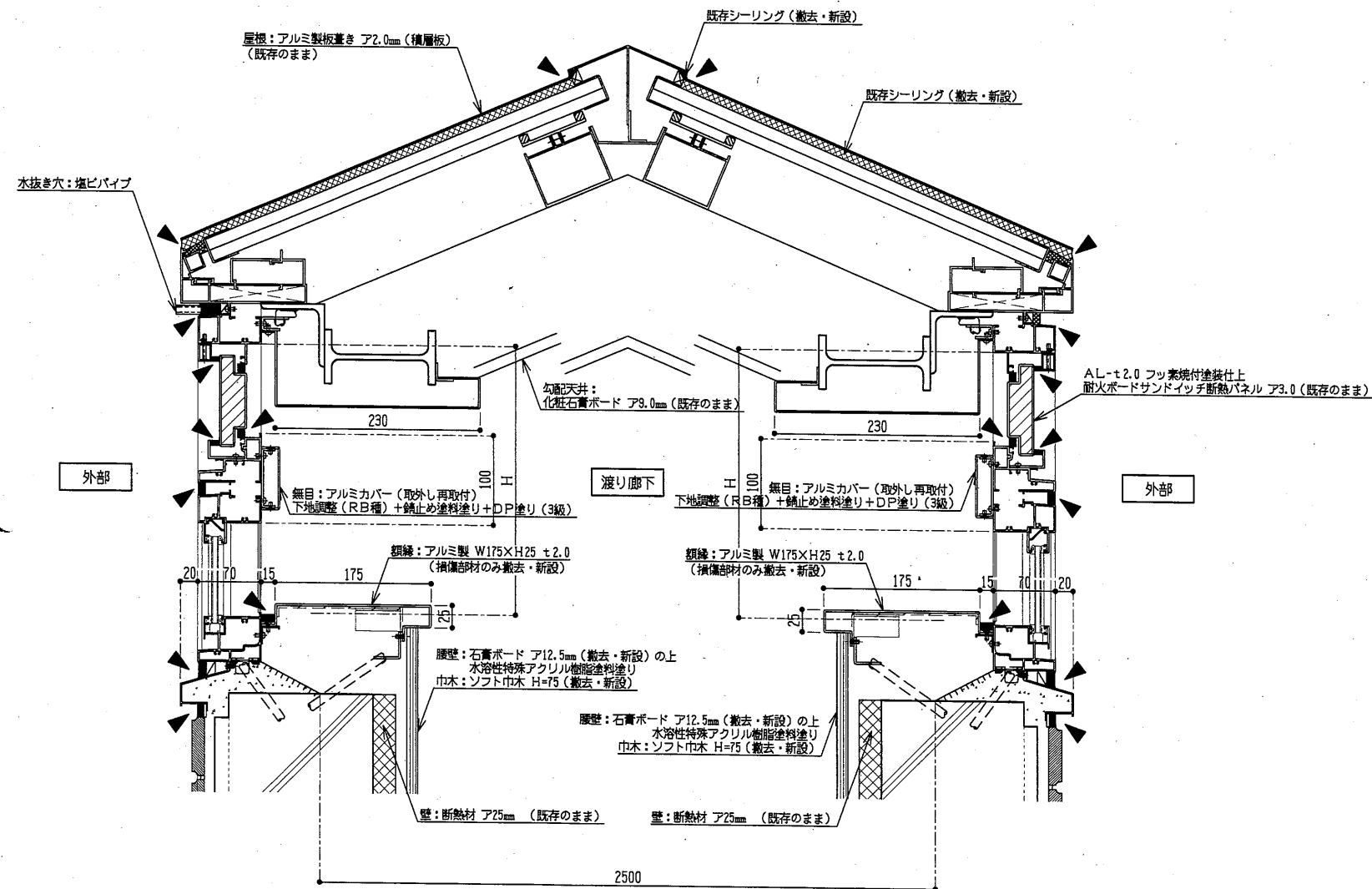
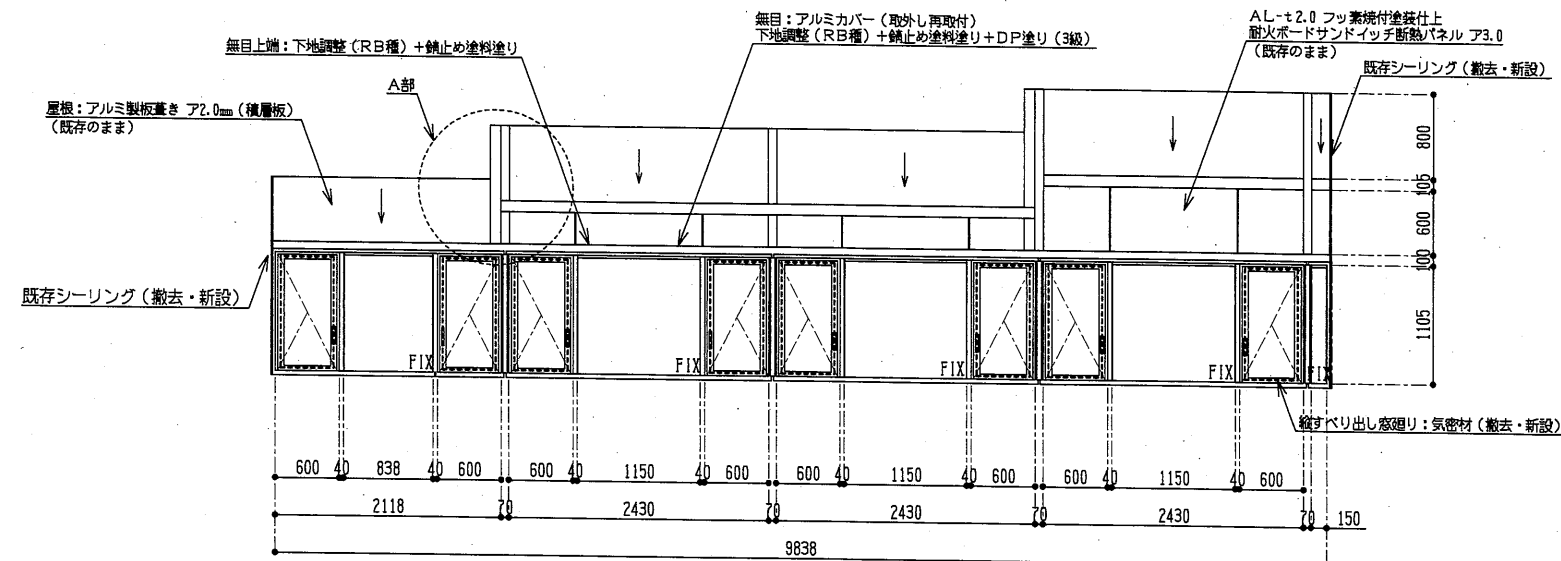
柱廻り詳細図 S=1/5



屋根取合い部詳細図 S=1/5

〈凡 例〉  
▲: シーリング撤去・新設 (MS-2) を示す

|                                                                           |                 |               |    |              |            |      |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|----|--------------|------------|------|
| テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事                                                 |                 |               |    |              |            |      |
| KAGA 株式会社 設計<br>〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1<br>TEL 024-924-0005 (R) | 1級建築士 第 78766 号 | 1級建築士 事務所登録   | 担当 | 改修           | S          |      |
|                                                                           | 今泉 義明           | 12 (904) 0163 |    | 渡り廊下         | S          | NO.  |
|                                                                           |                 |               |    | 2/AW 建具改修詳細図 | S 1/5 1/50 | A-24 |
|                                                                           |                 |               |    |              |            |      |



### 〈凡 例〉

▲：シーリング撤去・新設（MS-2）を示す

テクノアカデミー浜 コミュニティーホール外防水工事

**KAGA 株式会社 香 設 計**

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1  
TEL 024-924-0005(代)

1級建築士 第 78766 号

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 士 | 藥 | 師 | 級 | 一 |
|---|---|---|---|---|

|    |
|----|
| 扣当 |
|----|

改修

5

[illegible]

|       |  |
|-------|--|
| 重防所宣傳 |  |
|-------|--|

|    |  |
|----|--|
| 改修 |  |
| 渡り |  |

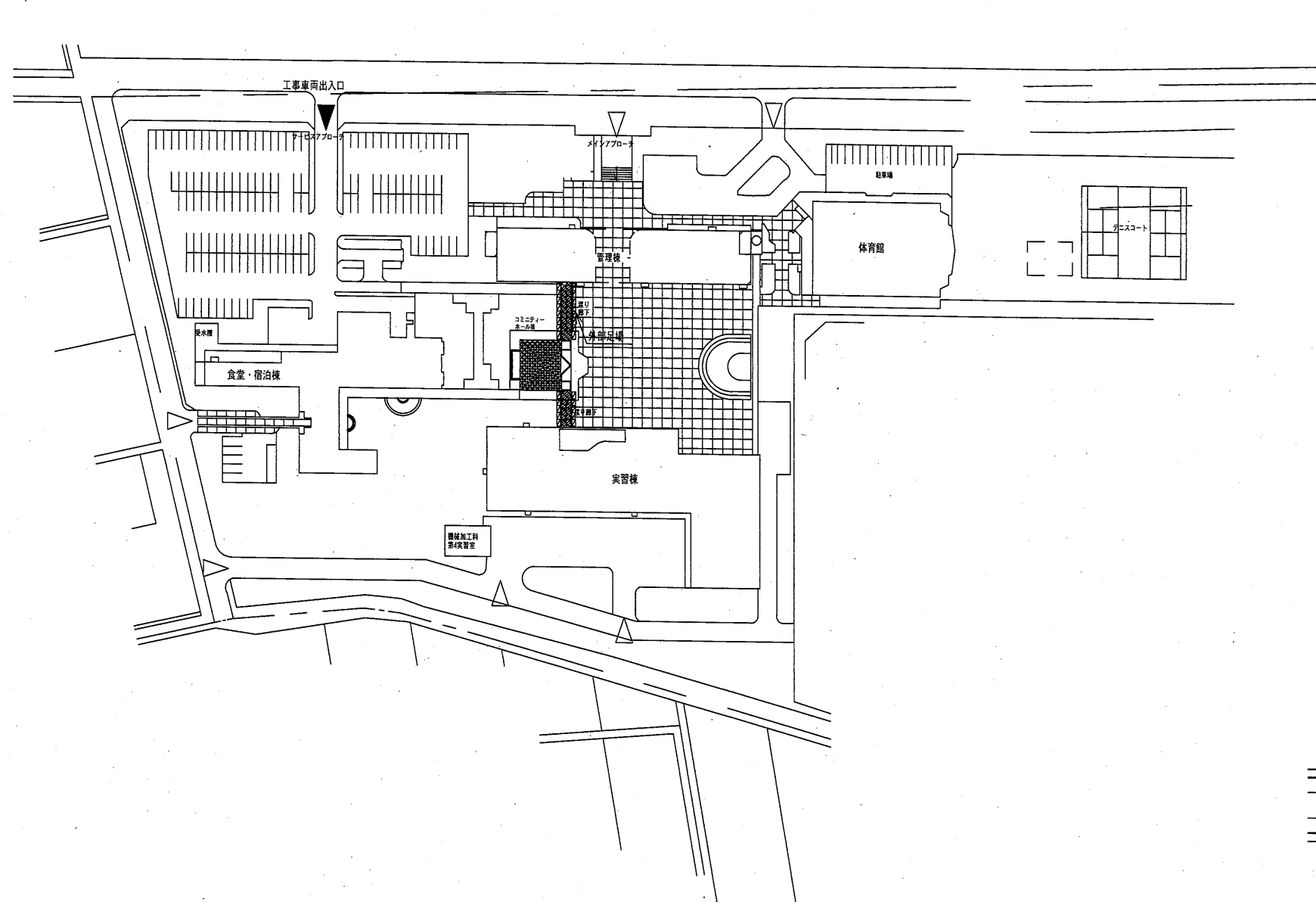
---

3/AW 建具改修詳細図

 $\frac{1}{5} \frac{1}{50}$ 

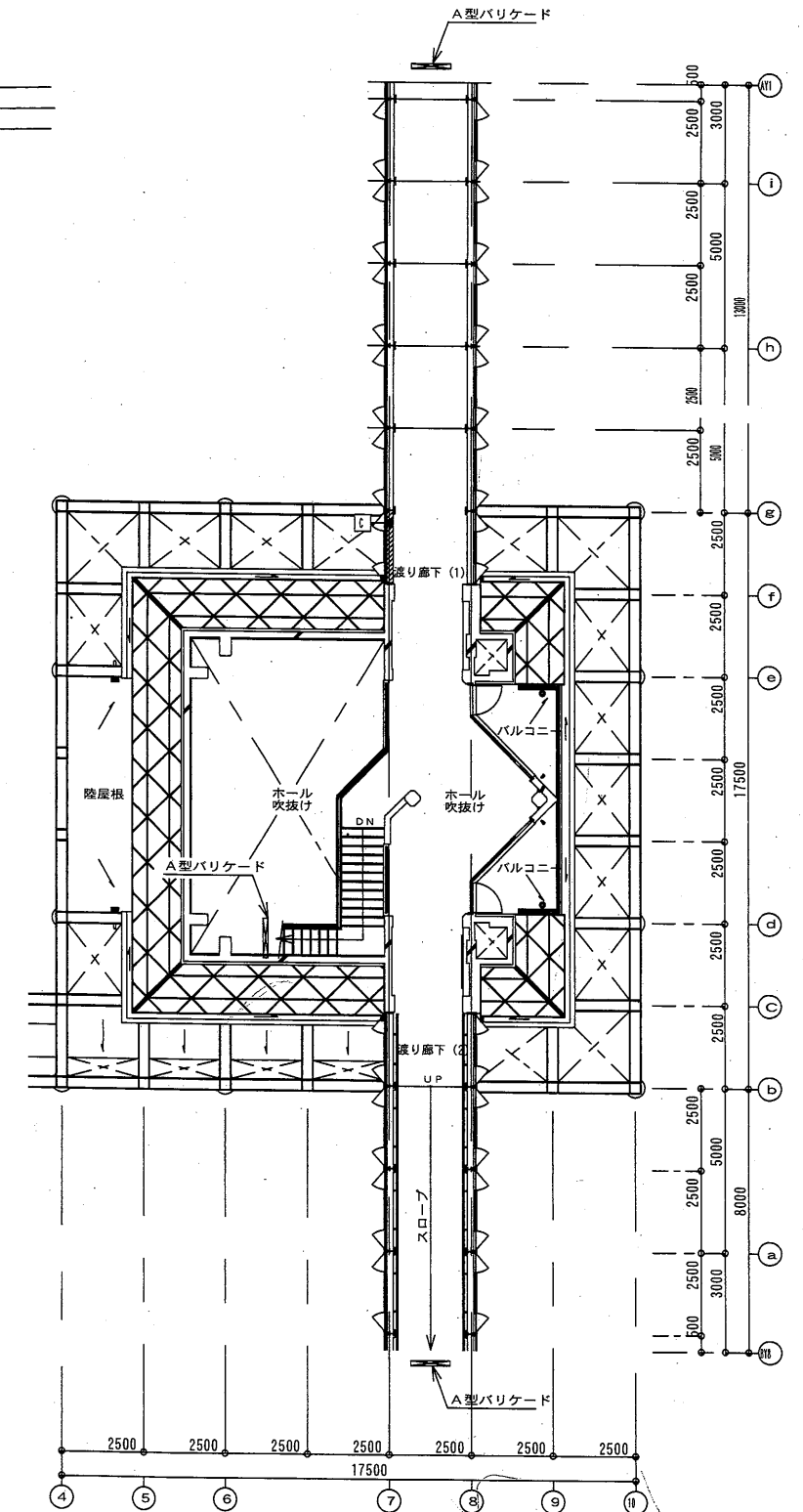
10.  
A-25

参考



全体仮設計画図 S=1/1000

▨ : 工事対象箇所を示す  
△ : 出入口を示す



渡り廊下 内部仮設計画図 S=1/150

テクノアカデミー浜 コミュニティホール外防水工事

KAGA 株式会社 設計

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字久保田100番地1  
TEL 024-924-0005 (代)

1級建築士 第78766号

1級建築士 事務所登録

担当 仮設計画図(参考)

S 1/1000

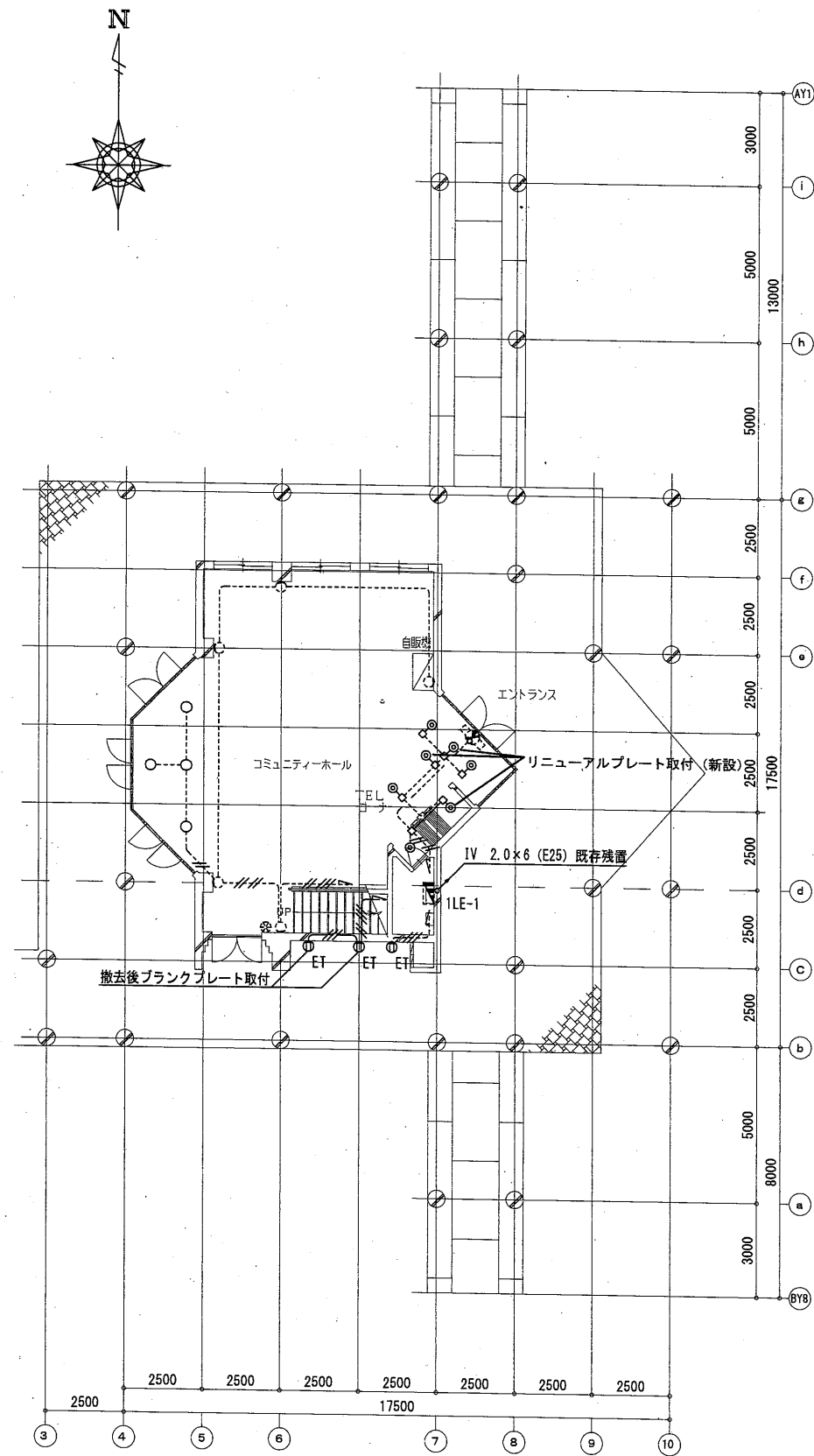
今泉 義明

12 (404) 0163

S 1/150 NO. A-26

[illegible]



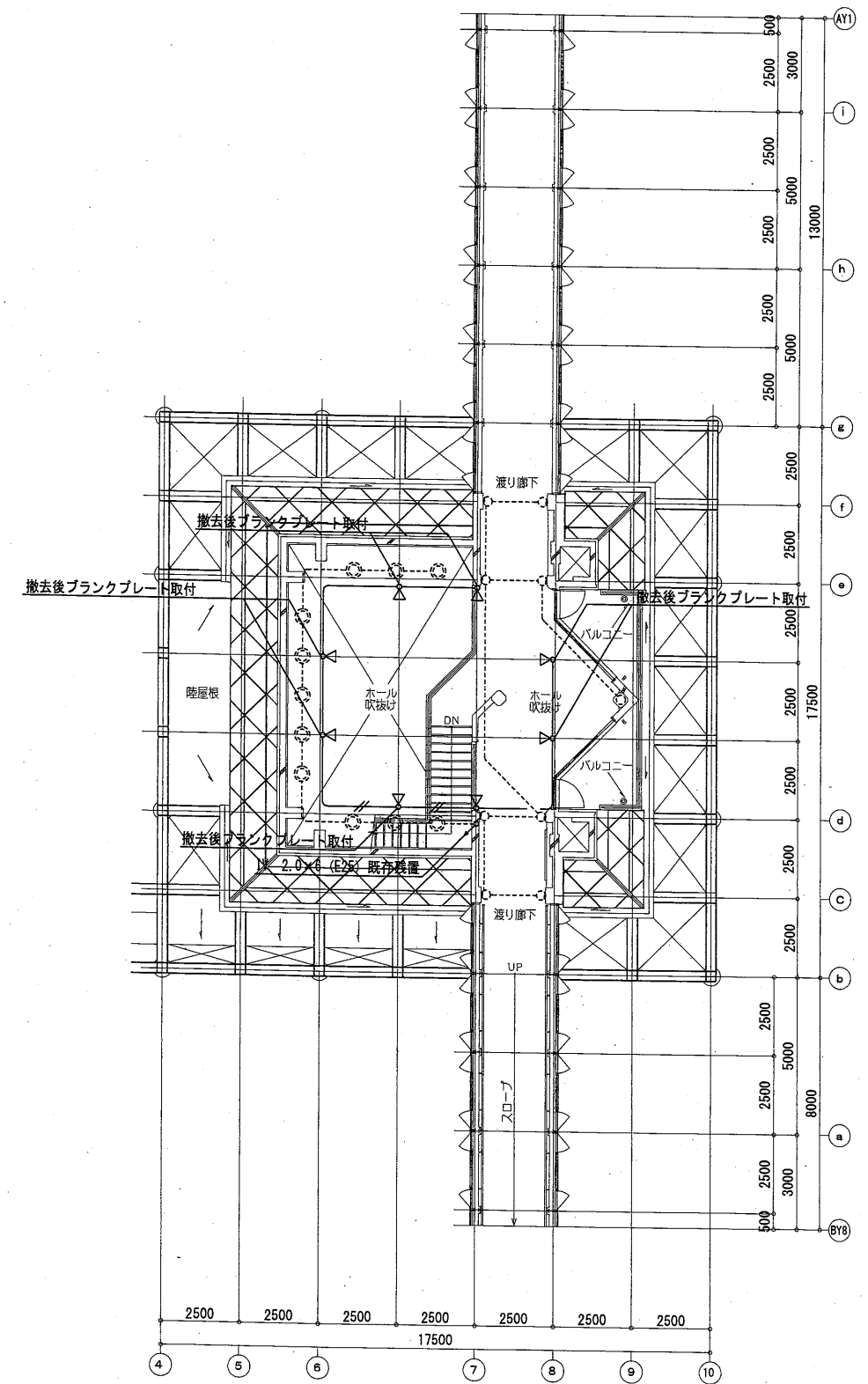


1階 平面図 S=1/150

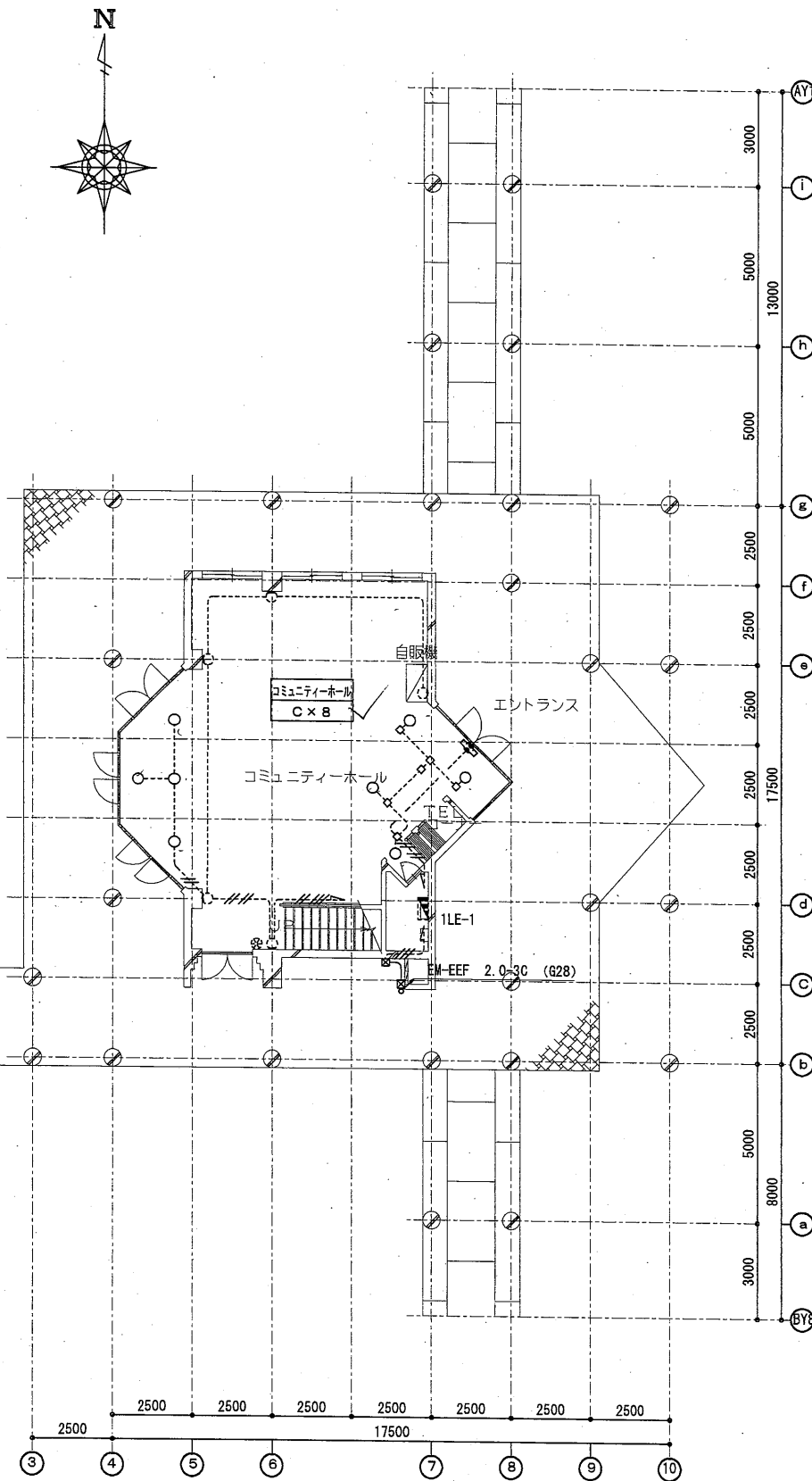
| 配線記号 | 配線種別           |
|------|----------------|
| —    | 以下天井コログシ配線     |
| —    | IV 1.6×2 (E19) |
| —    | IV 2.0×2 (E19) |
| —    | IV 2.0×3 (E19) |
| —    | IV 2.0×4 (E25) |
| —    | 以下床下隠ぺい配管・配線   |
| —    | IV 2.0×3 (E19) |
| —    | IV 2.0×5 (E25) |

| 器具  | 器具名称             |
|-----|------------------|
| ■   | 既存分電盤            |
| ○   | シーリングライト 100W相当  |
| △   | スポットライト 30W相当    |
| ◎   | ダウンライト 100W相当    |
| ⊖ET | コンセント2P15A×2 ET付 |

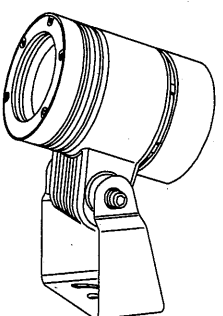
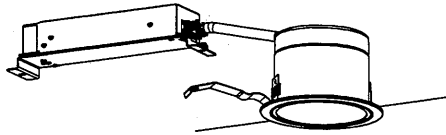
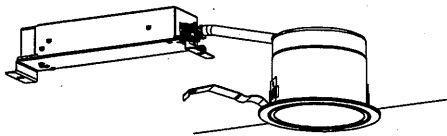
※本図に於いて、実線の器具は撤去とし、点線の器具及び配管配線は残置を示す。  
—特記事項(撤去)—



2階 平面図 S=1/150



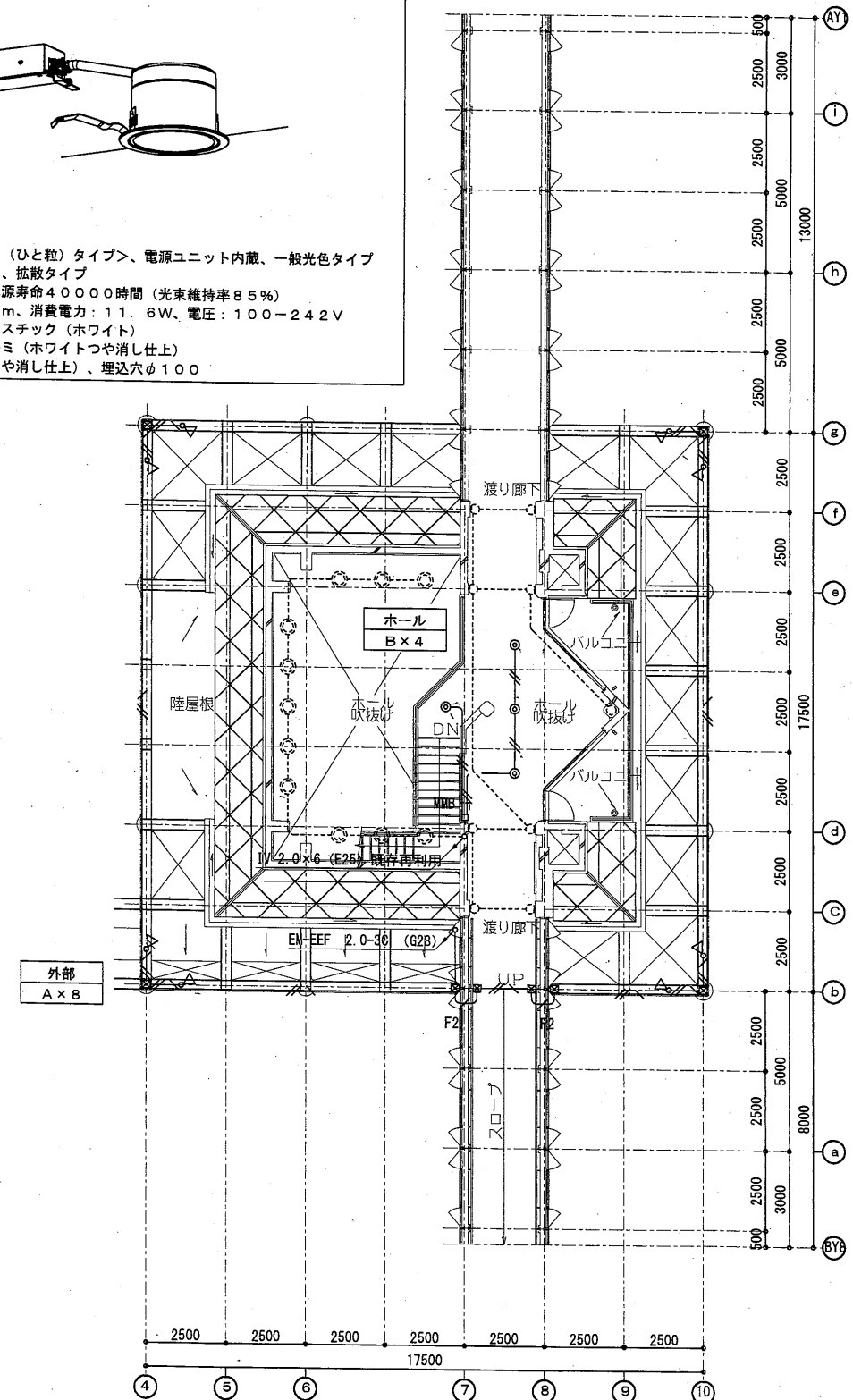
1階 平面図 S=1/150

| A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | LEDスポットライト350形 | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ダウンライト 150形 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
|  <p>器具光束3190lm、消費電力31W、電圧100~242V<br/>電球色、3000K、Ra85、広角タイプ<br/>光源寿命40000時間（光束維持率70%）<br/>本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック）<br/>パネル：強化ガラス<br/>据置取付型、耐風速60m/s アクリル塗装2回塗り加工</p>                                                               |                |  <p>LED内蔵&lt;ワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ<br/>3000K、Ra85、拡散タイプ<br/>光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%）<br/>器具光束：1525lm、消費電力：11.6W、電圧：100~242V<br/>反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）<br/>反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）<br/>枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100</p> |             |
| C                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ダウンライト 150形    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |             |
|  <p>LED内蔵&lt;ワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ<br/>5000K、Ra85、拡散タイプ<br/>光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%）<br/>器具光束：1605lm、消費電力：11.6W、電圧：100~242V<br/>反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）<br/>反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上）<br/>枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100</p> |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |             |

| 配線記号                  | 配線種別       |
|-----------------------|------------|
|                       | 以下天井コログン配線 |
| IV 1.6×2 (E19)        |            |
| EM-IE 2.0×2 (E19)     |            |
| IV 2.0×3 (E19)        |            |
| IV 2.0×4 (E25)        |            |
| IV 2.0×5 (E25)        |            |
|                       | 以下露出配管配線   |
| EM-EEF 2.0-3C (G28)   |            |
| EM-EEF 2.0-3C (F2-24) |            |

| 器具 | 器具名称                         |
|----|------------------------------|
| ■  | 既存分電盤（盤内改造）ELCB2P50AF/20AT増設 |
| □  | プルボックス 150□×100 SUS製         |
| ○  | ジョイントボックス                    |
| ■  | メタルモール B種                    |

※本図に於いて、実線の器具・配管配線は新設とし、点線の器機及び配管・配線は残置を示す。  
※P. BOX取付位置は梁下端および梁側面に取付すること。



2階 平面図 S=1/150